

プリンタドライバ説明書

*Sceata*TM **CT4-LX**



目次

はじめに.....	4
プリンタドライバをインストールする.....	5
プリンタドライバをインストールする流れと確認事項.....	6
プリンタドライバを準備する.....	8
本製品とコンピュータを接続する.....	9
USBケーブルで接続する.....	10
LANケーブルで接続する.....	11
無線LANまたはBluetoothで接続する（オプションの無線LAN/Bluetoothキット装着時）.....	12
RS-232Cケーブルで接続する（オプションのRS-232Cキット装着時）.....	13
インストールを実行する.....	14
USB接続の場合のインストール方法.....	15
LANまたは無線LAN接続の場合のインストール方法.....	20
Bluetooth接続の場合のインストール方法.....	27
本製品とコンピュータをペアリングする.....	27
プリンタドライバをインストールする.....	30
RS-232C接続の場合のインストール方法.....	39
2台目以降のプリンタドライバをインストールする方法.....	44
インストール後に本製品の名称を変更する.....	44
プリンタドライバの設定を手動でおこなってインストールするとき.....	46
[未指定] にプリンタが追加された場合の対処.....	55
プリンタドライバを設定する.....	62
[標準の設定]（全ユーザー用）と [基本設定]（個別ユーザー用）.....	63
管理者権限を持つ方法.....	68
Windows Server 2008以外のOSでの操作方法.....	69
Windows Server 2008での操作方法.....	70
[ドライバー設定] タブで設定する項目.....	71
[用紙].....	72
[ページ設定].....	73
[印刷オプション].....	74
[フォント].....	75
バーコードフォントの設定項目.....	76
コマンドフォントの設定項目.....	82
置換フォントの設定項目.....	88
[ドライバー設定].....	93
[プリンター設定].....	94
[メンテナンス].....	95
[インターナショナル].....	97
[プリンター設定] タブで設定する項目.....	98
チェックボックスの動作.....	99
[ページ設定].....	100
[印刷オプション].....	102
[印刷モード].....	104
[グラフィックオプション].....	105

[カスタムコマンド]	106
[メンテナンス]	109
[インターナショナル]	110
プリンタを共有する	111
プリンタドライバを共有設定する流れと確認事項	112
プリントサーバーにプリンタドライバをインストールする	113
クライアントのコンピュータにプリンタドライバをインストールする	114
プリントサーバーのプリンタを共有設定する	120
クライアントのプリンタを共有設定する	122
プリンタドライバを更新する流れ	126
現在のプリンタドライバの設定内容を保存する	127
プリンタドライバを更新する	128
保存しておいたプリンタドライバの設定内容をインポートする	131
プリンタドライバをアンインストールする	132
プリンタドライバ情報ファイルを削除する	134
プリンタドライバのバージョンを確認する	137
プリンタドライバのバージョンを確認する（通常時）	138
プリンタドライバのバージョンを確認する（プリンタドライバ設定時）	140

はじめに

プリンタドライバは、コンピュータで作成したデータ（文書や絵）をプリンタに送信し、ラベルに印刷するソフトウェアです。CT4-LXプリンタドライバ説明書（以下、本書と呼びます）は、CT4-LX（以下、本製品と呼びます）のプリンタドライバの入手方法やインストール方法を説明します。また、プリンタドライバをインストールしたあとの各種設定、プリンタドライバのアンインストール方法、プリンタドライバの更新方法なども説明します。

本書で使用するプリンタドライバの画面

本書では、おもにWindows 10上における本製品のプリンタドライバの画面を使用しています。そのため、お使いになるOSによっては画面構成が異なる場合がありますので、ご了承ください。

免責事項

本書に記載されている仕様および内容は、予告なく変更されることがあります。

商標

- SATOは、サトーホールディングス株式会社の日本およびその他の国における商標又は登録商標です。
- Wi-Fi[®]は、Wi-Fi Allianceの登録商標です。
- Windowsは、米国マイクロソフト社の登録商標です。
- Bluetoothは、米国Bluetooth SIG, Inc.の商標です。

その他すべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

著作権・その他

本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。

初版 2019年8月

© 2019 SATO Corporation. All rights reserved.

プリンタドライバをインストールする

プリンタドライバをコンピュータにインストールすると、コンピュータで作成したデータを本製品から印刷できます。プリンタドライバはコンピュータと本製品を接続してインストールします。インストールの方法は、コンピュータと本製品の接続方法によって異なります

プリンタドライバをインストールする流れと確認事項

プリンタドライバの動作環境

- コンピュータの画面解像度は1024x768ピクセル以上を推奨します。それ以下の場合一部表示されない場合があります。
- プリンタドライバが対応するOSを次に示します。
Windows 10、Windows 8.1、Windows 7、
Windows Server 2019、Windows Server 2016、Windows Server 2012 R2、Windows Server 2012、Windows Server 2008 R2、Windows Server 2008

対応する接続方法

本製品は次の接続でプリンタドライバをインストールできます。

- USB接続
- LAN接続
- 無線LAN接続（オプションの無線LAN/Bluetoothキット装着時）
- Bluetooth接続（オプションの無線LAN/Bluetoothキット装着時）



- Bluetooth接続では、コンピュータとの相性により通信動作が安定しない可能性があります。Bluetooth接続を利用する場合は、実際の運用条件（コンピュータ、印字データ、発行量、発行頻度など）で、事前に動作確認をお願いします。

- RS-232C接続（オプションのRS-232Cキット装着時）

プリンタドライバをインストールする流れ

プリンタドライバは、次の流れでインストールします。

1. プリンタドライバを準備する

プリンタドライバのインストールにはインストーラを使用します。コンピュータにインストーラを準備します。

詳細は、「[プリンタドライバを準備する](#)」をご覧ください。

2. コンピュータと本製品を接続する

接続方法に応じてコンピュータと本製品を接続します。

- USB接続の場合は、「[USBケーブルで接続する](#)」をご覧ください
- LAN接続の場合は、「[LANケーブルで接続する](#)」をご覧ください。
- 無線LANまたはBluetooth接続の場合は、「[無線LANまたはBluetoothで接続する（オプションの無線LAN/Bluetoothキット装着時）](#)」をご覧ください。
- RS-232C接続の場合は、「[RS-232Cケーブルで接続する（オプションのRS-232Cキット装着時）](#)」をご覧ください。

詳細は、「[本製品とコンピュータを接続する](#)」をご覧ください。

3. プリンタドライバをインストールする

コンピュータにプリンタドライバをインストールします。

- USB接続の場合は、「[USB接続の場合のインストール方法](#)」をご覧ください。
- LAN接続または無線LAN接続の場合は、「[LANまたは無線LAN接続の場合のインストール方法](#)」をご覧ください。
- Bluetooth接続の場合は、「[Bluetooth接続の場合のインストール方法](#)」をご覧ください。

- RS-232C接続の場合は、「[RS-232C接続の場合のインストール方法](#)」をご覧ください。

4. ドライバを設定する

必要に応じてインストールしたプリンタドライバを設定します。
詳細は、次をご覧ください。

- 「[プリンタドライバを設定する](#)」
- 「[ドライバー設定タブで設定する項目](#)」
- 「[プリンター設定タブで設定する項目](#)」

プリンタドライバをインストールするときの注意

- インストール作業を始める前に使用中のアプリケーションはすべて終了してください。
- プリンタドライバのセットアップ、プロパティ設定、印刷設定をおこなう場合は、管理者権限ユーザーでログインしてください。
- Windows Server 2008でターミナルサービスが起動している場合、Windows Server 2008 R2、Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2、Windows Server 2016、およびWindows Server 2019でリモートデスクトップサービスが起動している場合は、ターミナルサービスまたはリモートデスクトップサービスをインストールモードにしてください。ただし、ターミナルサービスまたはリモートデスクトップサービス環境下でのプリンタドライバの使用は保証していませんのでご注意ください。
- 複数台の本製品を使用する場合は、個々の本製品を識別するために台数分のプリンタドライバをインストールしてください。
- インストールの際は、使用する本製品の解像度にあった種類を選択してください。本製品の解像度はオンライン/オフライン画面の左上に表示されています。

プリンタドライバを準備する

SATOダウンロード・サイトからプリンタドライバをコンピュータにダウンロードします。自己解凍形式の圧縮ファイルがダウンロードされますので、コンピュータの任意の場所に解凍します。

1. コンピュータを起動して、Webブラウザを起動します。
2. SATOダウンロード・サイト (<http://www.sato.co.jp/download/manual/>) にアクセスします。

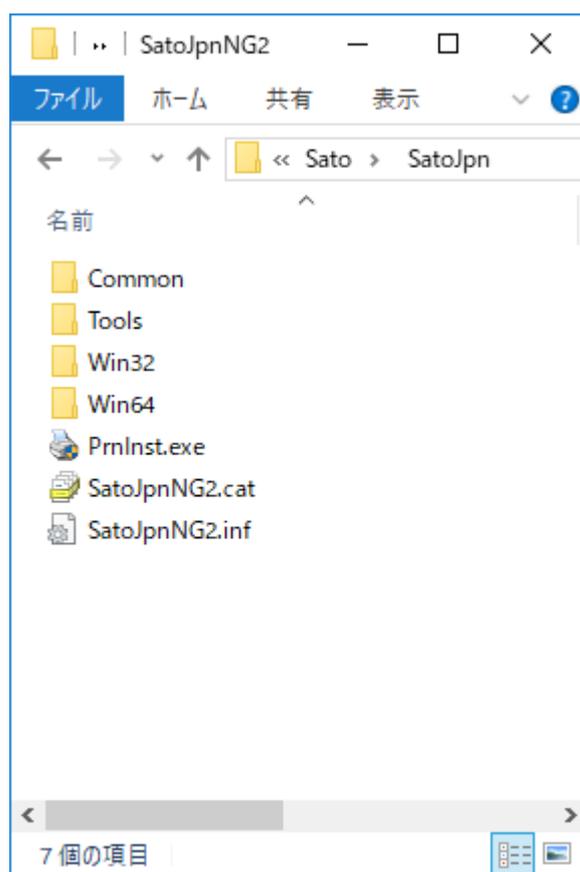
3. 「機種一覧」から本製品をクリックします。

4. プリンタドライバをダウンロードします。

圧縮ファイルがダウンロードされます。

5. 圧縮ファイルをダブルクリックします。

圧縮ファイルが解凍されます。



- 「PrnInst.exe」がインストーラです。
- 「PrnInst.exe」はプリンタドライバをインストールするときだけでなく、プリンタドライバを更新したりアンインストールしたりするときにも使用します。

本製品とコンピュータを接続する

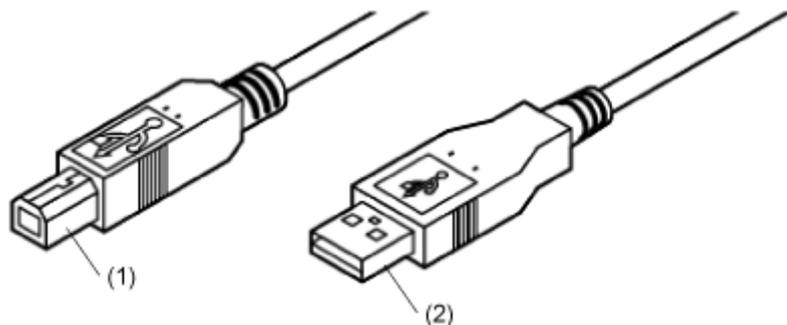
プリンタドライバをインストールする前に、本製品とコンピュータを接続します。



- 本製品の電源を切ってから、本製品をコンピュータに接続してください。
-

USBケーブルで接続する

本製品との接続には、コネクタ形状の一方がタイプB (1)、もう一方がタイプA (2) のケーブル (5 m以内) が必要です。



1. 本製品の電源を切ります。
2. 本製品にUSBケーブルを接続します。

図に示すコネクタにUSBケーブル (タイプB) を接続してください。



3. コンピュータにUSBケーブルを接続します。

LANケーブルで接続する

1. 本製品の電源を切ります。
2. 本製品にLANケーブルを接続します。

図に示すコネクタにLANケーブルを接続してください。

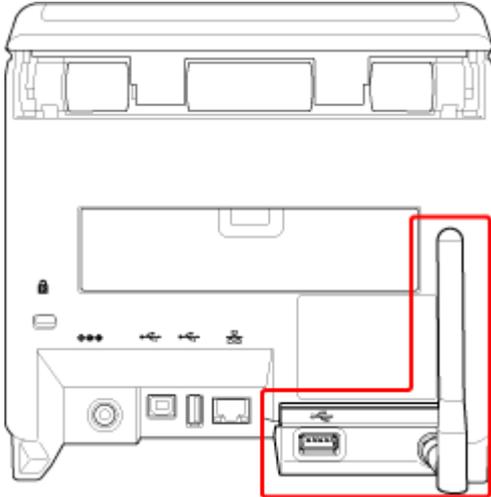


3. ネットワーク環境にあわせて、LANケーブルを接続します。
4. ネットワーク設定をおこないます。

ネットワーク設定の詳細は、「CT4-LX取扱説明書」をご覧ください。

無線LANまたはBluetoothで接続する（オプションの無線LAN/Bluetoothキット装着時）

1. 本製品に無線LAN/Bluetoothキットが装着されているか確認します。



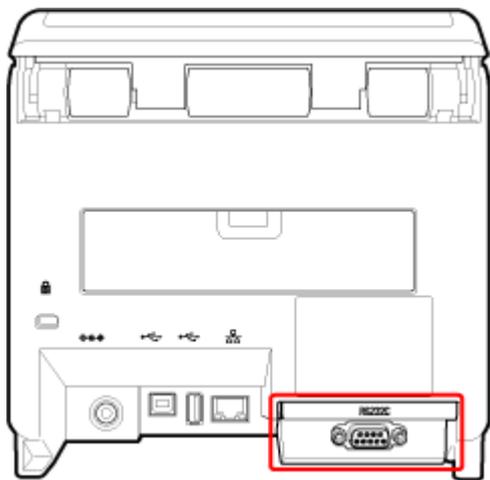
無線LANのネットワーク設定の詳細は、「CT4-LX取扱説明書」をご覧ください。

無線LAN/Bluetoothキットは、カスタマーエンジニアによる設置が必要です。販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクにお問い合わせください。

RS-232Cケーブルで接続する（オプションのRS-232Cキット装着時）

本製品の電源が切れているときに、インタフェースケーブルを接続してください。

1. 本製品のRS-232CコネクタにRS-232Cケーブルを接続してください。



RS-232Cキットは、カスタマーエンジニアによる設置が必要です。販売店、ディーラーまたはお客様ヘルプデスクにお問い合わせください。

インストールを実行する

プリンタドライバをインストールする手順は、本製品の接続方法によって異なります。

接続方法を確認してインストールを実施してください。

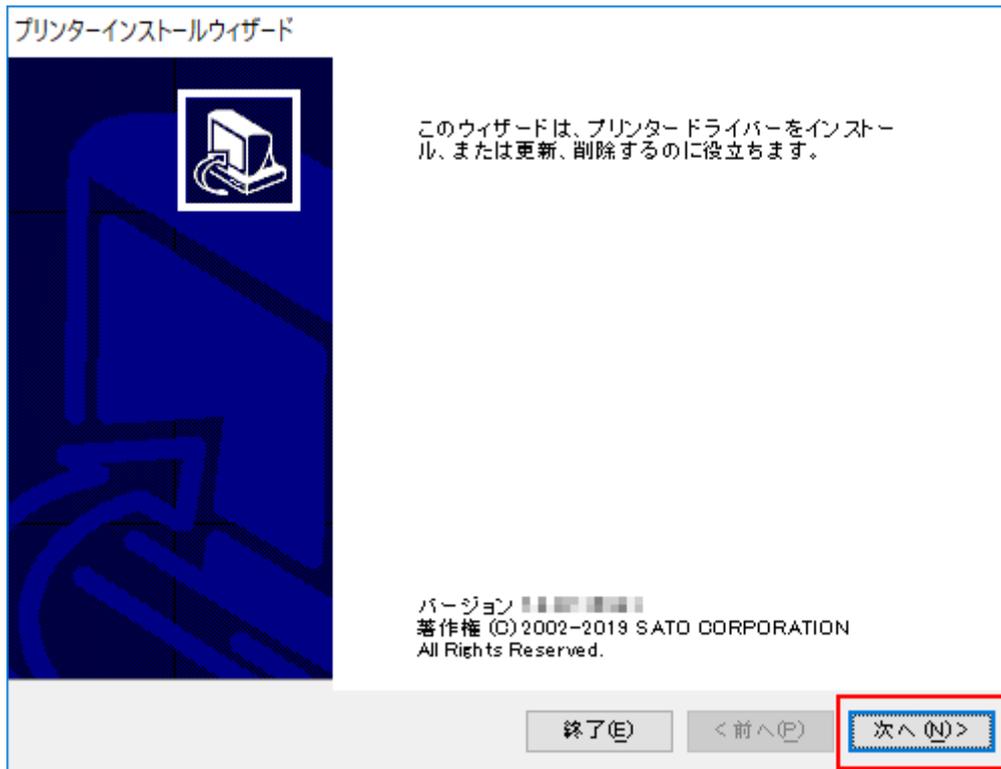
プリンタドライバのインストール手順は全機種共通です。機種によっては使用できないポートも選択できることがあります。ご使用になる機種で使用できるポートをご確認ください。

USB接続の場合のインストール方法

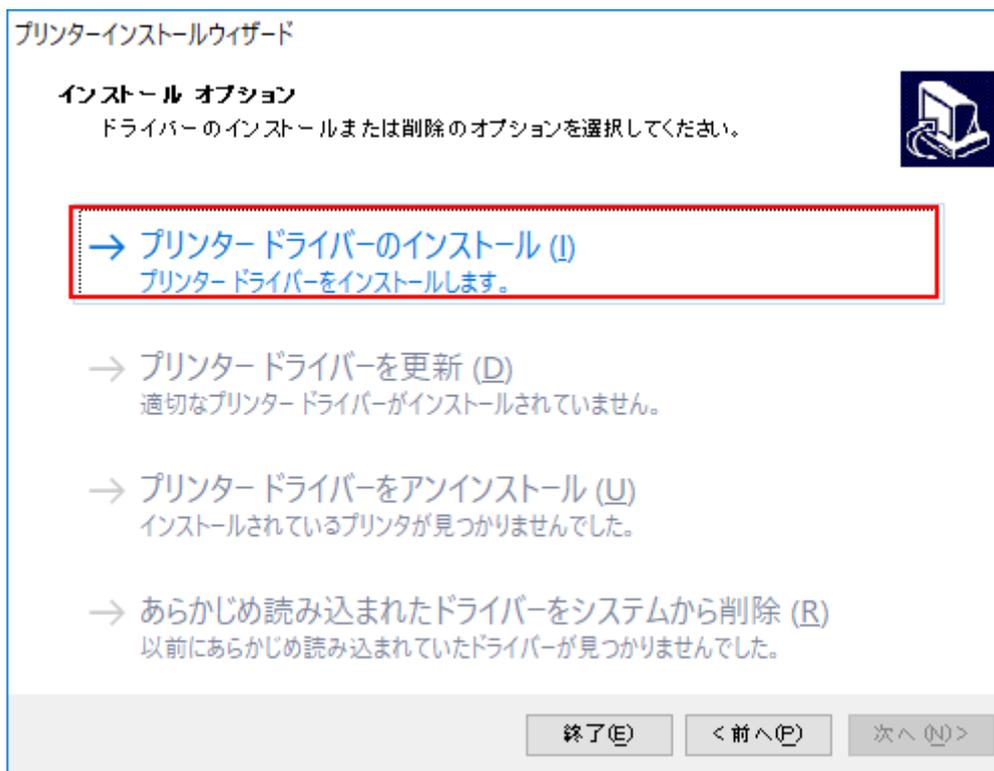
1. PrnInst.exeをダブルクリックします。

プリンターインストールウィザードが起動されます。

2. [次へ] をクリックします。



3. [プリンタードライバーのインストール] をクリックします。



4. [USBポート] をクリックします。



5. 画面の指示に従って、本製品の電源を入れます。

プリンターインストールウィザード

USB プリンターを検知

USB ポートに選択されたプリンタを自動的に検知します。

プリンターをUSB ポートに接続し、プリンターをオンにしてください。プリンターが既に接続されオンになっている場合は、USB ケーブルをはずし、再度接続してください。

終了(E) < 前へ(P) Next >

6. [インストール] をクリックします。

プリンターインストールウィザード

プリンターオプション

インストールする前にプリンターのオプションを選択してください。

プリンター名(n): SATO CT4-LX-J 305dpi

ドライバーバージョン: 1.0.0.0

ポート名: USB001

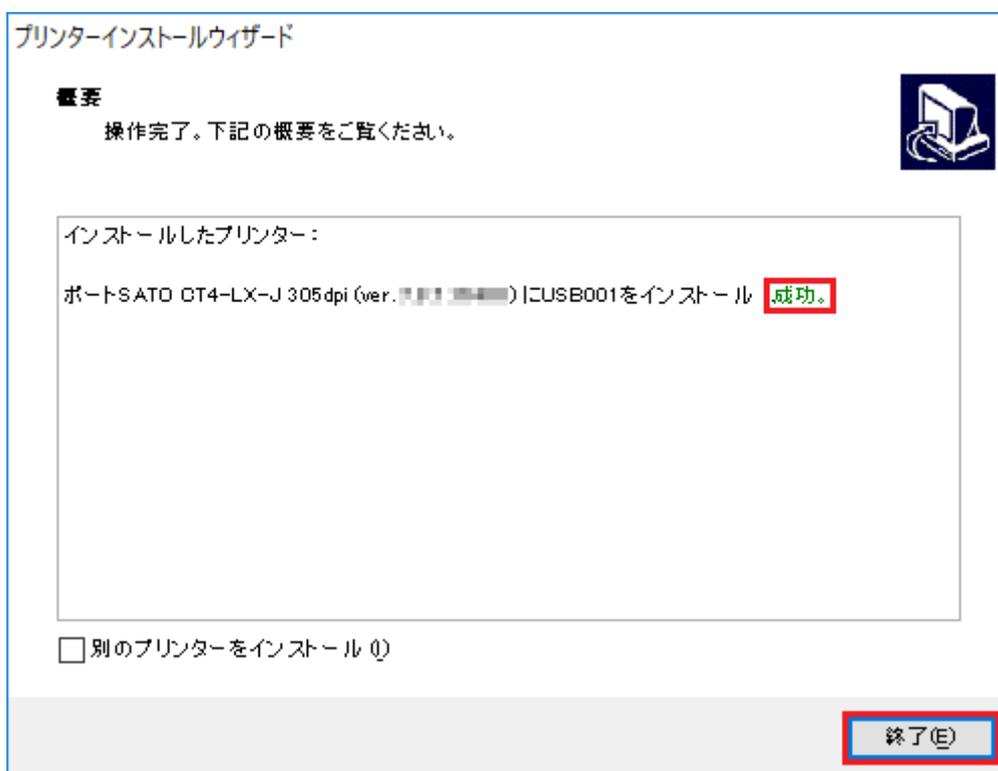
このプリンターを通常使うプリンターに設定します(d)

終了(E) < 前へ(P) **インストール(I)**

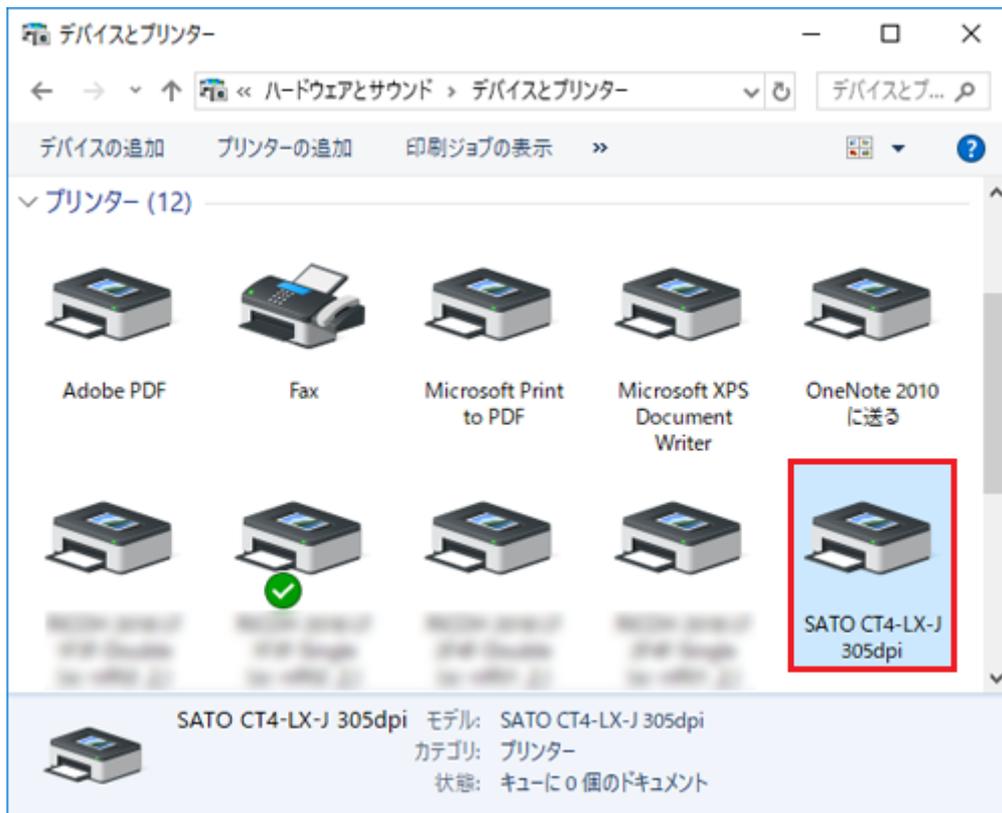
[Windowsセキュリティ] が表示された場合は [インストール] をクリックしてください。



7. 処理結果に「成功」と表示されていることを確認し、「終了」をクリックしてください。



8. [デバイスとプリンター] を開き、プリンタが追加されていることを確認します。

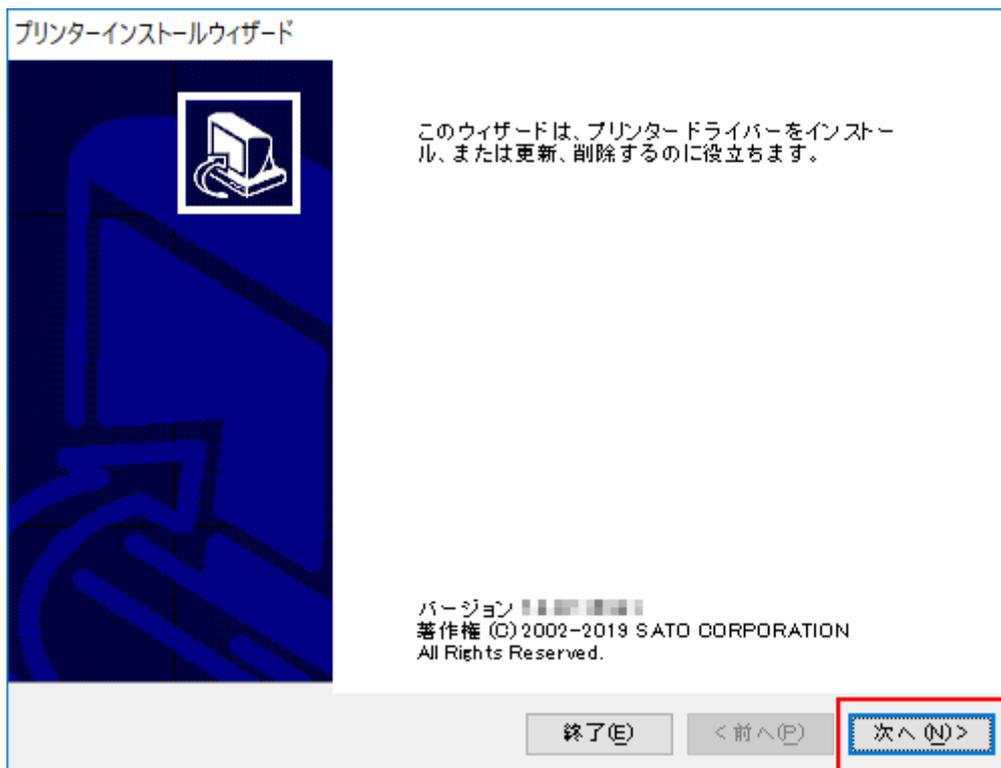


LANまたは無線LAN接続の場合のインストール方法

1. 本製品の電源を入れ、本製品がネットワークに接続されていることを確認します。
2. PrnInst.exeをダブルクリックします。

プリンターインストールウィザードが起動されます。

3. [次へ] をクリックします。



4. [プリンタードライバーのインストール] をクリックします。

プリンターインストールウィザード

インストール オプション
ドライバーのインストールまたは削除のオプションを選択してください。



- **プリンタードライバーのインストール (I)**
プリンタードライバーをインストールします。
- **プリンタードライバーを更新 (D)**
適切なプリンタードライバーがインストールされていません。
- **プリンタードライバーをアンインストール (U)**
インストールされているプリンタが見つかりませんでした。
- **あらかじめ読み込まれたドライバーをシステムから削除 (R)**
以前にあらかじめ読み込まれていたドライバーが見つかりませんでした。

終了(E) < 前へ(P) 次へ(N)>

5. [ネットワークポート] をクリックします。

プリンターインストールウィザード

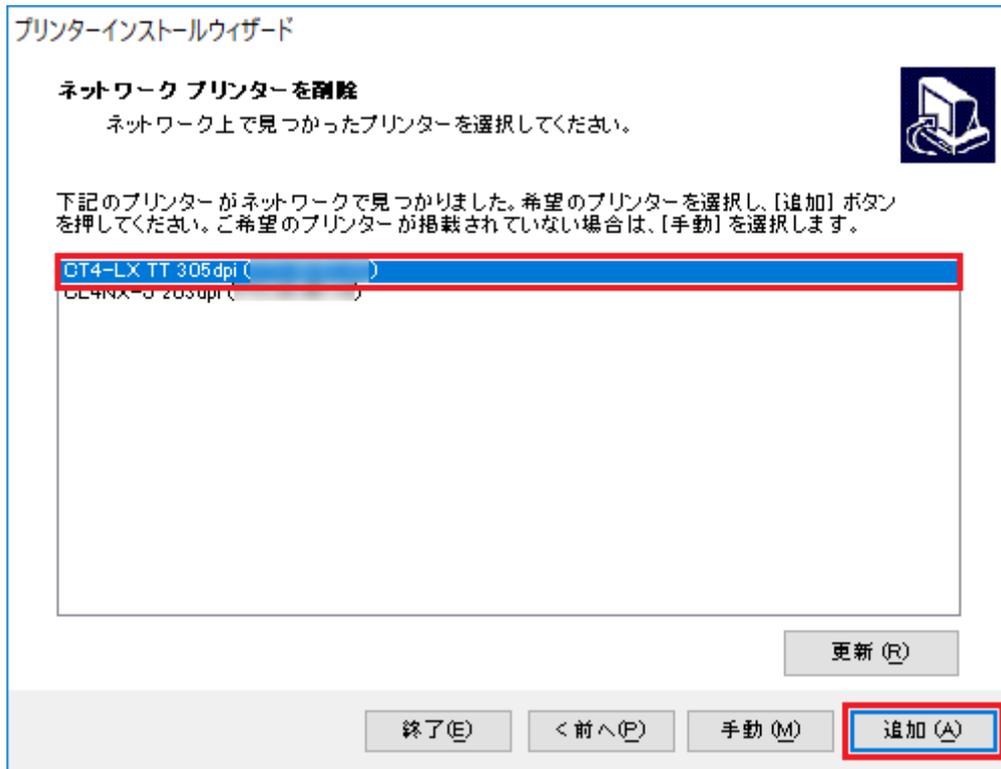
ポートを選択
プリンターが接続されるポートを選択します。



- **ローカルポート (L)**
シリアル (COM) またはパラレル (LPT) ポートにインストール。
- **ネットワークポート (I)**
イーサネット (LAN) またはワイヤレス (WiFi) のインストール。
- **USBポート (U)**
USB プラグアンドプレイ デバイスのインストール。
- **その他(O)**
別のポート、またはいずれかのポートに手動でインストール。

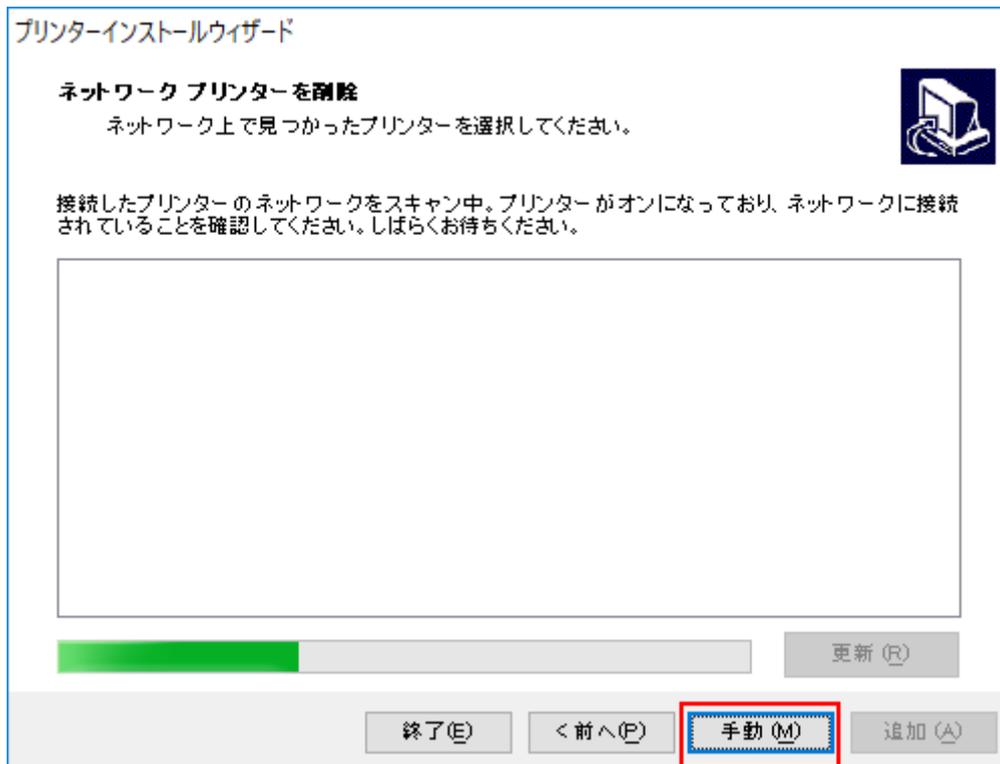
終了(E) < 前へ(P) 次へ(N)>

6. 追加するプリンタを選択し、[追加] をクリックします。



本製品が一覧に表示されない場合は、[更新] をクリックして再度検索します。それでも、本製品が一覧に表示されない場合は、以下の手順で追加します。

a. [手動] をクリックします。



- b. インストールするプリンタを選択し、[次へ] をクリックします。

プリンターインストールウィザード

プリンターを選択
インストールしたいプリンターを選択してください。



SATO CL4NX-J 203dpi
SATO CL4NX-J 305dpi
SATO CL4NX-J 609dpi
SATO CL6NX-J 203dpi
SATO CL6NX-J 305dpi
SATO CT4-LX-J 203dpi
SATO CT4-LX-J 305dpi
SATO FX3-LX-DT305-Ad
SATO HC4-LX-J 203dpi
SATO HC4-LX-J 305dpi
SATO PW208
SATO PW208m

終了(E) < 前へ(P) **次へ(N)>**

- c. ネットワークポートを選び、[次へ] をクリックします。

プリンターインストールウィザード

ネットワークポートを選択
プリンターが接続されているポートを選択します。



新しいネットワークポートを作成 (C)
 既存のポートを使用 (U):

ポート	種類	構成
-----	----	----

すべてのポートを表示 (A) 構成 (O)

終了(E) < 前へ(P) **次へ(N)>**

- d. 接続するプリンタのIPアドレスを [プリンター名またはIPアドレス] に入力し、 [次へ] をクリックします。
同じポート名がある場合は、 [ポート名] を変えてから [次へ] をクリックしてください。

プリンターインストールウィザード

ネットワークポートを追加
希望のプリンターのポート構成を入力します。

ポート名:

プリンター名またはIPアドレス:

ポート番号:

終了(E) < 前へ(P) **次へ(N)>**



- 確認方法の詳細は、「CT4-LX取扱説明書」をご覧ください。

7. [インストール] をクリックします。

プリンターインストールウィザード

プリンター オプション
インストールする前にプリンターのオプションを選択してください。

プリンター名(n): SATO CT4-LX-J 305 dpi

ドライバー バージョン: 1.0.0.0

ポート名: LAN_SATO_CT4-LX-J_305 dpi

このプリンターを通常使うプリンターに設定します(d)

終了(E) < 前へ(P) **インストール(I)**

同じプリンタ名がある場合は、[プリンター名] を変えてから [インストール] をクリックしてください。

[Windowsセキュリティ] が表示された場合は [インストール] をクリックしてください。

Windows セキュリティ

このデバイス ソフトウェアをインストールしますか?

名前: SATO printer driver
発行元: SATO CORPORATION

"SATO CORPORATION" からのソフトウェアを常に信頼する(A)

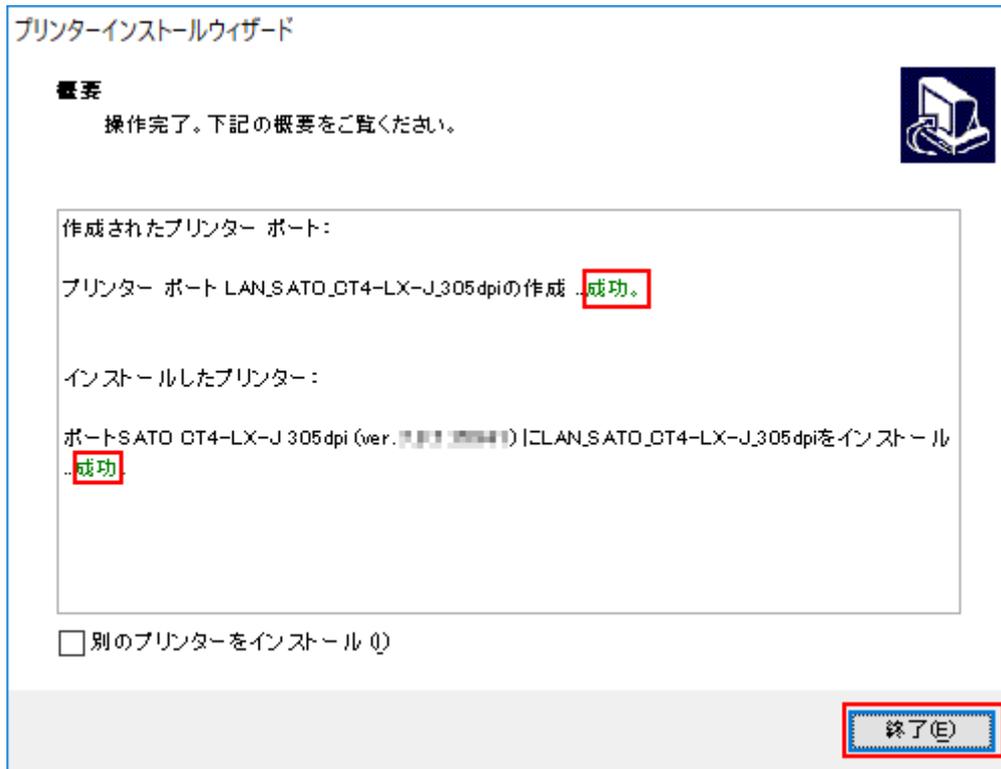
インストール(I) インストールしない(N)

 信頼する発行元からのドライバー ソフトウェアのみをインストールしてください。安全にインストールできるデバイスソフトウェアを判断する方法



- 別のプロセスがブロックしているという内容の警告画面が表示された場合は、表示に従って対応してください。

8. 処理結果に [成功] と表示されていることを確認し、[終了] をクリックします。



9. [デバイスとプリンター] を開き、プリンタが追加されていることを確認します。



Bluetooth接続の場合のインストール方法

コンピュータに本製品をBluetoothデバイスとして追加（ペアリング）してから、プリンタドライバをインストールします。Bluetoothデバイスをペアリングする手順は、使用するコンピュータの環境によって異なります。ここではWindows 10環境での接続方法を説明します。

詳細は、お使いのコンピュータの説明書をご覧ください。

本製品の画面および操作の詳細は、「CT4-LX取扱説明書」をご覧ください。



- Bluetooth接続では、ホスト機器との相性により通信動作が安定しない可能性があります。Bluetooth接続を利用する場合は、ホスト機器、印字データ、発行量、発行頻度などを実運用の条件で事前にテストし、問題がないことを確認してください。

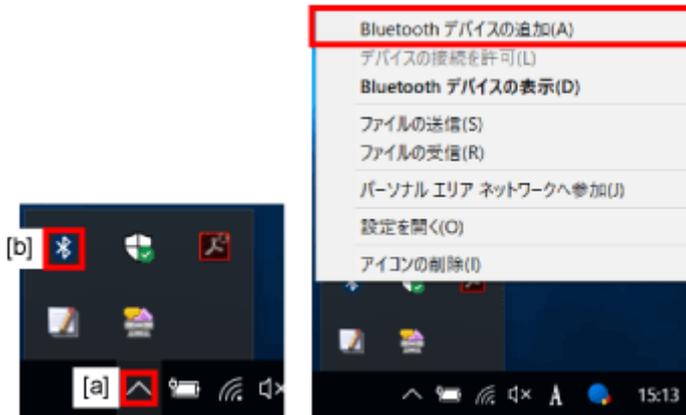
本製品とコンピュータをペアリングする

1. 本製品の電源を入れます。
2. 本製品のホーム画面で [設定] をタップします。
設定モードのメニューが表示されます。
3. 本製品の設定モードのメニューから [Bluetooth] をタップします。
4. [有効] にチェックが入っていない場合は、タップして有効にします。



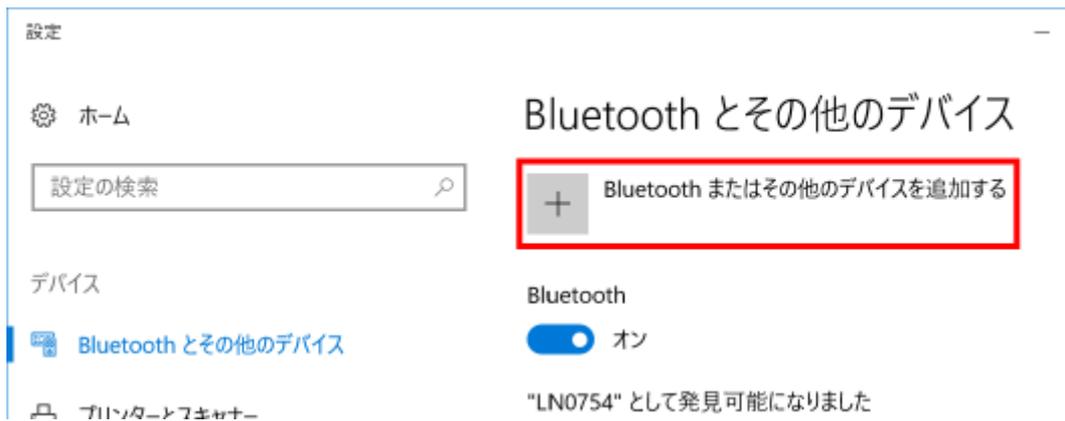
5. [デバイス名] を確認します。
本製品を接続するときこの情報が必要になりますので、メモしてください。
6. コンピュータを起動します。

7. コンピュータのデスクトップ画面右下のアイコン（[隠れているインジケータを表示します]）（[a]）をクリック、Bluetoothアイコン（[b]）を右クリックし、[Bluetoothデバイスの追加] を選びます。

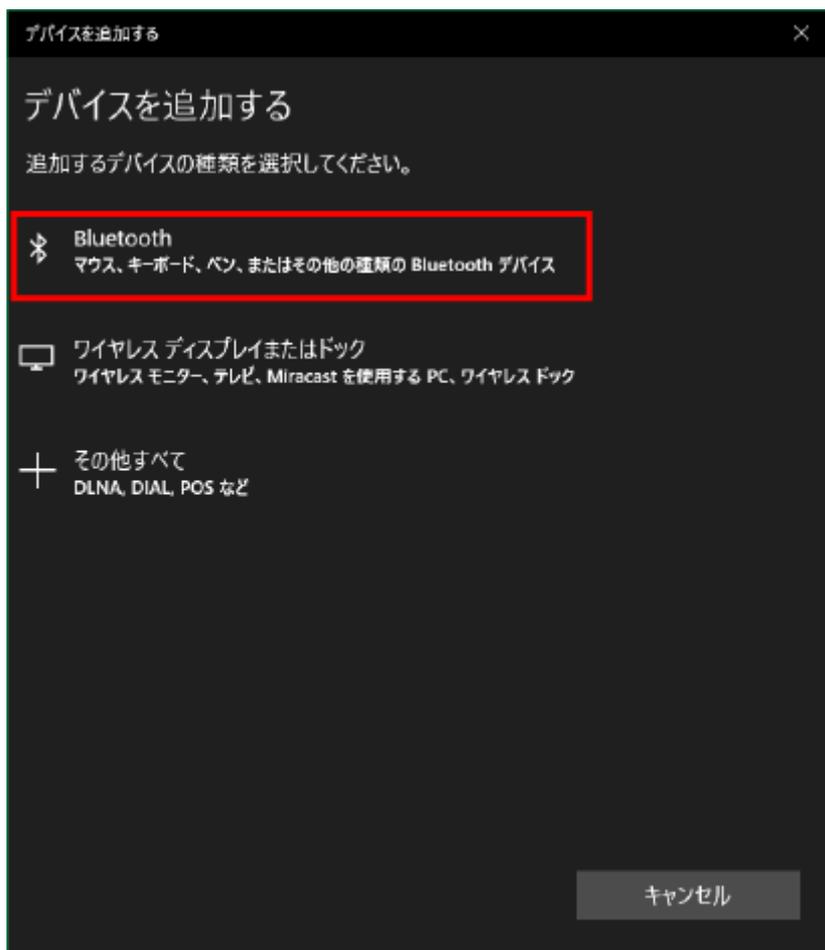


- Windows 10 Creators Update適用前の場合は、以降の画面構成や手順が異なります。

8. [Bluetoothまたはその他のデバイスを追加する] をクリックします。



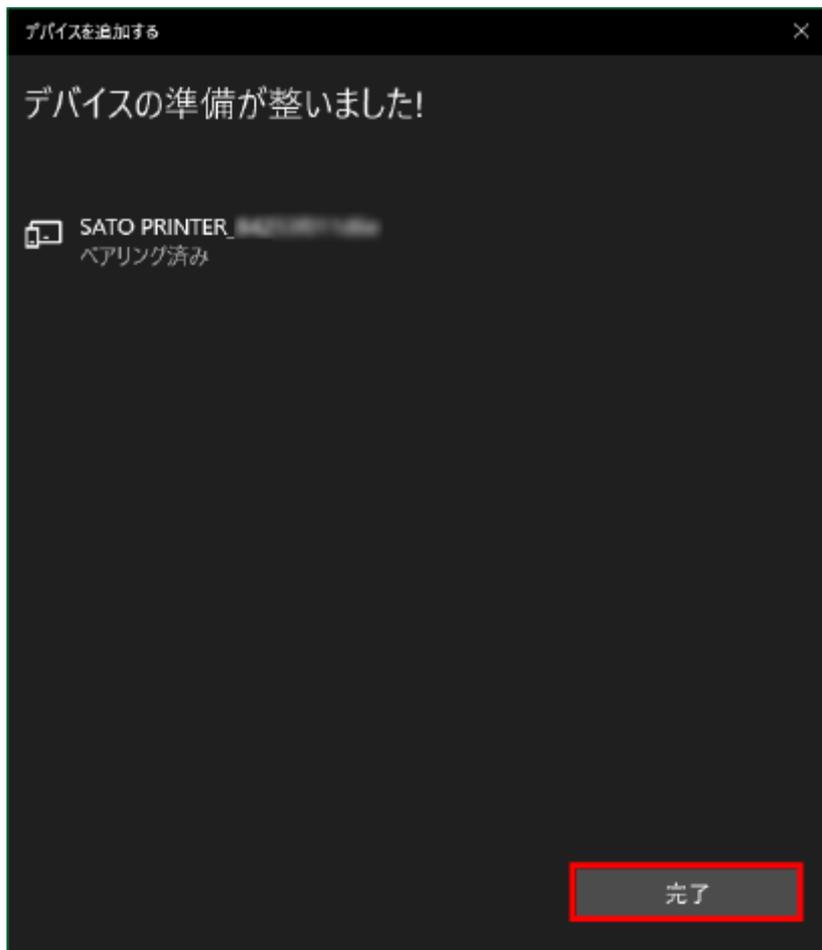
9. [Bluetooth] をクリックします。



10. 検索されたデバイスの一覧から、手順5で確認したデバイス名を選びます。

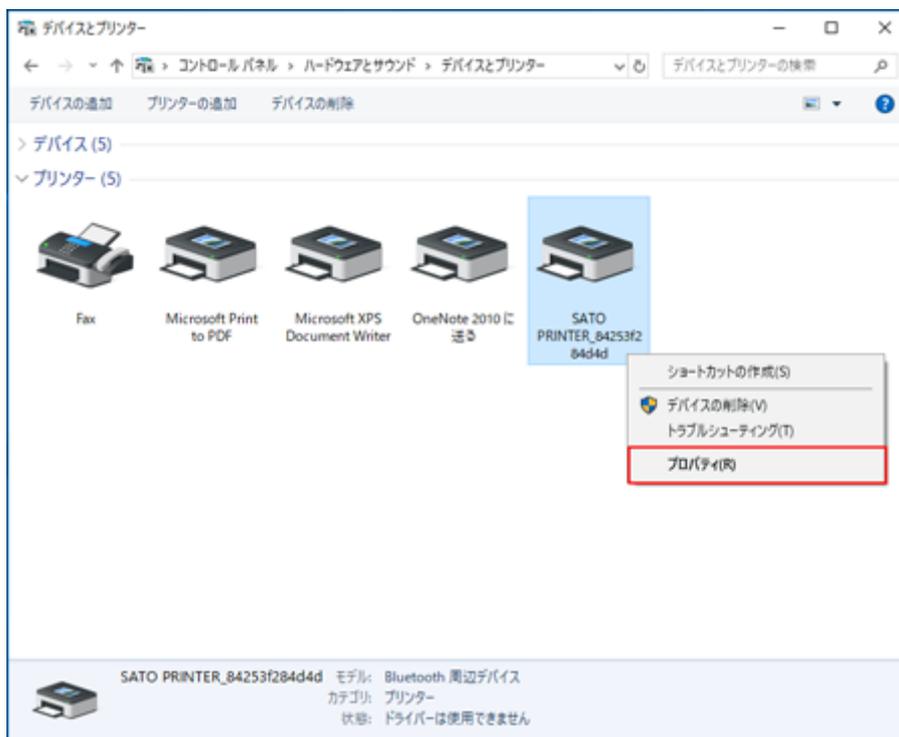
11. コンピュータと本製品に表示されているペア設定コードが一致していることを確認し、本製品側で をタップし、コンピュータ側で [接続] をクリックします。

12. [完了] をクリックします。



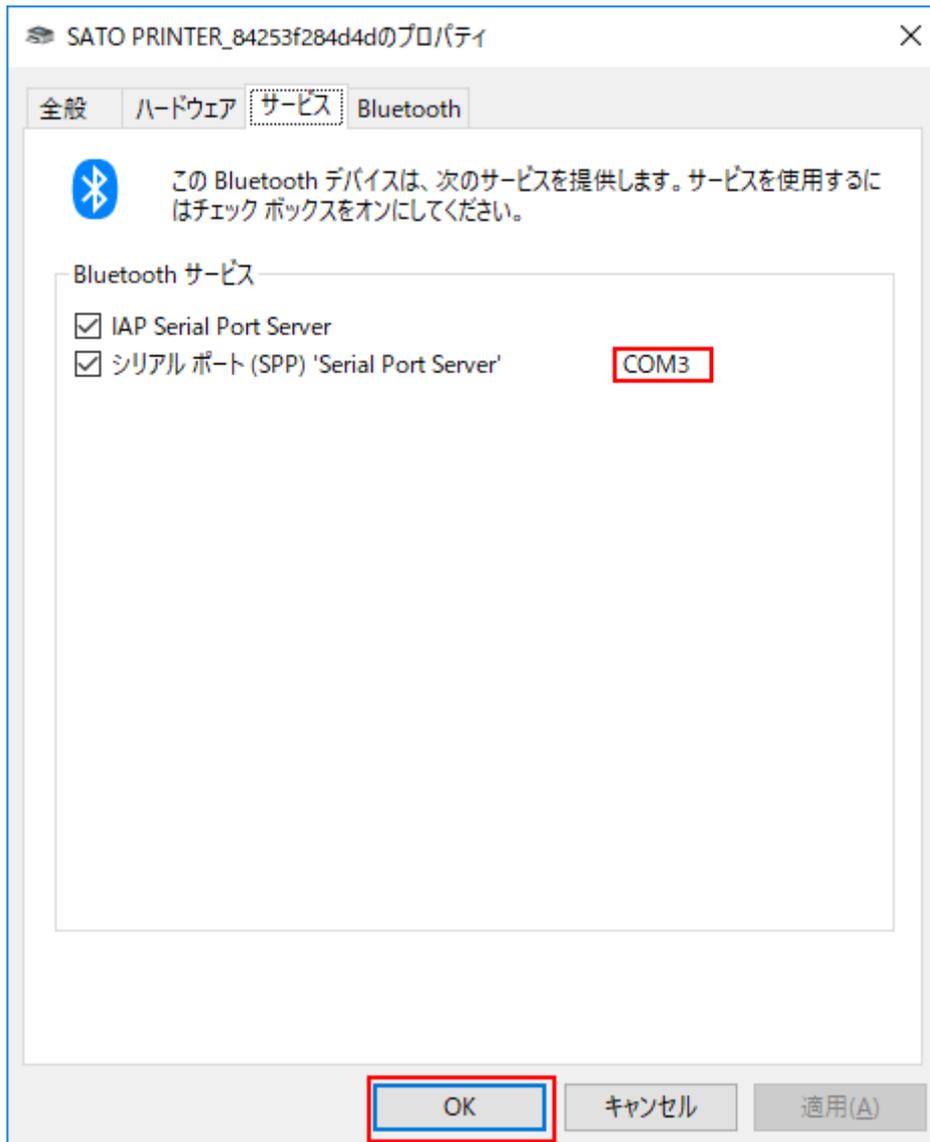
プリンタドライバをインストールする

1. [デバイスとプリンター] を開き、Bluetoothデバイスとして追加された本製品を右クリックして [プロパティ] を選びます。



2. [サービス] タブで、[シリアルポート (SPP)] に割り当てられているポートを確認し、[OK] をクリックします。

プリンタドライバのインストール時にこの情報が必要になりますので、メモしてください。



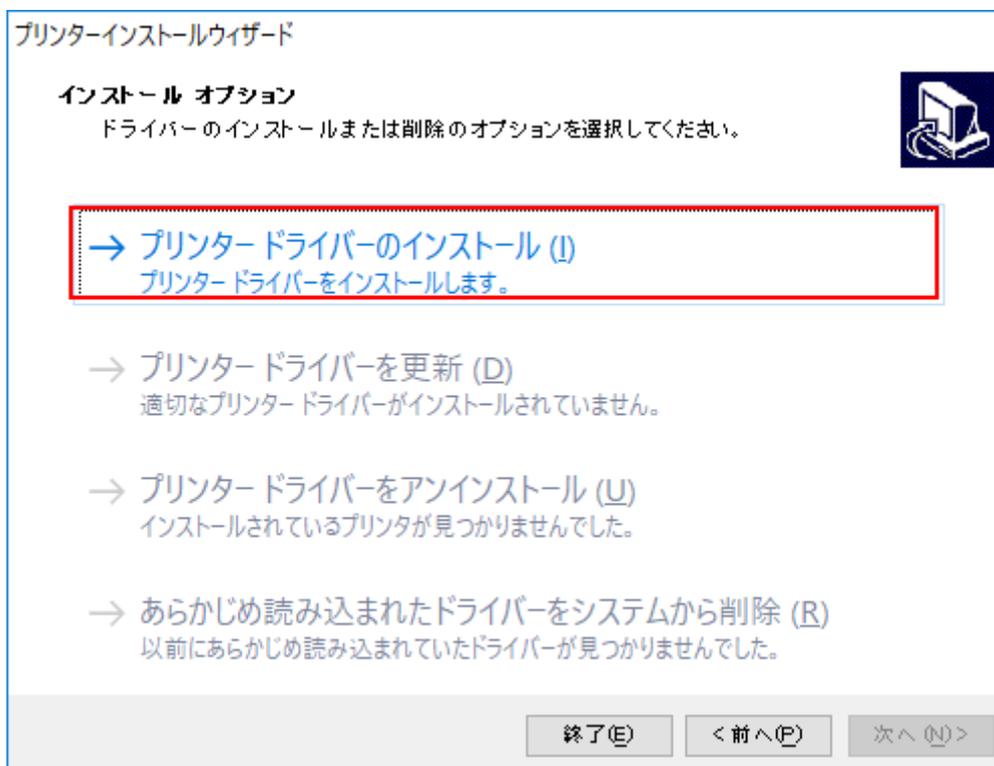
3. PrnInst.exeをダブルクリックします。

プリンターインストールウィザードが起動されます。

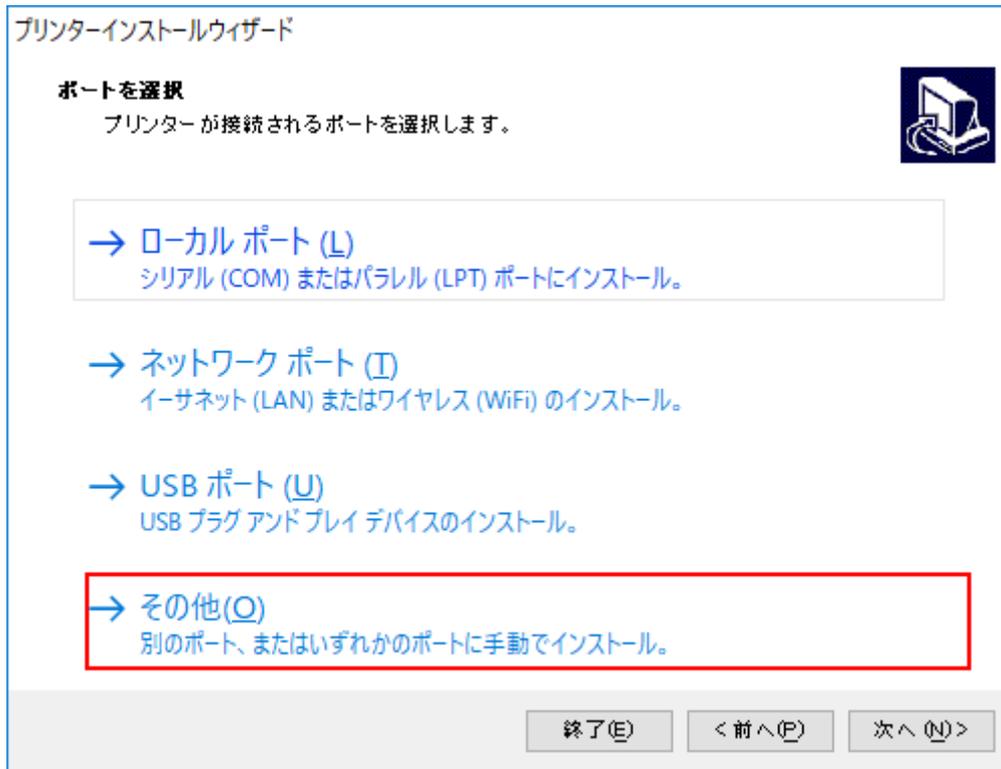
4. [次へ] をクリックします。



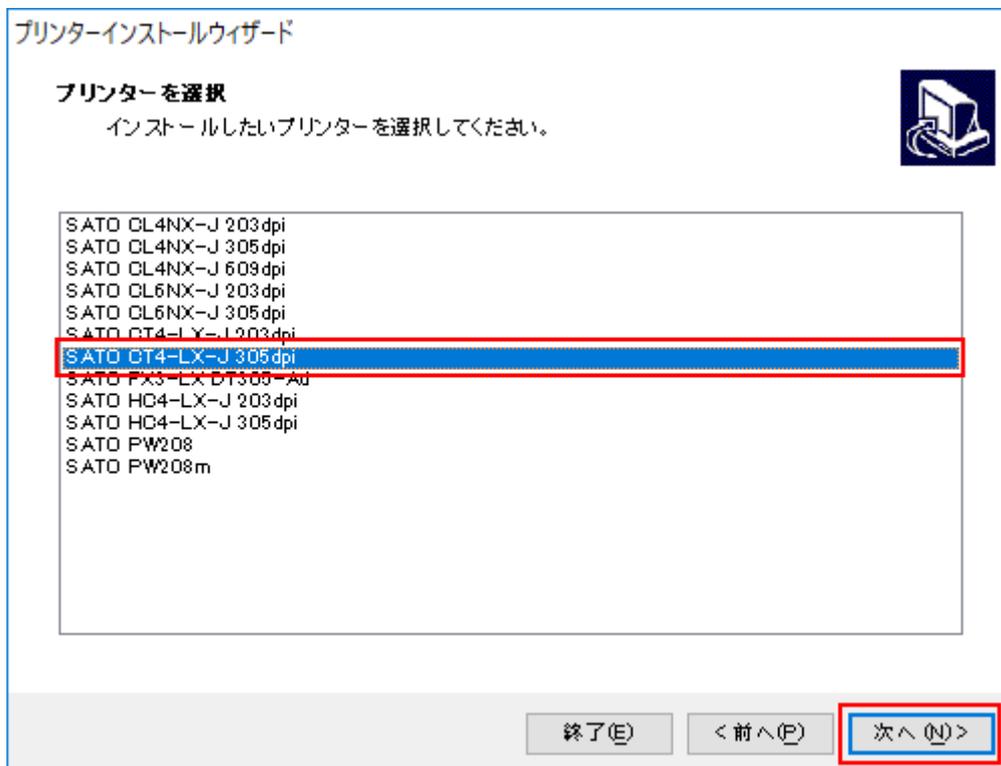
5. [プリンタードライバーのインストール] をクリックします。



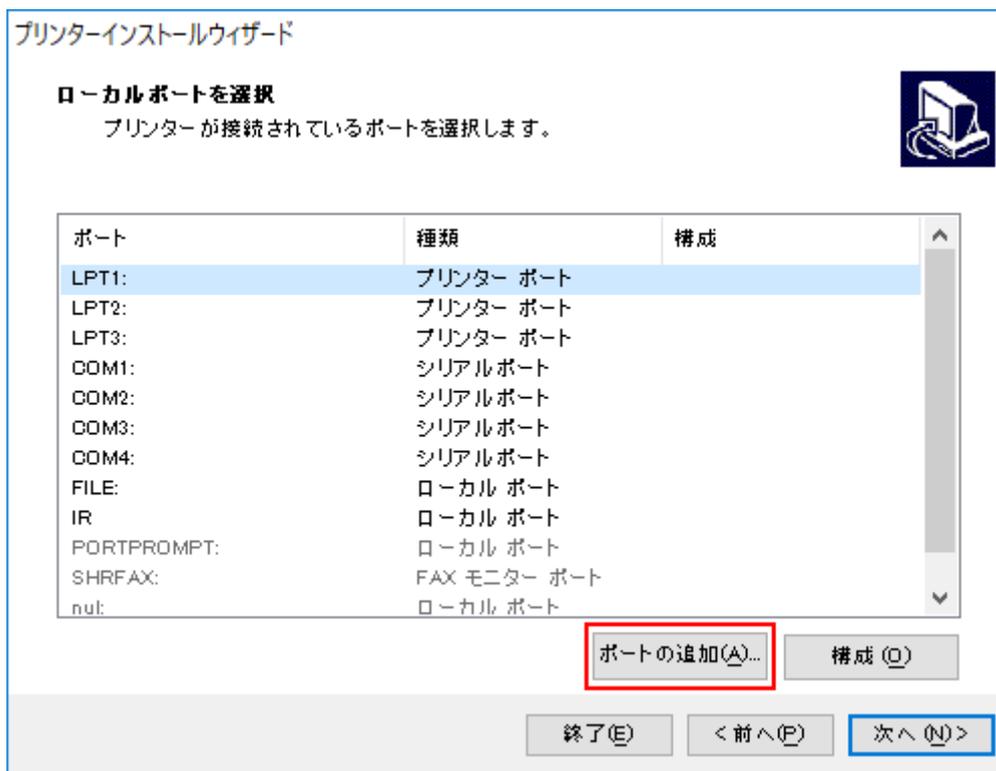
6. [その他] をクリックします。



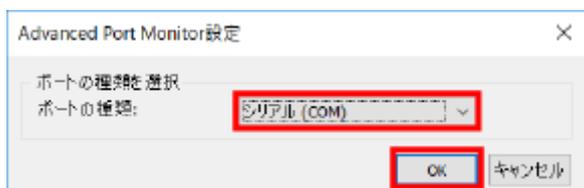
7. インストールするプリンタを選び、[次へ] をクリックします。



8. [ポートの追加] をクリックします。



9. [ポートの種類] で [シリアル (COM)] を選び、 [OK] をクリックします。



10. ポート設定をおこない、 [OK] をクリックします。

次の項目を設定してください。

[ポート名] : 入力する (例: CT4-LX)

[シリアルポート] : 手順2で確認したBluetoothデバイスのポートを選ぶ

[フロー制御] : 「なし」 を選ぶ

Advanced Serial Port設定

ポート名
名前(N): COM_

シリアルポートデータ

シリアルポート: COM3: ▾

ボーレート: 19200 ▾

データビット: 8 ▾

パリティ: なし ▾

ストップビット: 1 ▾

フロー制御: なし ▾

タイムアウト設定

ダウンロードを有効にする

印刷タイムアウト: ms

ダウンロードタイムアウト: ms

OK キャンセル

11. [次へ] をクリックします。

プリンターインストールウィザード

ローカルポートを選択
プリンターが接続されているポートを選択します。

ポート	種類	構成
LPT1:	プリンター ポート	
LPT2:	プリンター ポート	
LPT3:	プリンター ポート	
COM1:	シリアルポート	
COM2:	シリアルポート	
COM3:	シリアルポート	
COM4:	シリアルポート	
FILE:	ローカル ポート	
COM_GT4-LX	SATO V6 Advanced Po...	
IR	ローカル ポート	
PORTPROMPT:	ローカル ポート	
SHRFAX:	FAX モニター ポート	

ポートの追加(A)... 構成(O)

終了(E) < 前へ(P) **次へ(N) >**

12. [インストール] をクリックします。

プリンターインストールウィザード

プリンター オプション
インストールする前にプリンターのオプションを選択してください。

プリンター名(n): SATO CT4-LX-J 305dpi

ドライバーバージョン: 1.0.0.0

ポート名: COM_CT4-LX

このプリンターを通常使うプリンターに設定します(d)

終了(E) < 前へ(P) **インストール(I)**

同じプリンター名がある場合は、[プリンター名] を変えてから [インストール] をクリックしてください。

[Windowsセキュリティ] が表示された場合は [インストール] をクリックしてください。

Windows セキュリティ

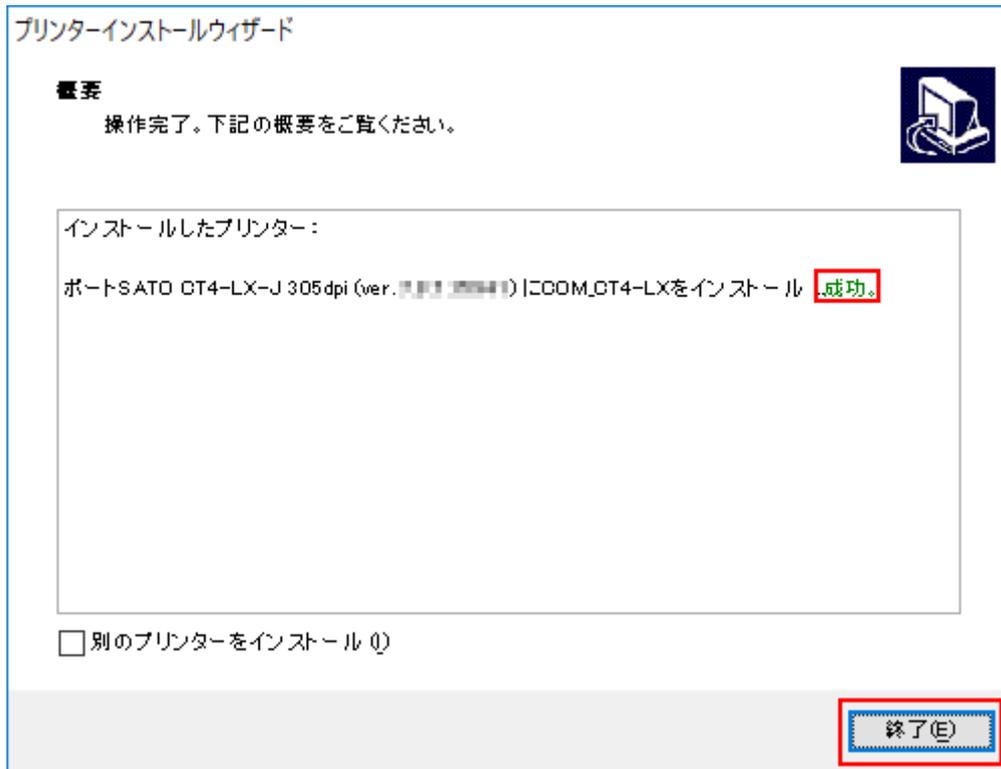
このデバイスソフトウェアをインストールしますか?

名前: SATO printer driver
発行元: SATO CORPORATION

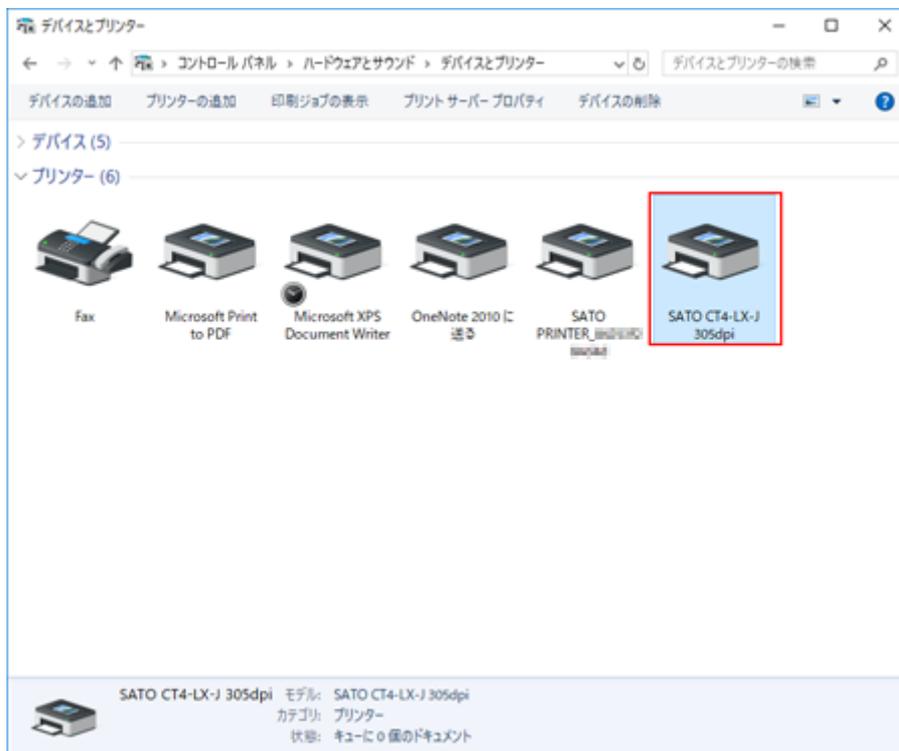
"SATO CORPORATION" からのソフトウェアを常に信頼する(A) **インストール(I)** インストールしない(N)

 信頼する発行元からのドライバー ソフトウェアのみをインストールしてください。安全にインストールできるデバイスソフトウェアを判断する方法

13. [成功] と表示されていることを確認し、[終了] をクリックしてください。

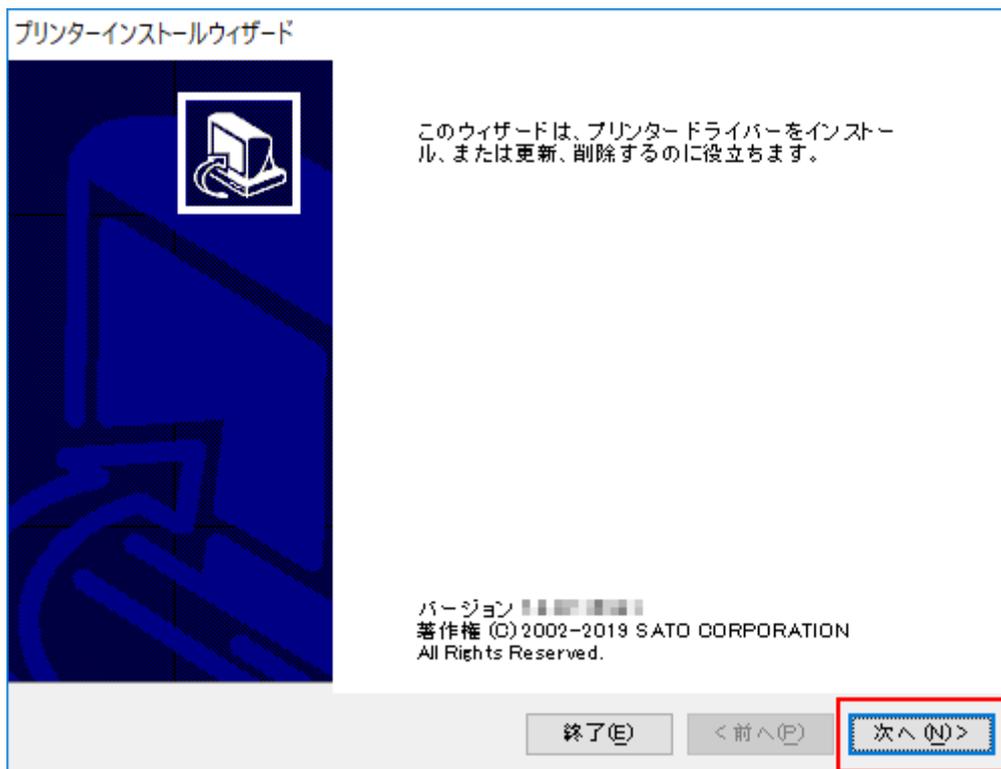


14. [デバイスとプリンター] を開き、プリンタが追加されていることを確認します。

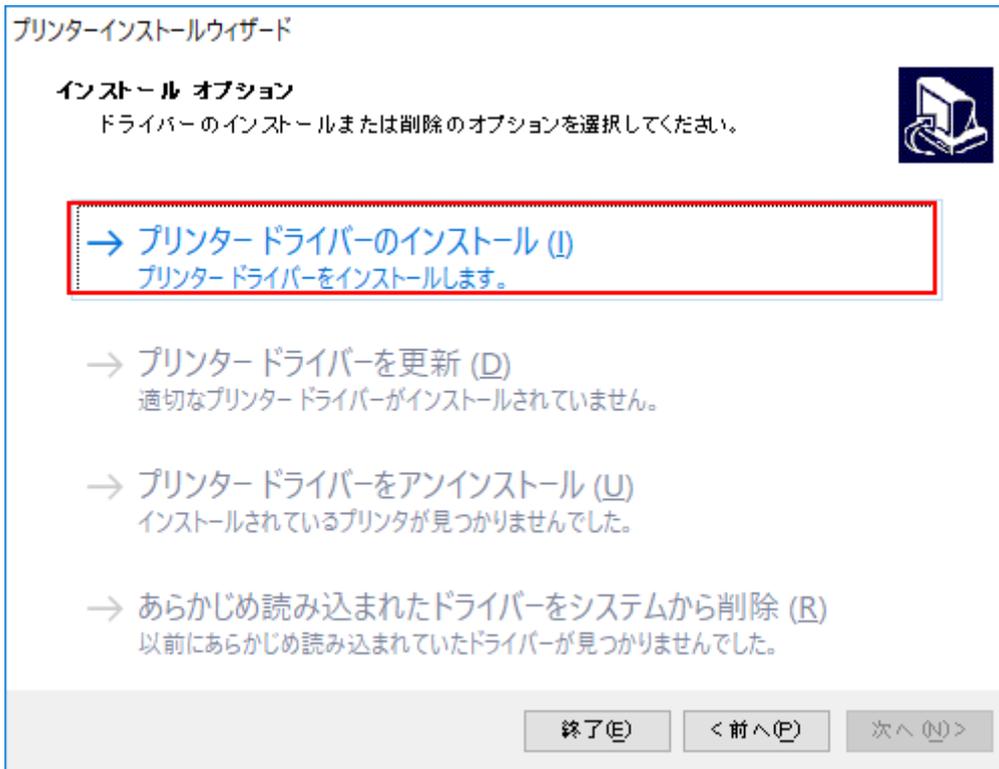


RS-232C接続の場合のインストール方法

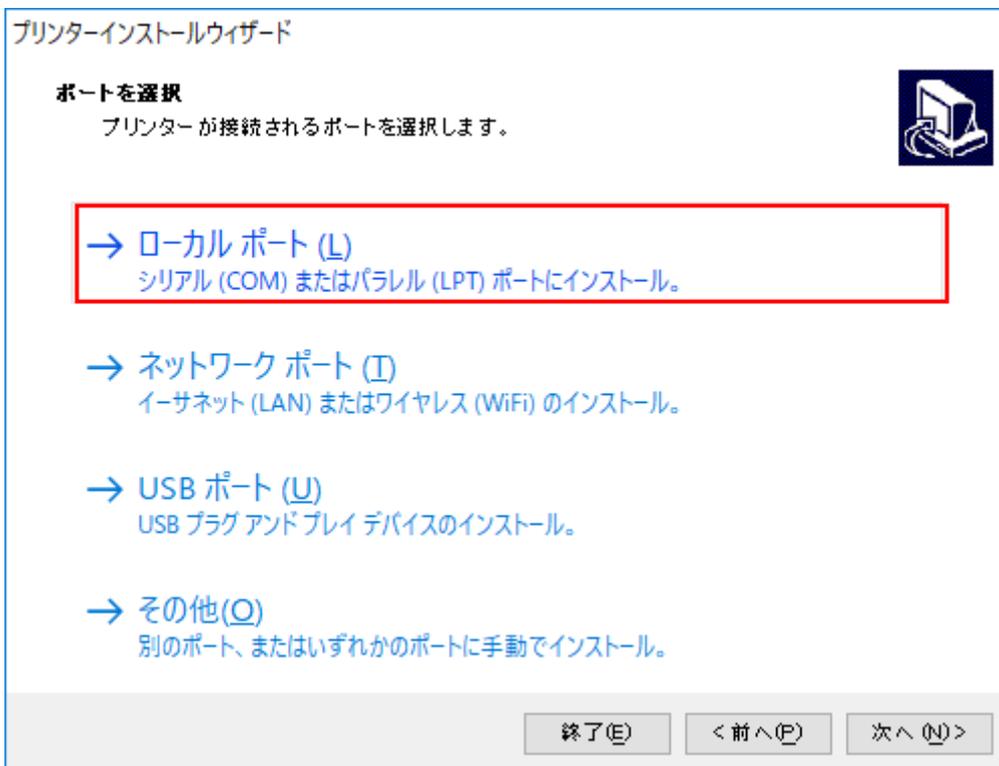
1. 本製品とコンピュータをRS-232Cケーブルで接続し、本製品の電源を入れます。
2. PrnInst.exeをダブルクリックします。
プリンターインストールウィザードが起動されます。
3. [次へ] をクリックします。



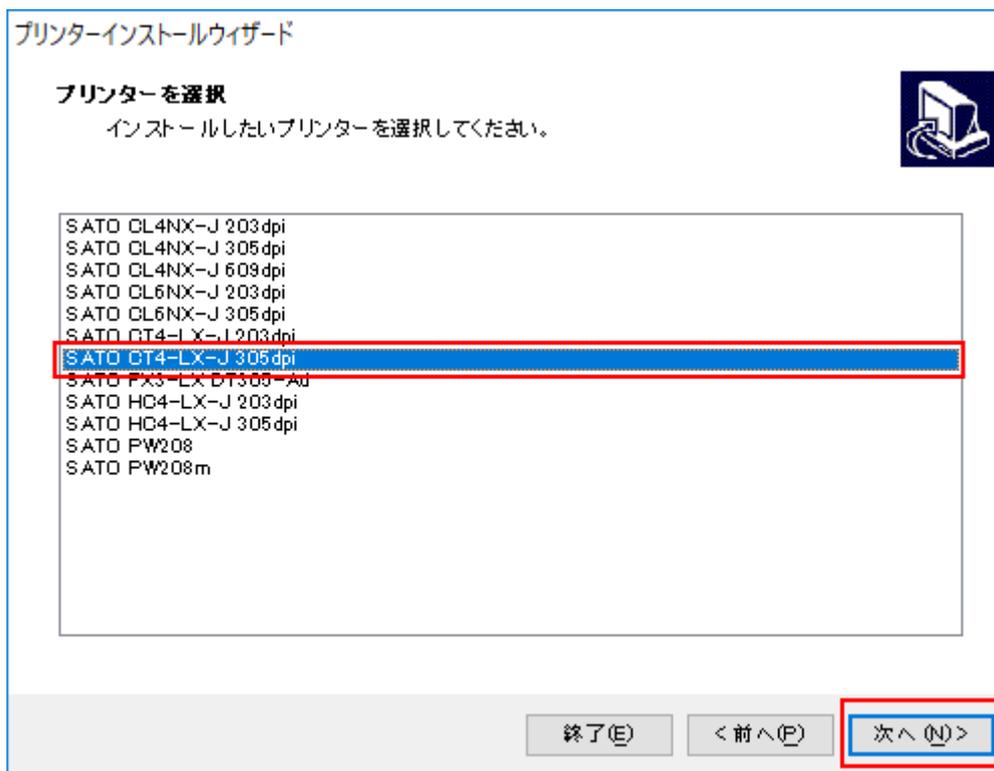
4. [プリンタードライバーのインストール] をクリックします。



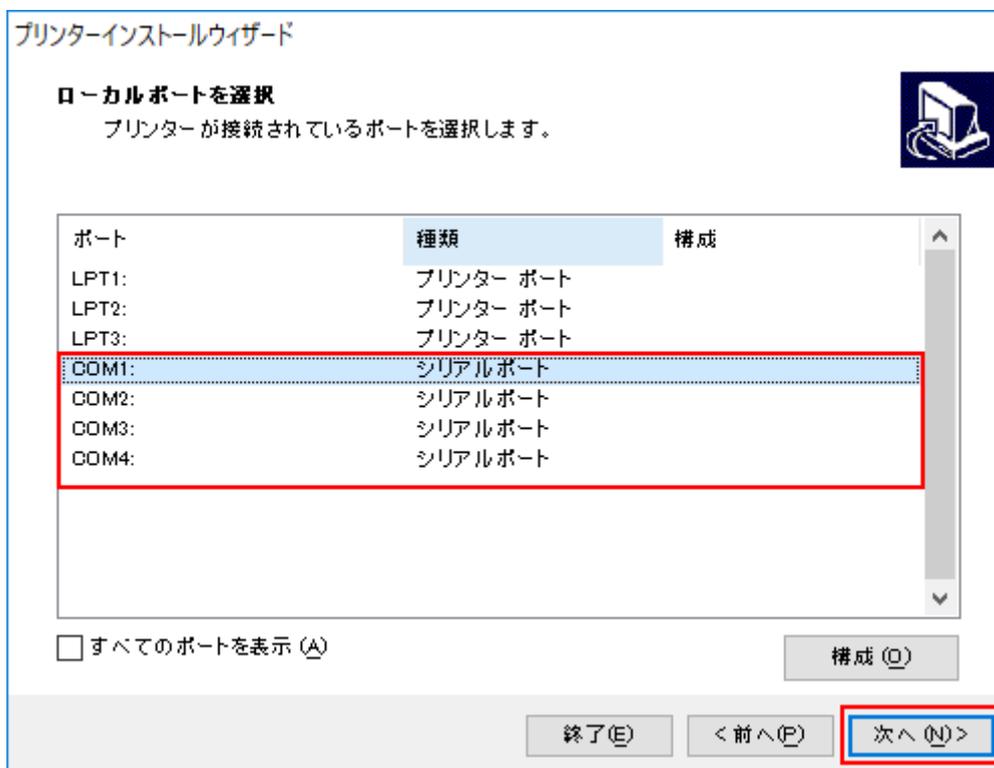
5. [ローカルポート] をクリックします。



6. インストールするプリンタを選択し、[次へ] をクリックします。



7. シリアル (COM) ポートを選択し、[次へ] をクリックします。



8. [インストール] をクリックします。

プリンターインストールウィザード

プリンター オプション
インストールする前にプリンターのオプションを選択してください。

プリンター名(n): SATO CT4-LX-J 305dpi

ドライバー バージョン: 1.0.0.0

ポート名: COM1:

このプリンターを通常使うプリンターに設定します(d)

終了(E) < 前へ(P) **インストール(I)**

[Windowsセキュリティ] が表示された場合は [インストール] をクリックしてください。

Windows セキュリティ

このデバイス ソフトウェアをインストールしますか?

名前: SATO printer driver
発行元: SATO CORPORATION

"SATO CORPORATION" からのソフトウェアを常に信頼する(A)

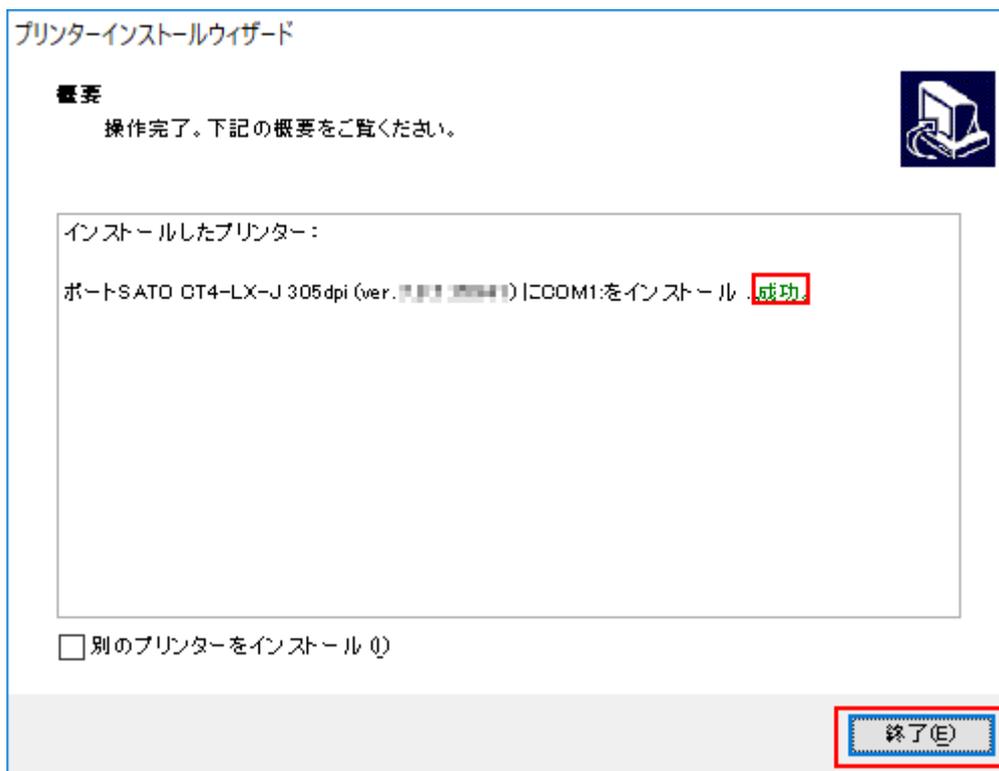
インストール(I) インストールしない(N)

 信頼する発行元からのドライバー ソフトウェアのみをインストールしてください。安全にインストールできるデバイスソフトウェアを判断する方法

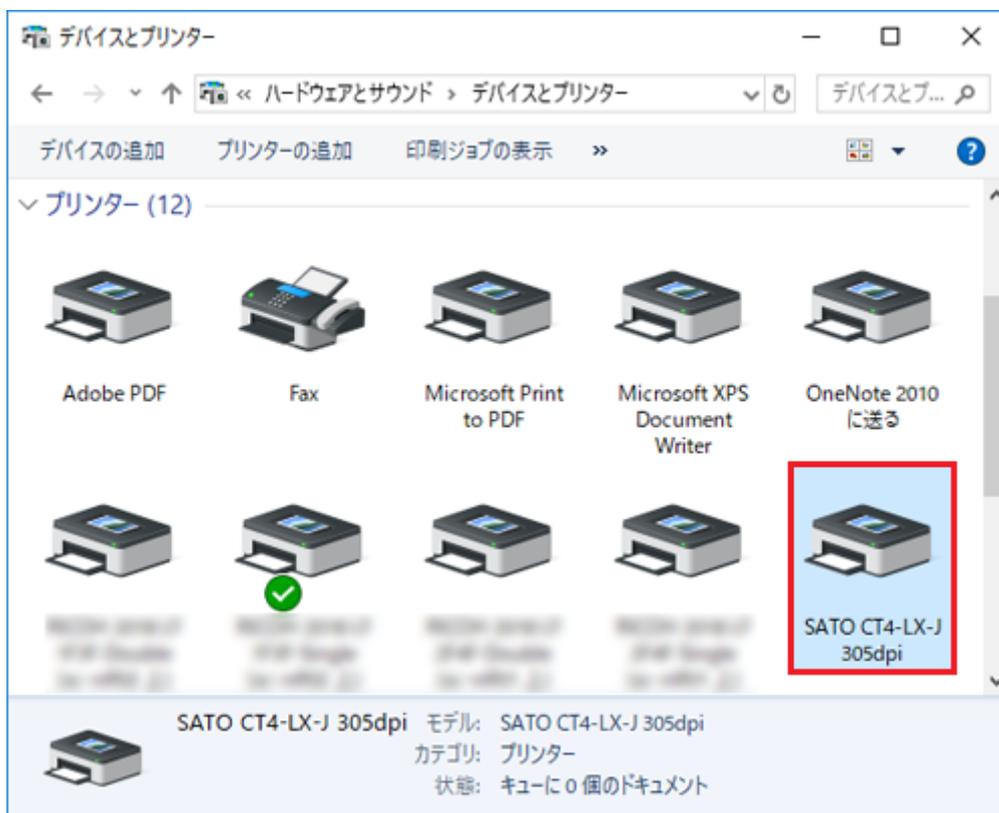


- 別のプロセスがブロックしているという内容の警告画面が表示された場合は、表示に従って対応してください。

9. 処理結果に [成功] と表示されていることを確認し、[終了] をクリックします。



10. [デバイスとプリンター] を開き、プリンタが追加されていることを確認します。



2台目以降のプリンタドライバをインストールする方法

複数の本製品を使用するときは、使用する台数分のプリンタドライバをインストールします。

USB接続の場合

1. 本製品の電源を切り、コンピュータに接続します。
2. 本製品の電源を入れます。
Plug&Play機能が実行され、自動的にプリンタドライバがインストールされます。
3. 必要に応じてプリンタの名称を変更します。



- すでに作成されているポート名やプリンタ名ではインストールできません。名前を変えてください。
-

LAN接続/無線LAN接続/RS232C接続の場合

1台目と同じ要領でインストールしてください。

1. PrnInst.exeをダブルクリックします。
2. 以降、1台目と同じ手順でインストールします。



- すでに作成されているポート名やプリンタ名ではインストールできません。名前を変えてください。
-

Bluetooth接続の場合

1台目と同じ要領でインストールしてください。

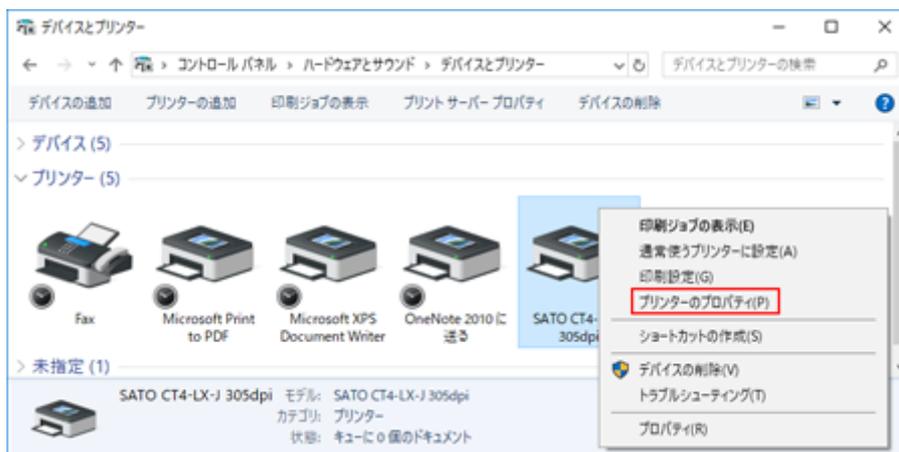
1. 本製品とコンピュータをペアリングします。
2. PrnInst.exeをダブルクリックします。
3. 以降、1台目と同じ手順でインストールします。



- すでに作成されているポート名やプリンタ名ではインストールできません。名前を変えてください。
-

インストール後に本製品の名称を変更する

1. [デバイスとプリンター] を開き、目的の本製品を右クリックし、[プリンターのプロパティ] を選びます。



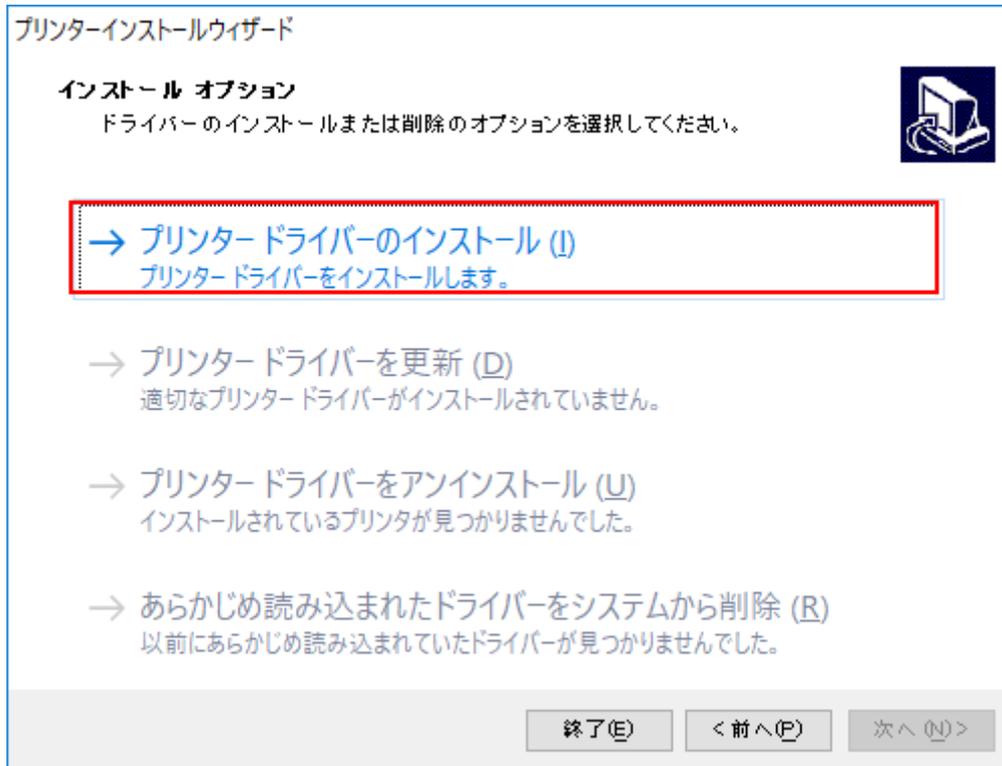
2. [全般] タブで名称を変更し、[OK] をクリックします。



プリンタドライバの設定を手動でおこなってインストールするとき

プリンタドライバの設定を手動でおこなってインストールする手順と設定内容を説明します。

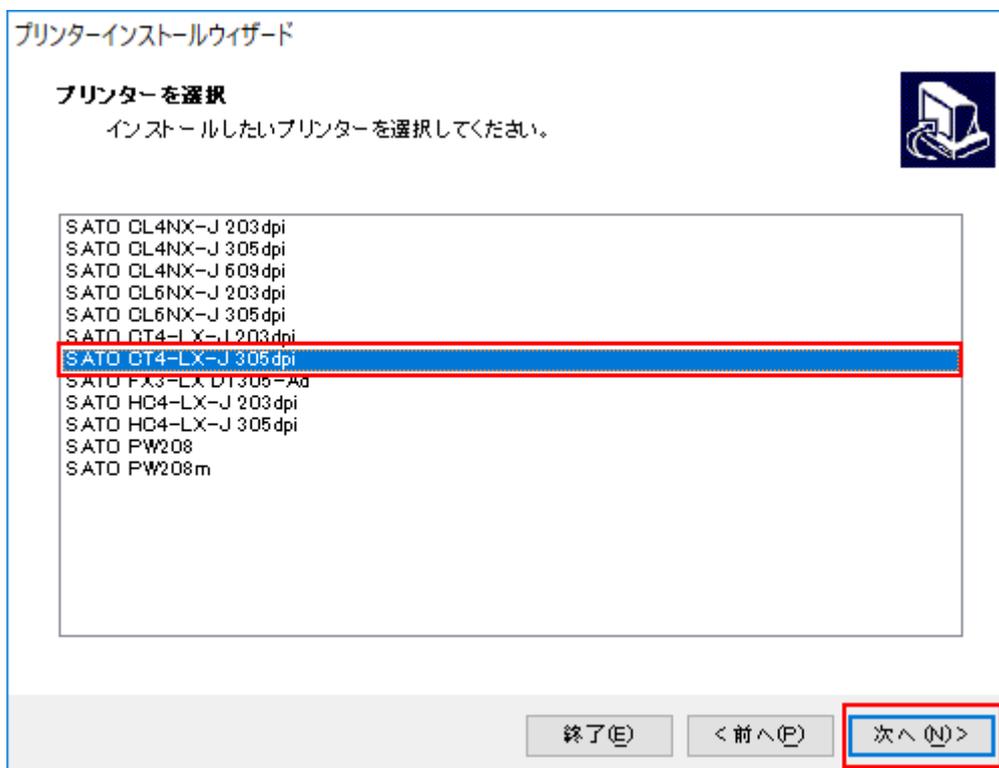
1. [プリンタードライバーのインストール] をクリックします。



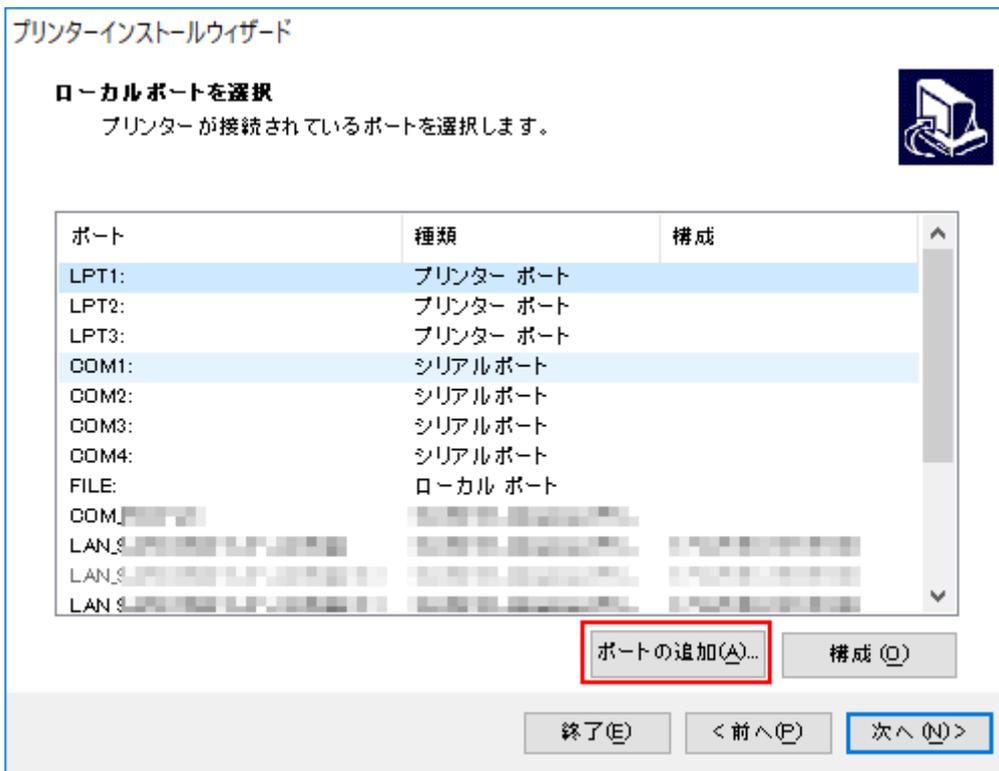
2. [その他] をクリックします。



3. インストールするプリンタを選び、[次へ] をクリックします。



4. [ポートの追加] をクリックします。

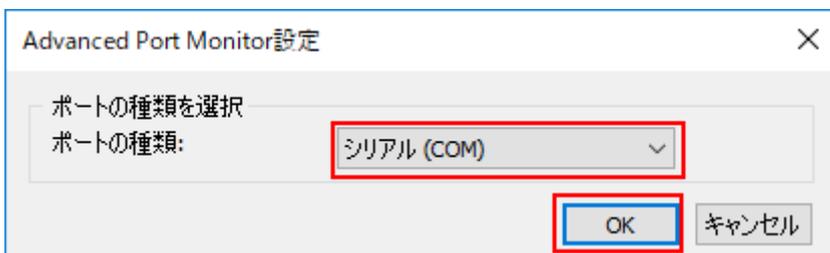


- 別のプロセスがブロックしているという内容の警告画面が表示された場合は、表示に従って対応してください。

5. コンピュータと本製品の接続のしかたに対応するポートの種類を選び、[OK] をクリックします。

- LANまたは無線LAN接続の場合:[TCP/IP(LAN)]を選ぶ
- BluetoothまたはRS-232C接続の場合:[シリアル(COM)]を選ぶ

[パラレル (LPT)] は使用しません。



6. ポート設定をおこない、[OK] をクリックします。

- [TCP/IP(LAN)]を選んだ場合

Advanced TCP/IP Port設定

ポート名
名前(Q): LAN

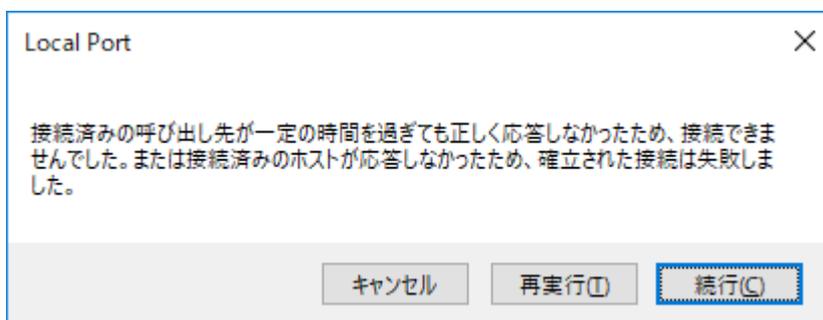
TCP/IPデータ
プリンター名またはIPアドレス:
ポート番号: 9100

タイムアウト設定
 ダウンロードを有効にする
印刷タイムアウト: 200 ms
ダウンロードタイムアウト: 7000 ms

OK キャンセル



- 既存のポート名と同じポート名は設定できません。
- [プリンター名またはIPアドレス] および [ポート番号] が接続先の本製品の設定と一致していないと、通信できません。
- [OK] をクリックすると、設定内容に基づいて通信の確認がおこなわれます。通信できなかった場合は、次の画面が表示されます。



[キャンセル]

前画面に戻ります。[プリンター名またはIPアドレス] などの設定内容を修正する場合にクリックしてください。

[再実行]

通信の確認を再度おこないます。

[続行]

通信の確認はおこなわずに次の手順に進みます。本製品との通信確認はおこなわずにポートのセットアップを進めるときにクリックしてください。

- [ポート番号] は通常変更する必要はありません（本製品側のデフォルト値も9100です）。
- タイムアウト設定は、通常変更する必要はありません。
- Advanced TCP/IP Port設定ダイアログでおこなった設定は、プリンタドライバのインストール後も、次の手順で変更できます。
 1. [デバイスとプリンター] を開き、目的の本製品を右クリックし、[プリンターのプロパティ] を選ぶ
 2. [ポート] タブを選ぶ
 3. [ポートの構成] をクリックする

- [シリアル(COM)]を選んだ場合

Advanced Serial Port設定

ポート名
名前(N): COM_

シリアルポートデータ

シリアルポート: COM3: ▾
ボーレート: 19200 ▾
データビット: 8 ▾
パリティ: なし ▾
ストップビット: 1 ▾
フロー制御: なし ▾

タイムアウト設定

ダウンロードを有効にする

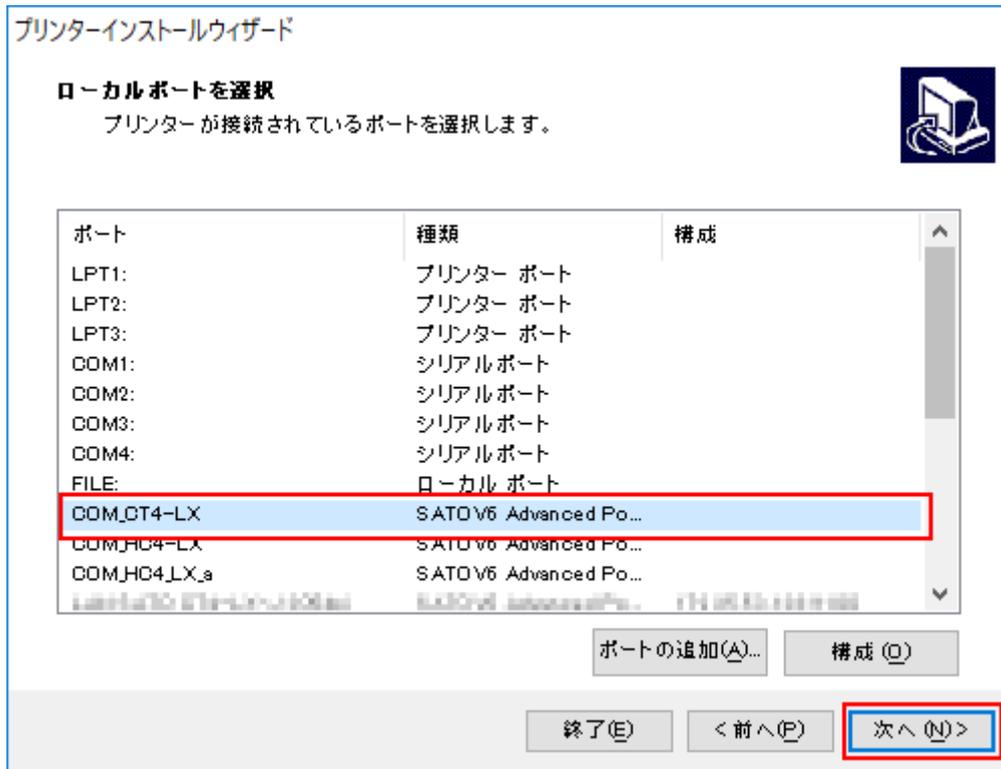
印刷タイムアウト: 200 ms
ダウンロードタイムアウト: 7000 ms

OK キャンセル

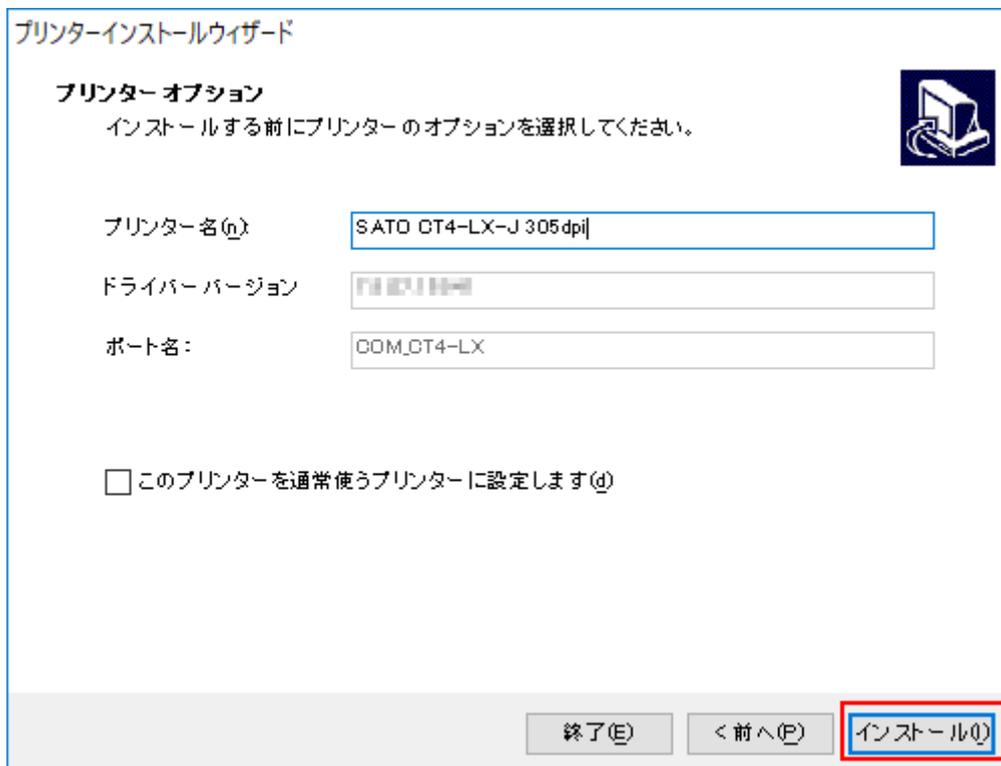


- 既存のポート名と同じポート名は設定できません。
- [シリアルポート] は、接続した本製品と同じポートを選択してください。
- [フロー制御] には [なし] を指定してください。

7. 追加したポートが選ばれていることを確認し、[次へ] をクリックします。



8. [インストール] をクリックします。

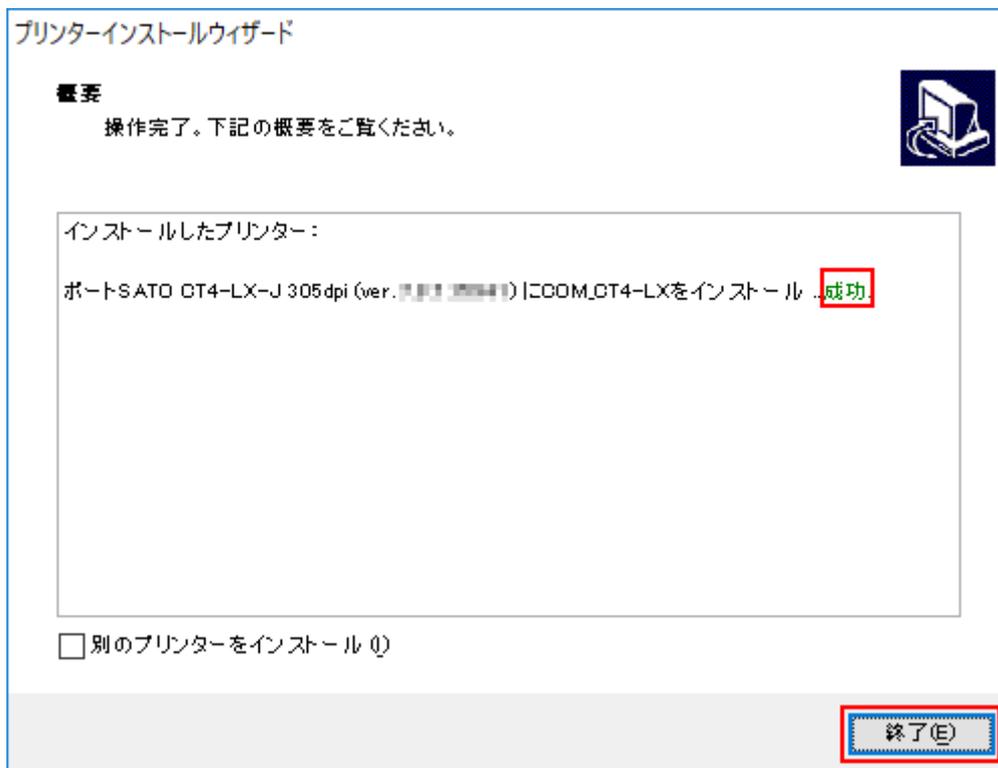


同じプリンタ名がある場合は、[プリンター名] を変えてから [インストール] をクリックしてください。

[Windowsセキュリティ] が表示された場合は [インストール] をクリックしてください。



9. [成功] と表示されていることを確認し、[終了] をクリックしてください。



10. [デバイスとプリンター] を開き、プリンタが追加されていることを確認します。



[未指定] にプリンタが追加された場合の対処

追加したプリンタが [デバイスとプリンター] で [未指定] に追加されたときは、次の手順でプリンタドライバを設定します。



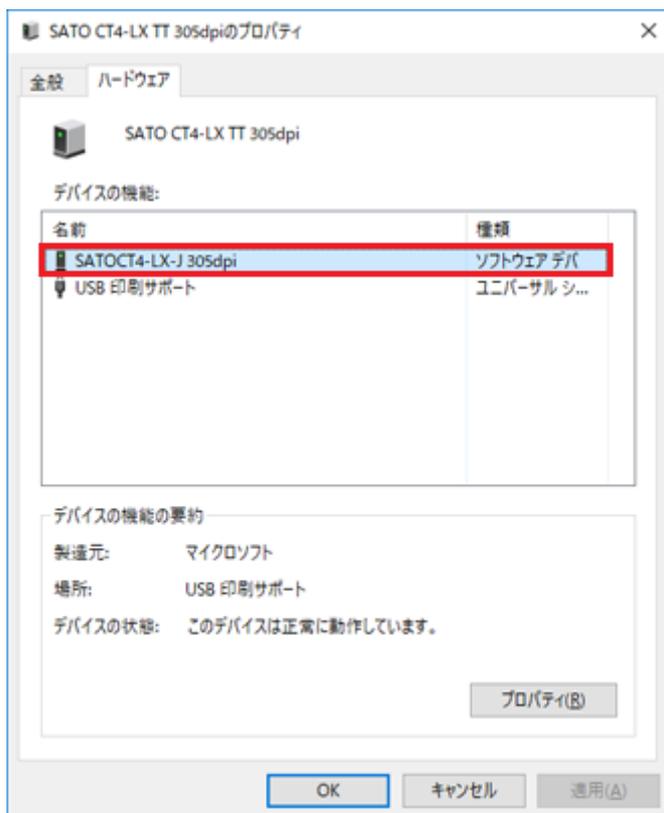
1. [デバイスとプリンター] を開き、[未指定] に追加されたプリンタを右クリックし、[プロパティ] を選びます。



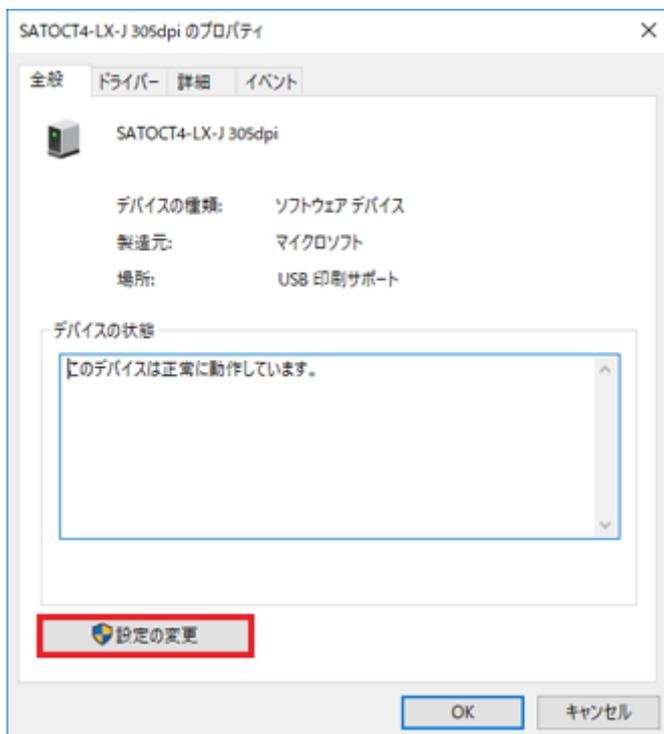
2. [ハードウェア] タブを選びます。



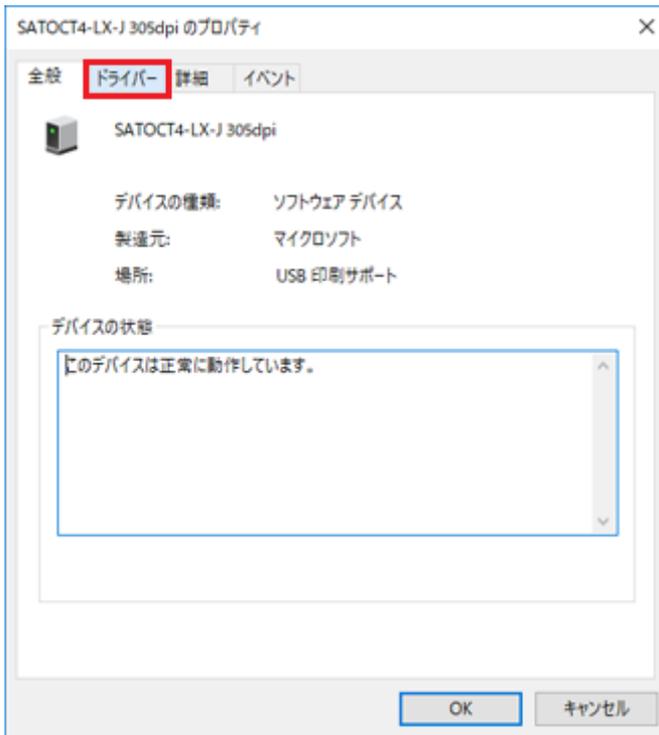
3. 本製品名を選び、[プロパティ] をクリックします。



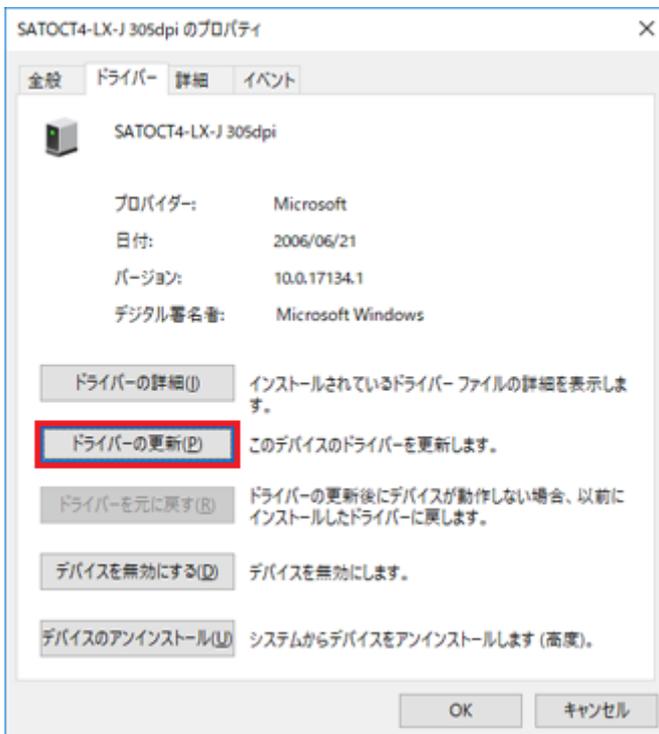
4. [設定の変更] をクリックします。



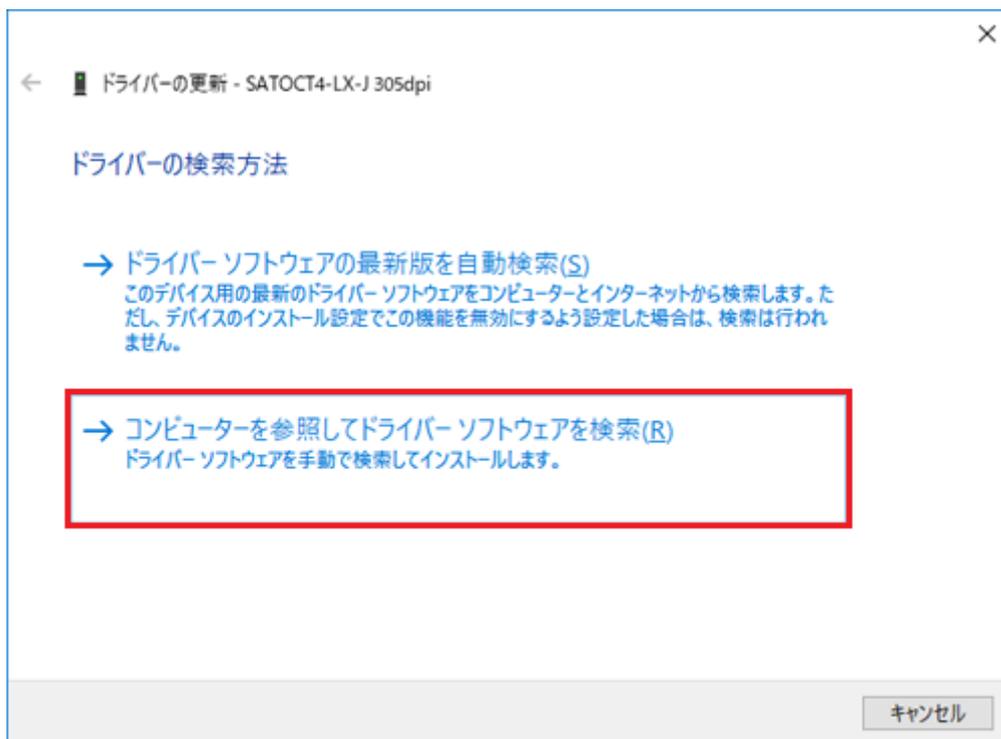
5. [ドライバー] タブを選びます。



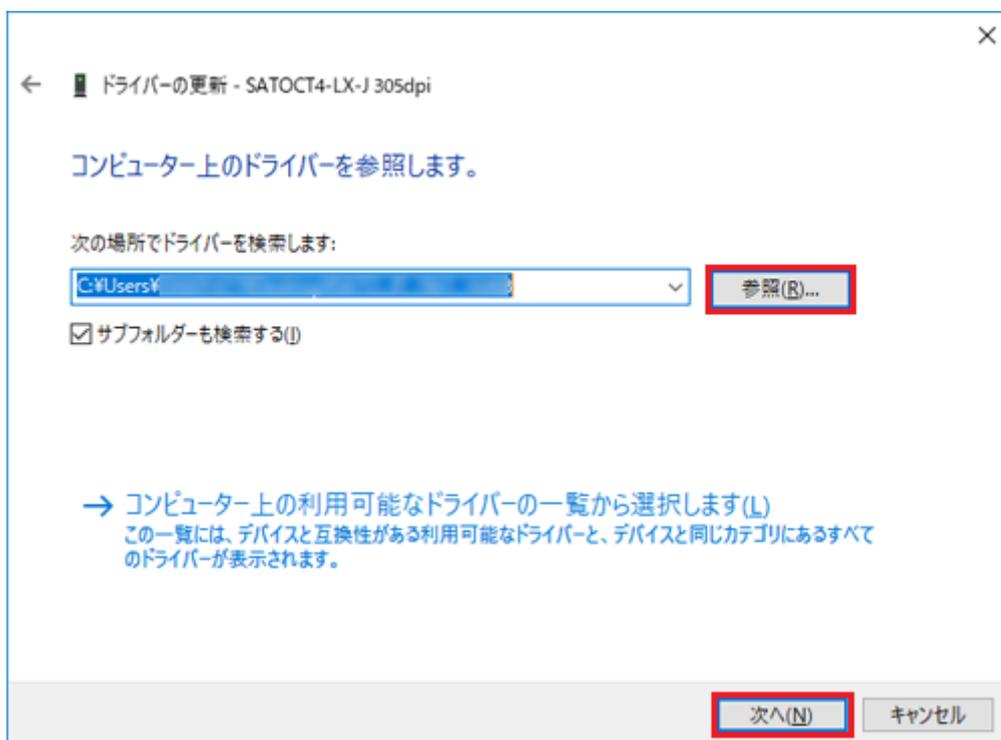
6. [ドライバーの更新] をクリックします。



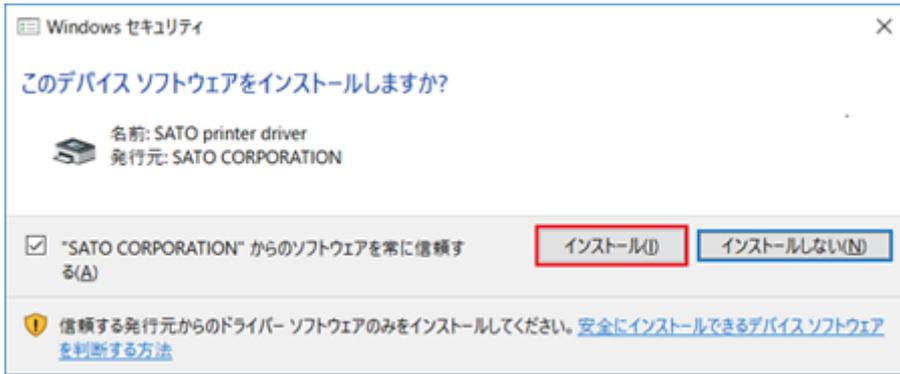
7. [コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索] をクリックします。



8. [参照] をクリックし、解凍したプリンタドライバのフォルダを指定して、[次へ] をクリックします。



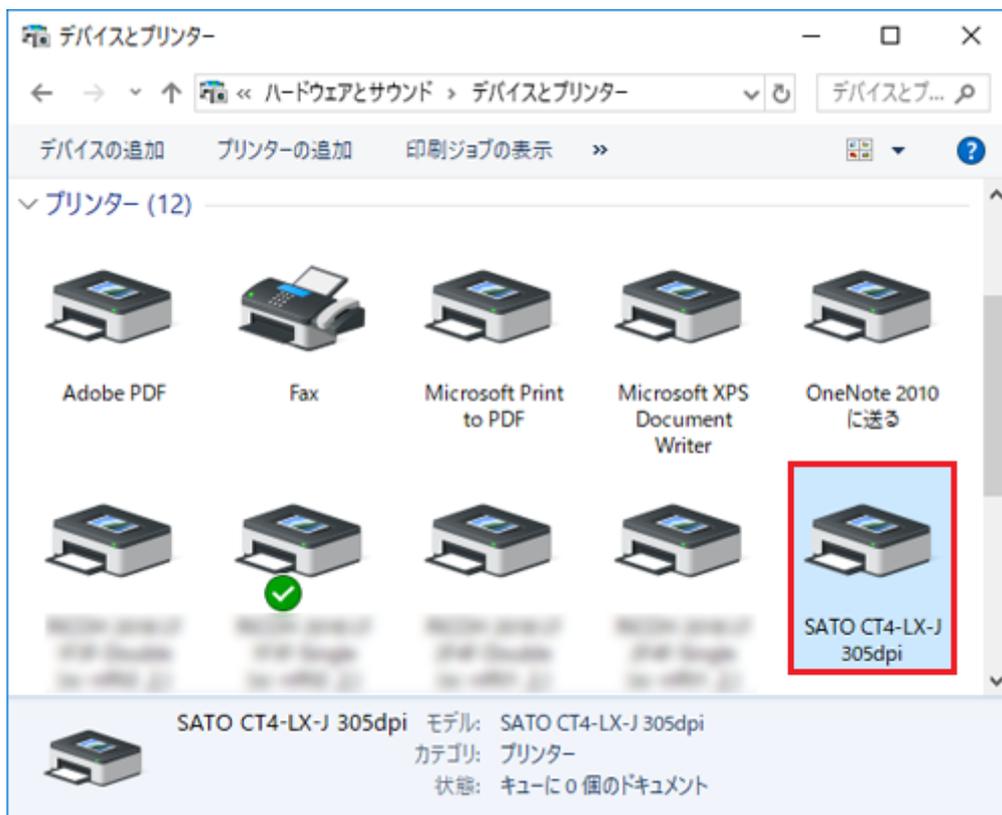
[Windowsセキュリティ] が表示された場合は [インストール] をクリックしてください。



9. [閉じる] をクリックします。



10. [デバイスとプリンター] を開き、[プリンター] にプリンタが表示されていることを確認します。



プリンタドライバを設定する

プリンタドライバをインストールしたあと、必要に応じてドライバを設定します。

【標準の設定】（全ユーザー用）と【基本設定】（個別ユーザー用）

プリンタドライバの設定には、全ユーザーに反映される【標準の設定】と、ユーザー個別に反映される【基本設定】の2つがあります。【標準の設定】と【基本設定】は、設定項目およびユーザーインタフェースは同じですが、動作が異なります。

【標準の設定】

- 管理者ユーザーが他のユーザーの初期値や設定内容を管理するために使用します。
- 【標準の設定】で変更した内容は他のユーザーの【基本設定】に反映されます。
- 新規に追加されたユーザーの【基本設定】の初期値は、追加された時点の【標準の設定】の内容になります。

【基本設定】

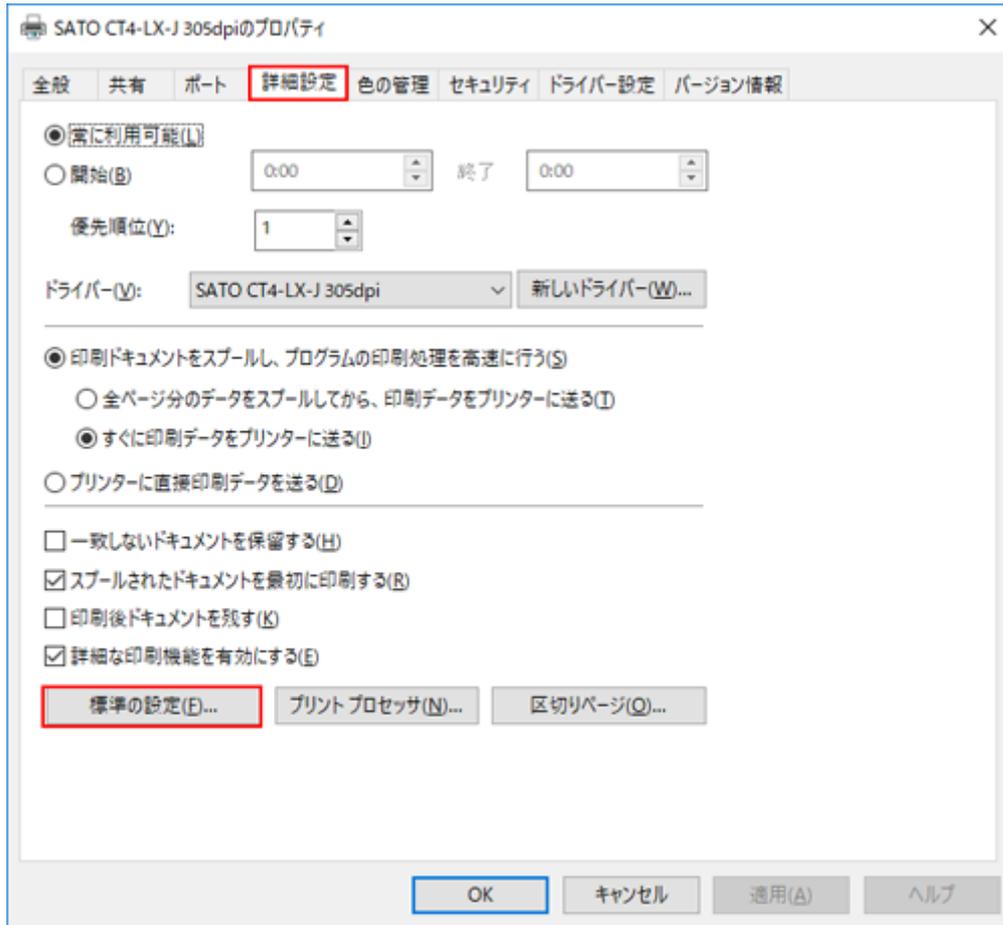
- ユーザー個別に設定を変更する場合に使用します。
- 【基本設定】で変更した内容は他のユーザーの設定には影響しません。【基本設定】で設定を変更すると、変更した項目は【標準の設定】の項目より優先されます。

【標準の設定】を開く

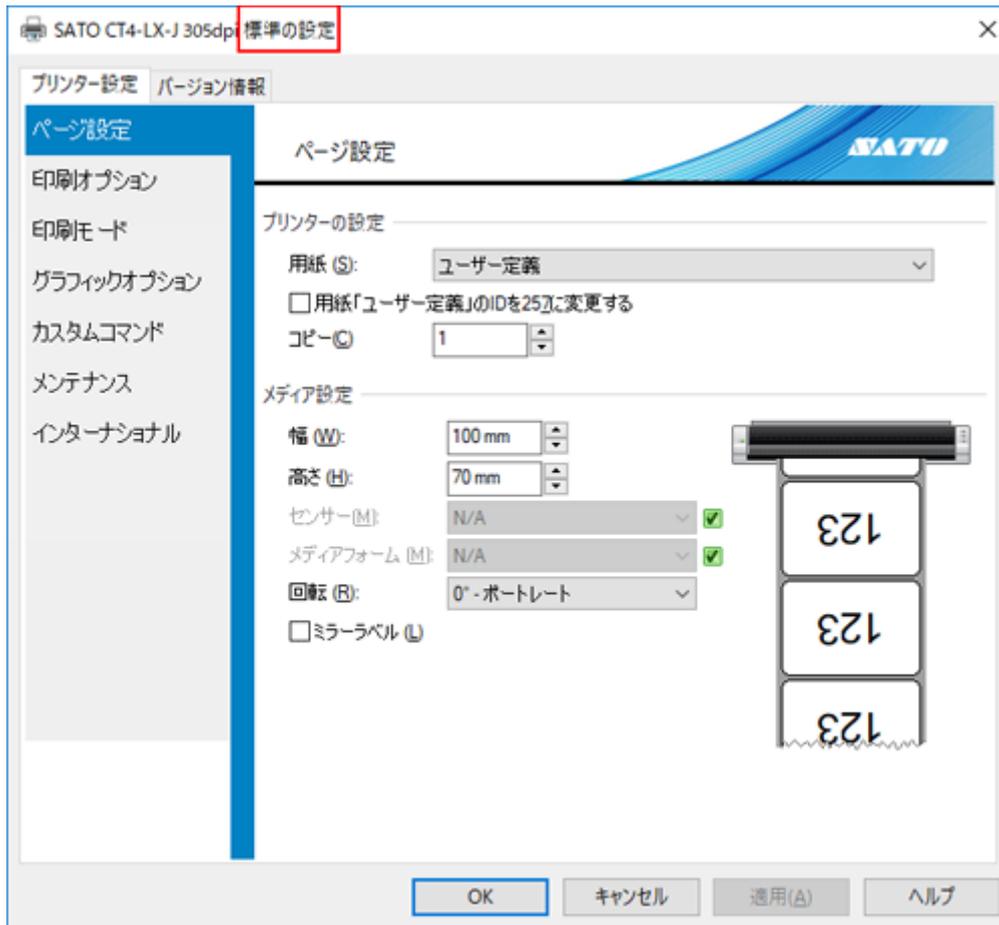
1. 【デバイスとプリンター】を開き、目的のプリンタを右クリックし、【プリンターのプロパティ】を選びます。



2. 【詳細設定】タブを選び、【標準の設定】をクリックします。



[標準の設定] が表示されます。



【基本設定】を開く

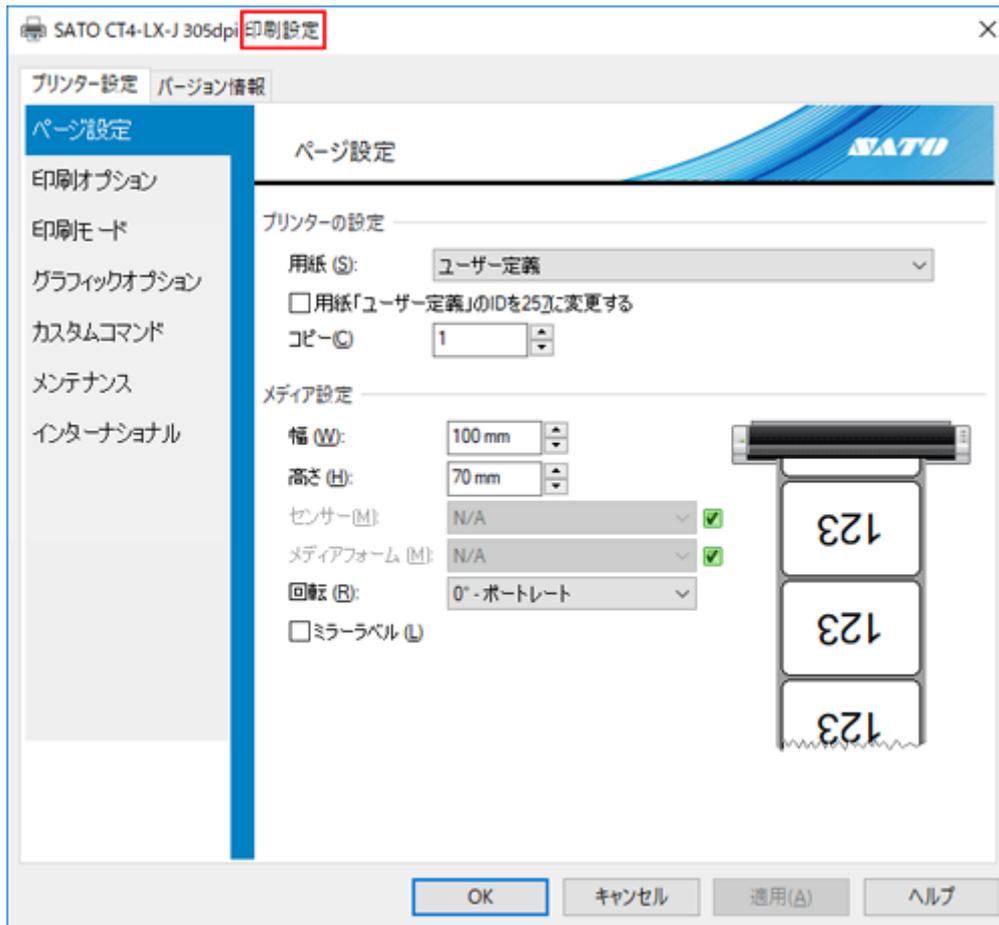
1. [デバイスとプリンター] を開き、目的のプリンタを右クリックし、[プリンターのプロパティ] を選びます。



2. [全般] タブで [基本設定] をクリックします。



[基本設定] が表示されます。タイトルバーには [印刷設定] と表示されます。



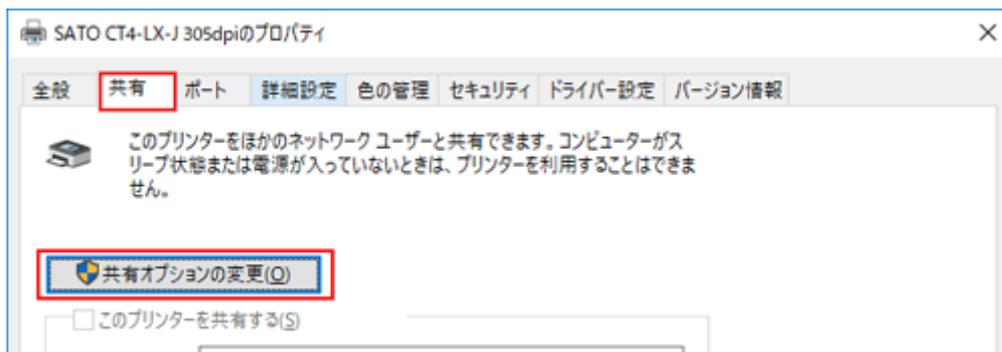
- 「基本設定」を設定するには管理者権限が必要です。管理者権限以外で設定を変更したりプリンタポートを追加したりしても、エラー画面が表示されて設定は反映されません。

管理者権限を持つ方法

設定を変更したり、ポートを追加したり変更したりする操作には、管理者権限が必要です。

Windows Server 2008以外のOSでの操作方法

1. [デバイスとプリンター] を開き、目的の本製品を右クリックして [プリンターのプロパティ] を選びます。
2. [共有] タブを選び、 [共有オプションの変更] をクリックします。



管理者権限を持った状態の [プリンターのプロパティ] 画面が表示されます。

[共有オプションの変更] が表示されていないとき

次の手順をおこなって表示させます。なお、手順はWindows10での一例です。お使いのWindowsの設定によってメニュー構成が異なる場合や設定変更ができない場合があります。

- a. [スタートアイコン] > [Windowsシステムツール] > [コントロールパネル] > [ネットワークとインターネット] > [ネットワークと共有センター] を開きます。
- b. [共有の詳細設定の変更] をクリックします。
- c. [ファイルとプリンターの共有] の [ファイルとプリンターの共有を無効にする] にチェックをして、[変更の保存] をクリックします。

Windows Server 2008での操作方法

1. [プリンター] を開き、目的の本製品を右クリックし、[管理者として実行] > [プロパティ] を選びます。



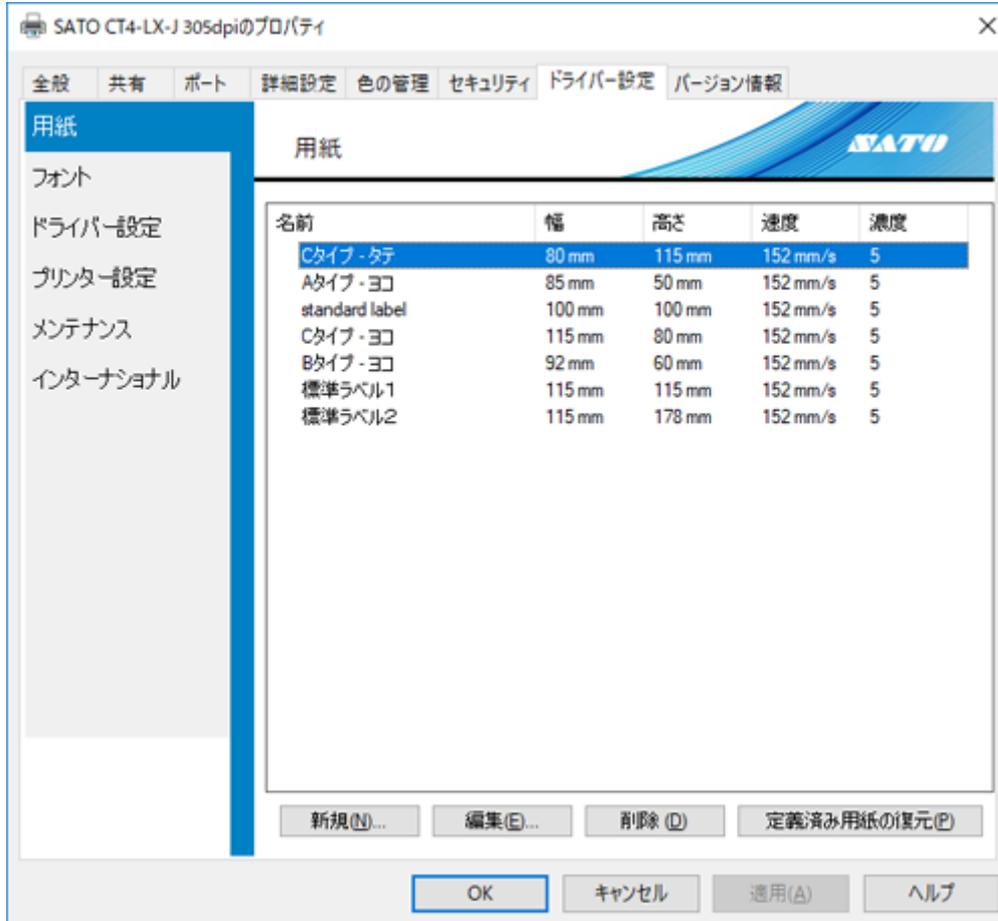
[ドライバー設定] タブで設定する項目

本プリンタドライバでは、[プリンターのプロパティ] 中の [ドライバー設定] タブで各種設定ができます。

[ドライバー設定] タブの設定は、すべてのユーザーで共有されます。

[用紙]

用紙のサイズや印刷速度などの項目をひとまとめにして登録しておけます。あらかじめ登録しておくことで、用紙に応じた設定をかんたんに設定できます。



[新規]

用紙を新規に登録します。

[編集]

登録した用紙の内容を編集します。

[削除]

登録した用紙を削除します。

[定義済み用紙の復元]

一度登録し、削除した用紙を復元させます。

[ページ設定]

[用紙] で [新規] または [編集] をクリックすると表示されます。

用紙

ページ設定

印刷オプション

ページ設定

メディア設定

名前 (N): 用紙 8

幅 (W): 100 mm

高さ (H): 70 mm

センサー (M): 透過:ギャップ

メディアフォーム (M): ロール

OK キャンセル

[名前]

用紙の名前を設定または編集します。

[幅]

台紙を含む用紙幅を設定します。

[高さ]

台紙を含む用紙高さを設定します。

[センサー]

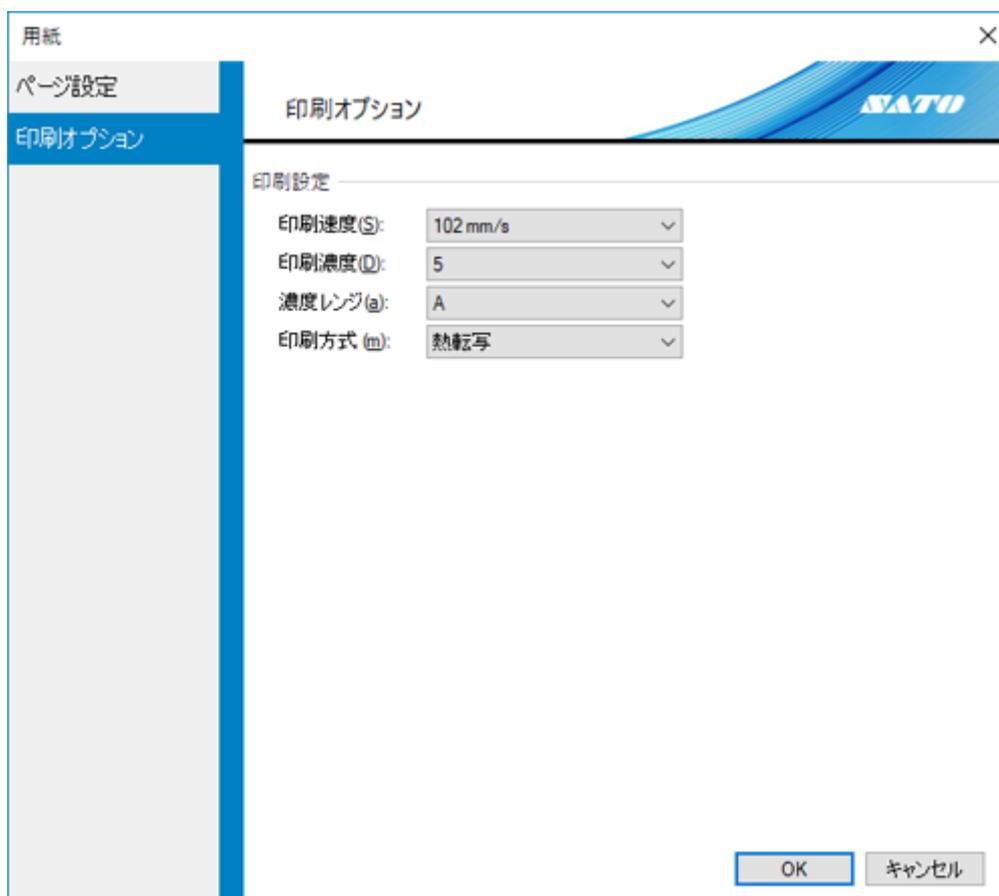
用紙の先頭を検出するセンサ種を、[透過:ギャップ] [反射:アイマーク] [無効] から選びます。

[無効] を選ぶと、用紙の先頭検出はおこなわずに、常に印字長分だけ搬送されます。

[メディアフォーム]

用紙の種類を [ロール] または [ファンフォールド] から選びます。

[印刷オプション]



[印刷速度]

[ページ設定] で選んだ用紙に設定されている印刷速度が表示されます。

[印刷濃度]

[ページ設定] で選んだ用紙に設定されている印刷濃度が表示されます。

[1] ~ [10] の10段階から選びます。数字が大きいくほど濃くなります。

[濃度レンジ]

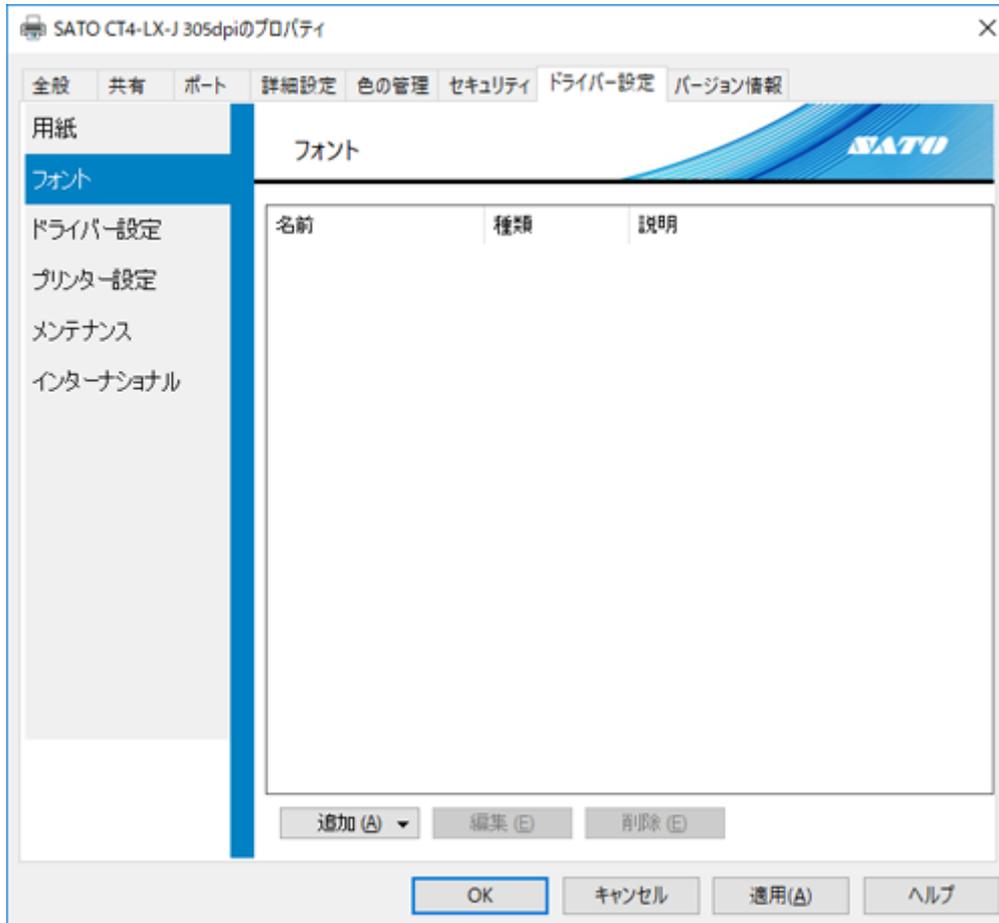
[ページ設定] で選んだ用紙に設定されている濃度レンジが表示されます。詳細は、「CT4-LX 取扱説明書」をご覧ください。

[印刷方式]

[ページ設定] で選んだ用紙に設定されている印刷方式が表示されます。[熱転写] または [感熱] から選びます。

[フォント]

バーコードフォント、コマンドフォント、および置換フォントを管理します。



[追加]

[バーコード] [コマンド] [置換] から追加するフォントを選びます。

[編集]

登録済みのフォントの設定を編集します。

[削除]

登録済みのフォントを削除します。

バーコードフォントの設定項目

「バーコードフォント」とは、アプリケーションソフトの書類上に入力したデータのフォントをバーコードフォントにすることにより、印字の際にはそのデータがバーコード化される機能です。

アプリケーションソフトの編集画面やプレビュー画面ではバーコードとして表示はされません。

バーコードフォント
×

フォント設定

バーコード: JAN/EAN13 ▼

名前: バーコードフォント

説明:

マージ対象: 同一行の文字 ▼

末尾にあるスペースを削除

バーコード設定

回転: 0° ▼

バー幅(ナローバー): 1 ▼ ドット

高さ: 12.7 mm ▲▼

ヒューマンリーダブル: なし ▼

チェックデジットの自動生成

OK
キャンセル
ヘルプ

[バーコード]

登録するバーコード、2次元コードを選びます。

[名前]

登録するバーコードフォントの名称を設定します。ここで設定した名称がアプリケーションソフトのフォント一覧に表示されます。

[説明]

登録するバーコードフォントの説明を入力します。

[マージ対象]

行やページ内で複数に分割されたオブジェクトに適切な回数だけコマンドを適用するために使用します。

[マージしない]

特別な処理をおこないません。

【同一行の文字】

同じフォントを使って、同じY座標を持つ文字列に1度だけ適用します。
結果的に1行の文字列が複数の文字に分割されても1度だけ適用されます。

【同一ページの文字】

同じフォントを使って、同じラベル内のすべての文字に1度だけ適用します。
初期化や終了処理のような、一連のデータに対して1度だけ適用する場合に使用します。

【回転】

バーコードや2次元コードを印字する角度を [0°] [90°] [180°] [270°] から選びます。

【バー幅（ナローバー）】

細いほうのバー（ナローバー）のバー幅を指定します。
バーコード種によっては、本項目は表示されません。

【高さ】

バーコードの高さを指定します。

【ヒューマンリーダブル】

ヒューマンリーダブル文字（解説文字）を付加する方法を指定します。

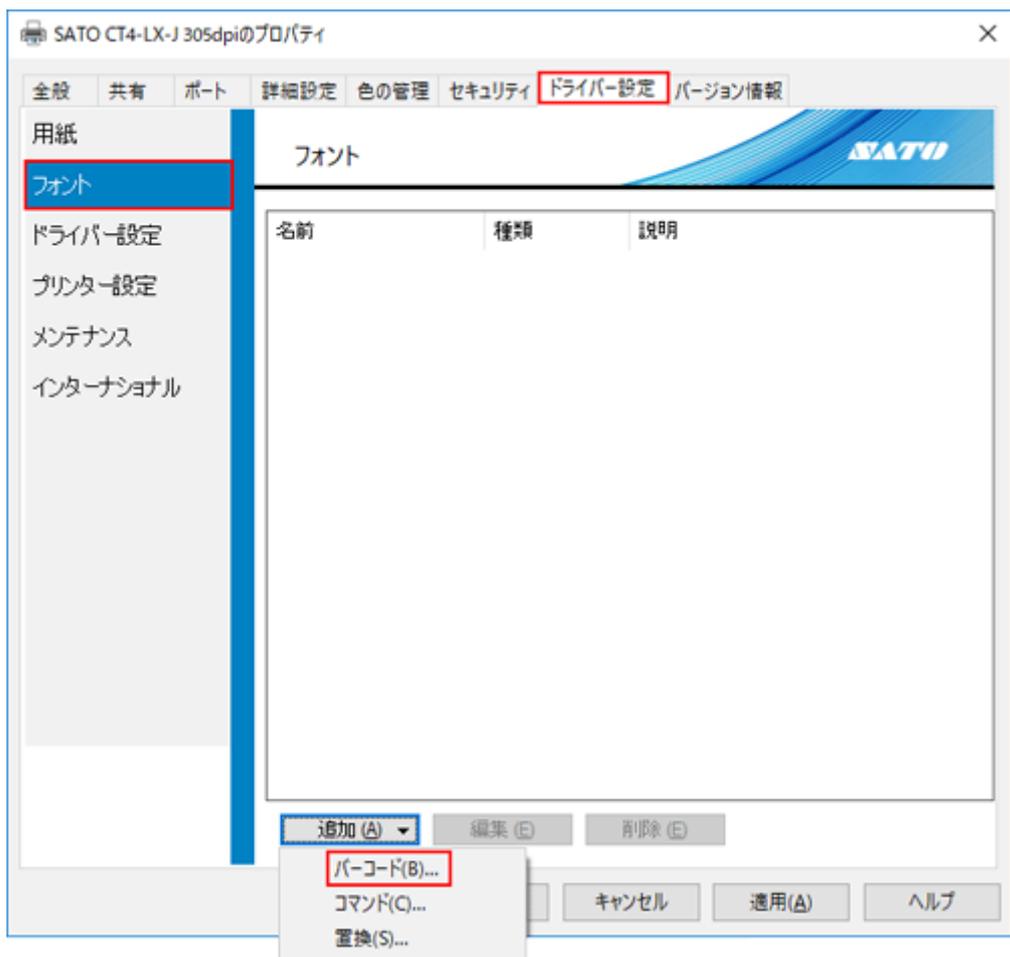
【チェックデジットの自動生成】

有効にすると、チェックデジットが自動生成されます。

バーコードフォントの使用例

「Code-39」のバーコードフォントを追加し、アプリケーションソフトから使用する例を示します。

1. [デバイスとプリンター] を開き、本製品を右クリックして [プリンターのプロパティ] を選びます。
2. [ドライバー設定] タブで [フォント] を選んだあと、[追加] > [バーコード] を選びます。



3. 以下のように設定し、[OK] をクリックします。

[バーコード]

[Code-39] を選ぶ

[名前]

「SATO_Code39」と入力

バーコードフォント ×

フォント設定

バーコード: Code-39 ▼

名前: Sato_Code39

説明:

マージ対象: 同一行の文字 ▼

末尾にあるスペースを削除

バーコード設定

回転: 0° ▼

バー幅(ナローバー): 1 ▼ ドット

比率: 1:2 ▼

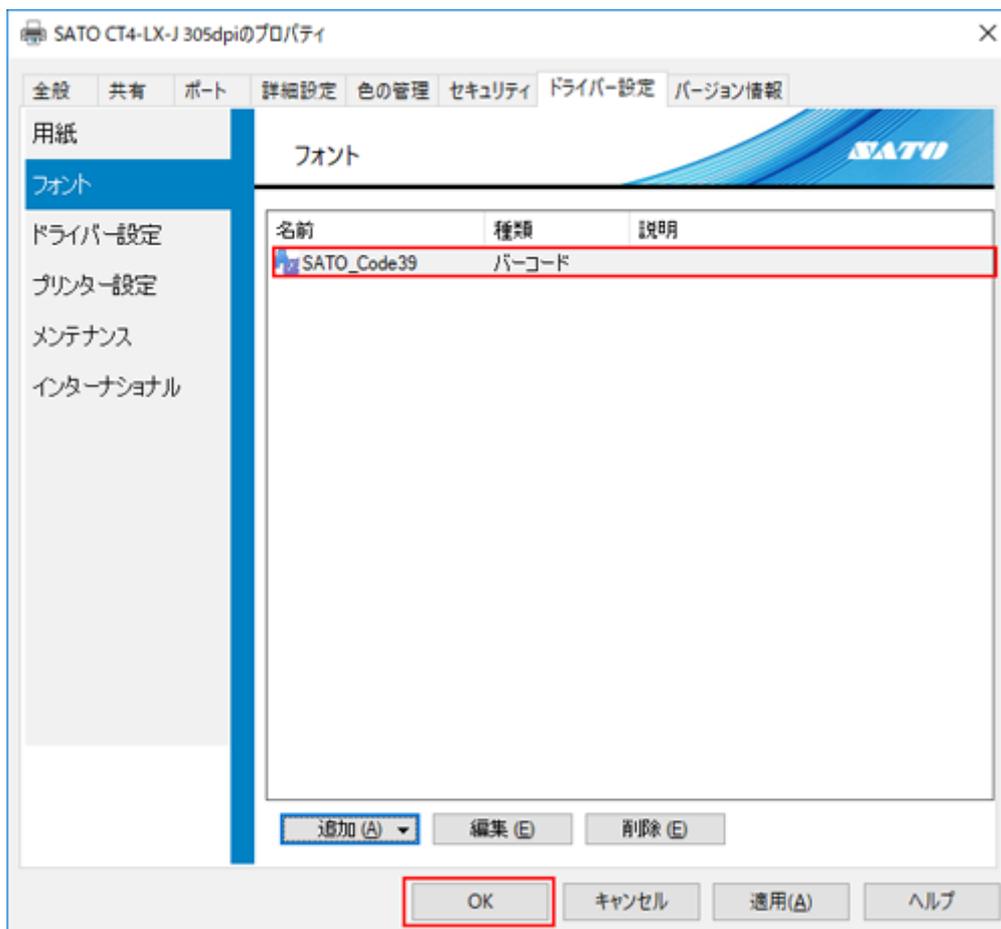
高さ: 12.7 mm ▲▼

ヒューマンリーダブル: なし ▼

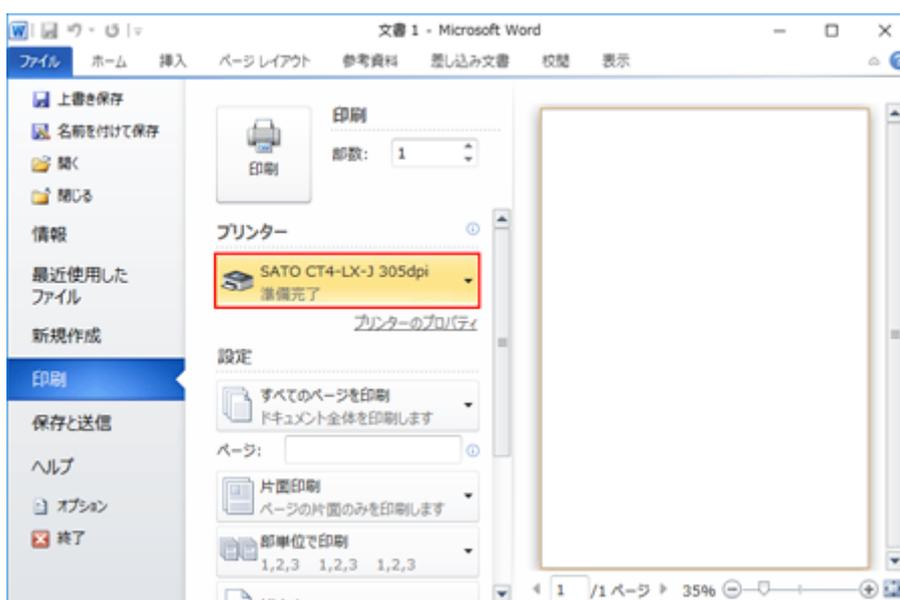
チェックデジットの自動生成

OK キャンセル ヘルプ

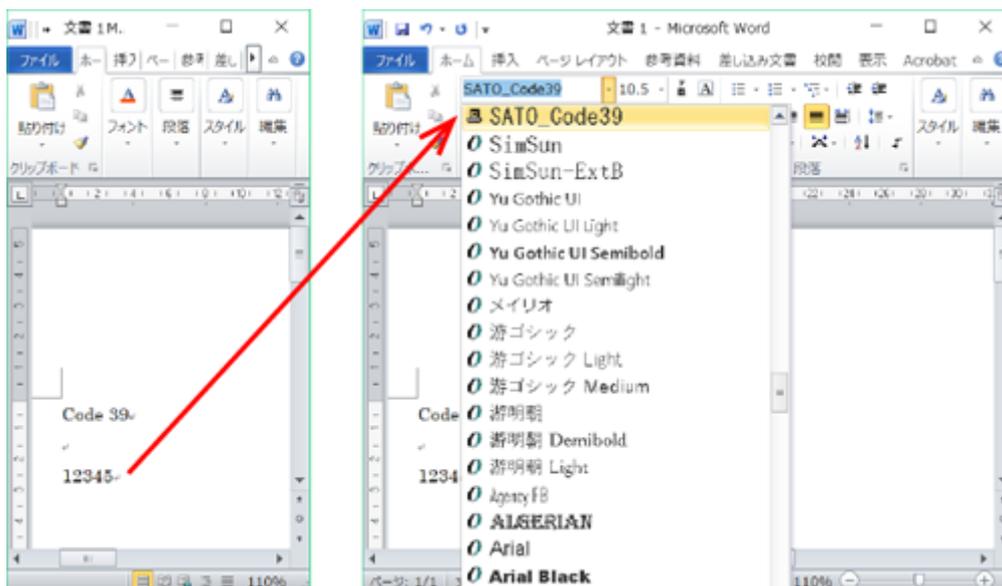
4. 設定した名称のバーコードフォントが登録されていることを確認し、[OK] をクリックします。



5. アプリケーションソフトを起動し、印刷に使用するプリンタにバーコードフォントを設定したプリンタを指定します。



6. アプリケーションソフト上でバーコードにしたい文字列を入力し、文字列のフォントに「SATO_Code39」を指定します。



本例では「12345」をバーコードにします。アプリケーションソフト上では「12345」の末尾に改行が付加されますが、改行を除く数字「12345」にバーコードフォントを設定してください。

7. 印刷します。

印刷結果は以下となります。Code-39のバーコードフォントに指定した「12345」がCode-39のバーコードとして印字されます。



- バーコードフォントに設定したバーコードの種類により、データとして使用できない文字や桁数制限があります。また、適切に設定しないとバーコードとして印字されない場合があります。バーコードの種類に応じたデータの仕様は、「CT4-LXプログラミングリファレンス」などをご覧ください。
- アプリケーションソフトの編集画面やプレビューではバーコードとして表示されません。
- 登録したバーコードフォントがアプリケーションソフトから選べない場合は、印刷に使用する本製品が、バーコードフォントを登録した本製品に設定されているかご確認ください。
- フォントサイズはバーコードのサイズとは無関係です。アプリケーションソフトのレイアウト上にデータが収まるように調整してください。
- バーコード化した際にバーコードが用紙内に収まらない場合、バーコードは印字されません。アプリケーションソフト上でのデータの位置を調整するか、バーコードが用紙内に収まるようにバーコードフォントの設定を調整してください。

コマンドフォントの設定項目

コマンドフォントは本製品に直接コマンドを送信するための仮想フォントです。プリンタドライバでは直接サポートしていない機能を使用することができます。コマンドフォントを使用するには、SBPL (SATO Barcode Printer Language) の知識が必要です。

SBPLに関しては、「CT4-LXプログラミングリファレンス」をご覧ください。

【名前】

登録するコマンドフォントの名称を設定します。

ここで設定した名称が、アプリケーションソフトのフォント一覧に表示されます。

【説明】

登録するコマンドフォントに対して説明を入力できます。

【プレフィックス】 【サフィックス】

文字列の供給方法を指定します。指定した文字列はコマンドの前または後ろに付けられます。

【プレフィックスなし】

プレフィックスを使用しません。

[サフィックスなし]

サフィックスを使用しません。

[ファイル]

プレフィックス、サフィックスを外部ファイルから読み込んで付加します。

[ファイル分析]

プレフィックス、サフィックスを外部ファイルから読み込んで付加します。予約変数を含むことができ、印刷実行時の情報と置換されます。

[文字]

プレフィックス、サフィックスを直接文字列として付加します。

[文字分析]

プレフィックス、サフィックスを直接文字列として付加します。予約変数を含むことができ、印刷実行時の情報と置換されます。

[位置]

印刷データ内へのコマンドフォントの挿入位置を制御できます。

[ページ前]

コマンドはページの開始前に挿入されます。

[エレメントの前]

コマンドはページの開始後、すべてのオブジェクトの前に挿入されます。

[エレメントの位置]

コマンドはオブジェクトの位置に挿入されます。

[エレメントの後]

コマンドはすべてのオブジェクトの後、ページの終了前に挿入されます。

[ページの後]

コマンドはページの終了後に挿入されます。

[マージ対象]

行やページ内で複数に分割されたオブジェクトに適切な回数だけコマンドを適用するために使用します。

[マージしない]

特別な処理をおこないません。

[同一行の文字]

同じフォントを使って、同じY座標を持つ文字列に1度適用します。1行の文字列が複数の文字に分割されても適用します。

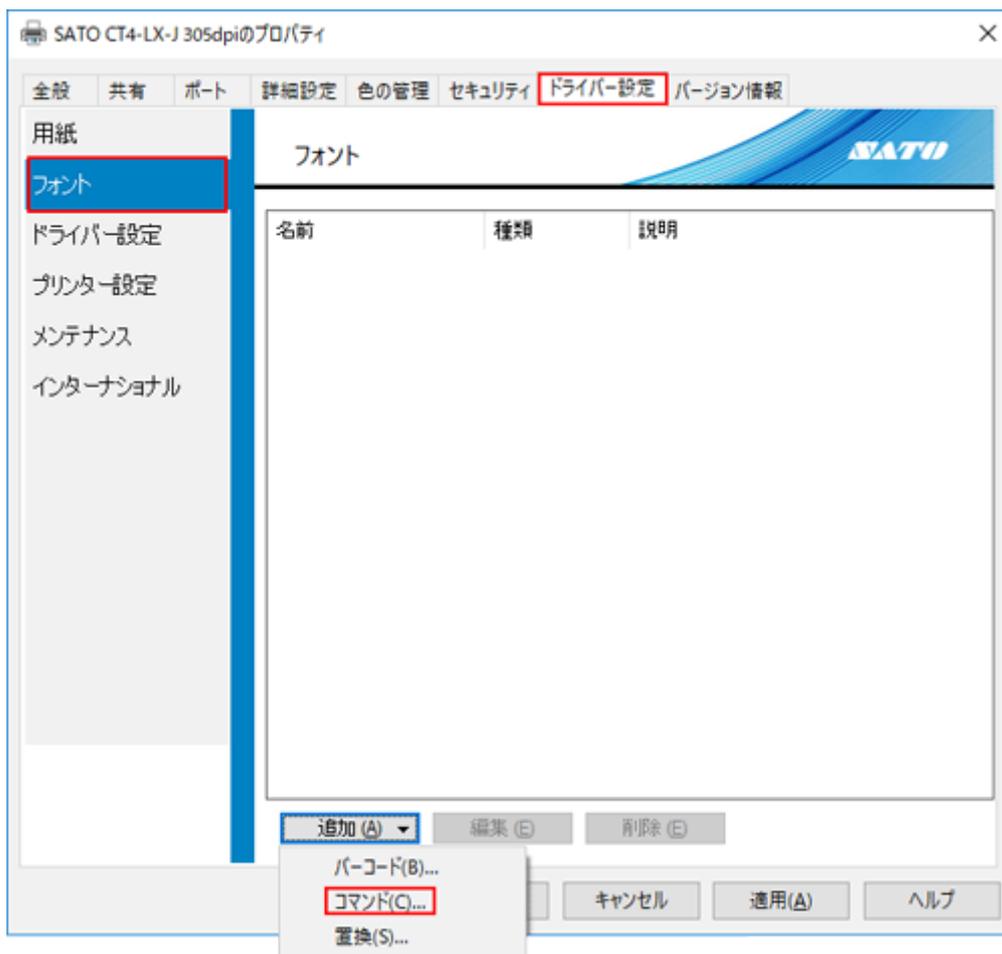
[同一ページの文字]

同じフォントを使って、同じラベル内のすべての文字に1度適用します。初期化や終了処理など、一連のデータに対して適用する場合に使用します。

コマンドフォントの使用例

本製品のデバイスフォントであるX21フォントを、新たに「SATO Command Font」というフォント名として追加し、アプリケーションソフトから使用する例を示します。

1. [デバイスとプリンター] を開き、本製品を右クリックして [プリンターのプロパティ] を選びます。
2. [ドライバー設定] タブで [フォント] を選んだあと、[追加] > [コマンド] を選びます。



3. 以下のように設定し、[OK] をクリックします。

[コマンドフォント]

[名前] : 「SATO Command Font」と入力

[プレフィックス]

[種類] : [文字分析] を選ぶ

[内容] : 「<ESC>V<Y><ESC>H<X><ESC>X21,」 と入力

- <ESC>は16進数の1Bを意味します。
- <ESC>、<Y>、<X> はキーボードから入力できます。また、「内容」欄の右端にある「>」をクリックすることで表示されるリストから選べます。

[サフィックス]

[種類] : [文字] を選ぶ

[内容] : 「678」 を入力

コマンドフォント

コマンドフォント

名前: SATO Command Font

説明:

プレフィックス

種類: 文字分析

内容: <ESC>V<Y><ESC>H<X><ESC>X21,

サフィックス

種類: 文字

内容: 678

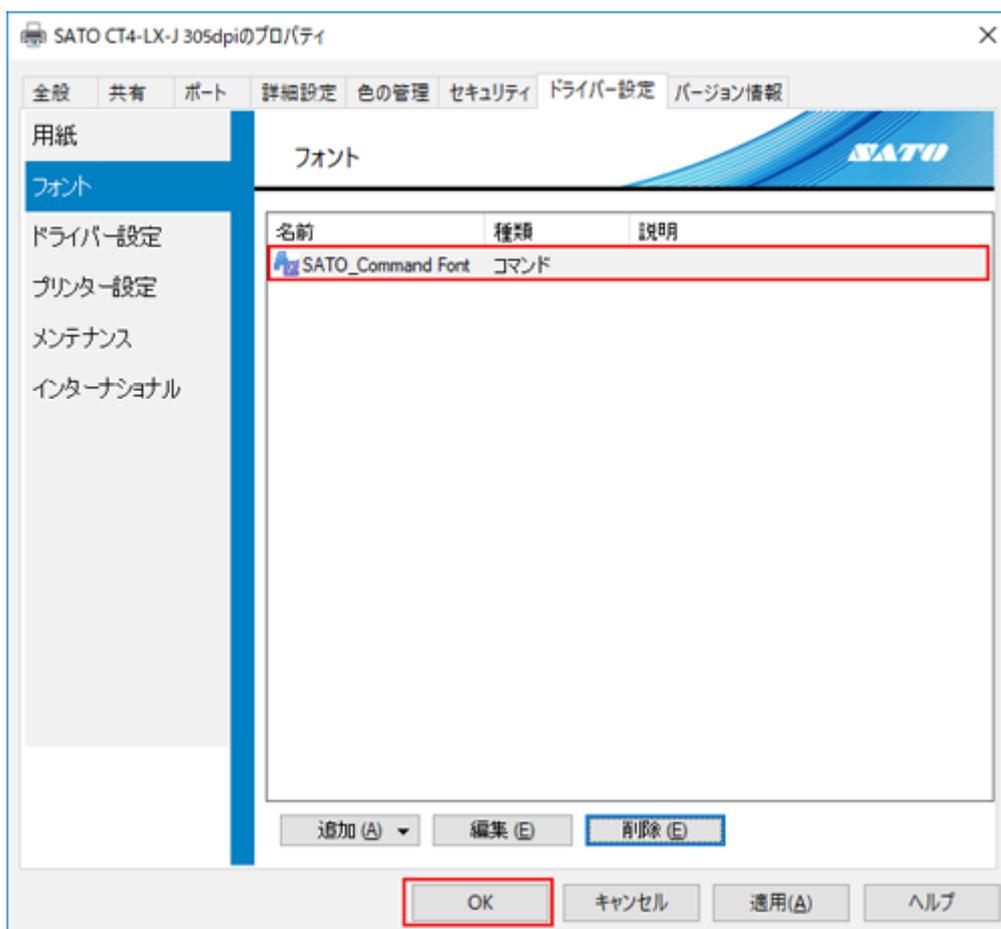
オプション

位置: エレメントの位置

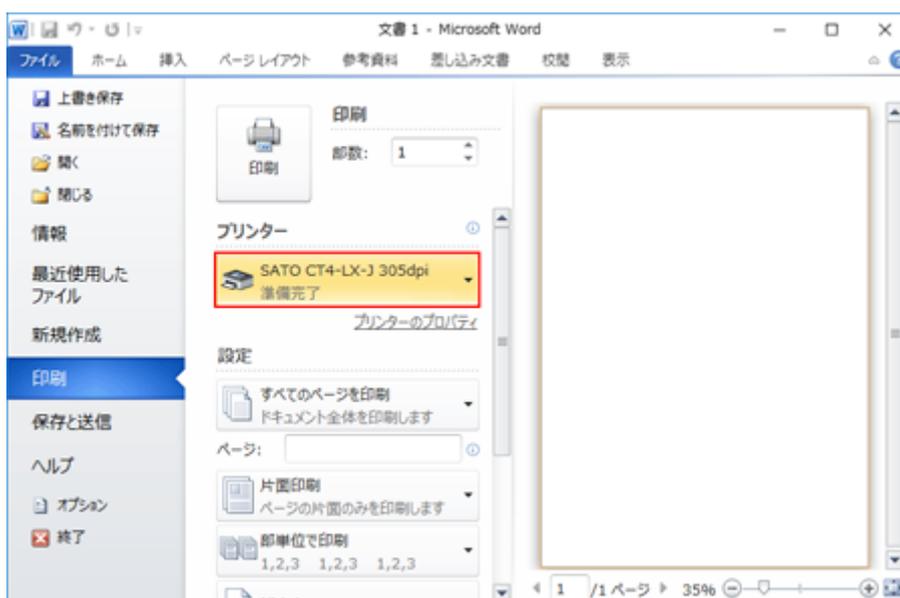
マージ対象: 同一行の文字

OK キャンセル ヘルプ

4. コマンドフォントが登録されたことを確認し、[OK] をクリックします。

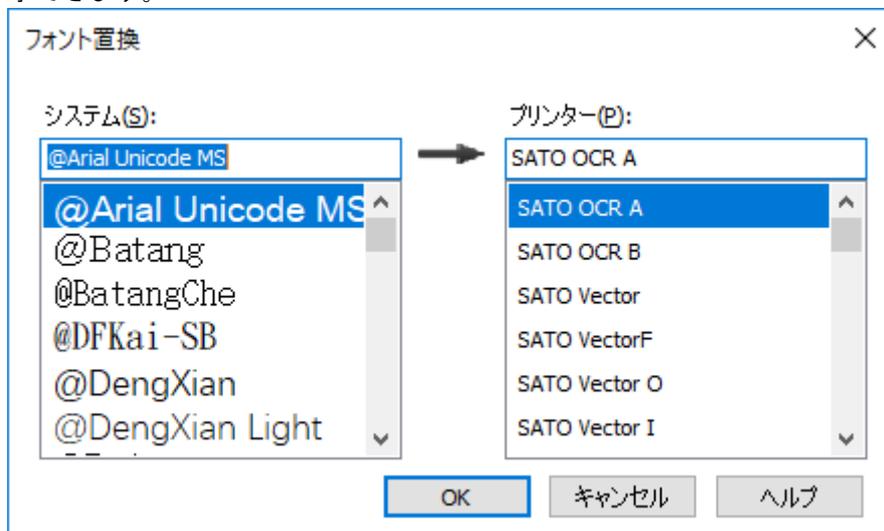


5. アプリケーションソフトを起動し、印刷に使用するプリンタにコマンドフォントを設定したプリンタを指定します。



置換フォントの設定項目

置換フォントを定義すると、Windowsのシステムフォントを本製品のデバイスフォントに置換して印字できます。



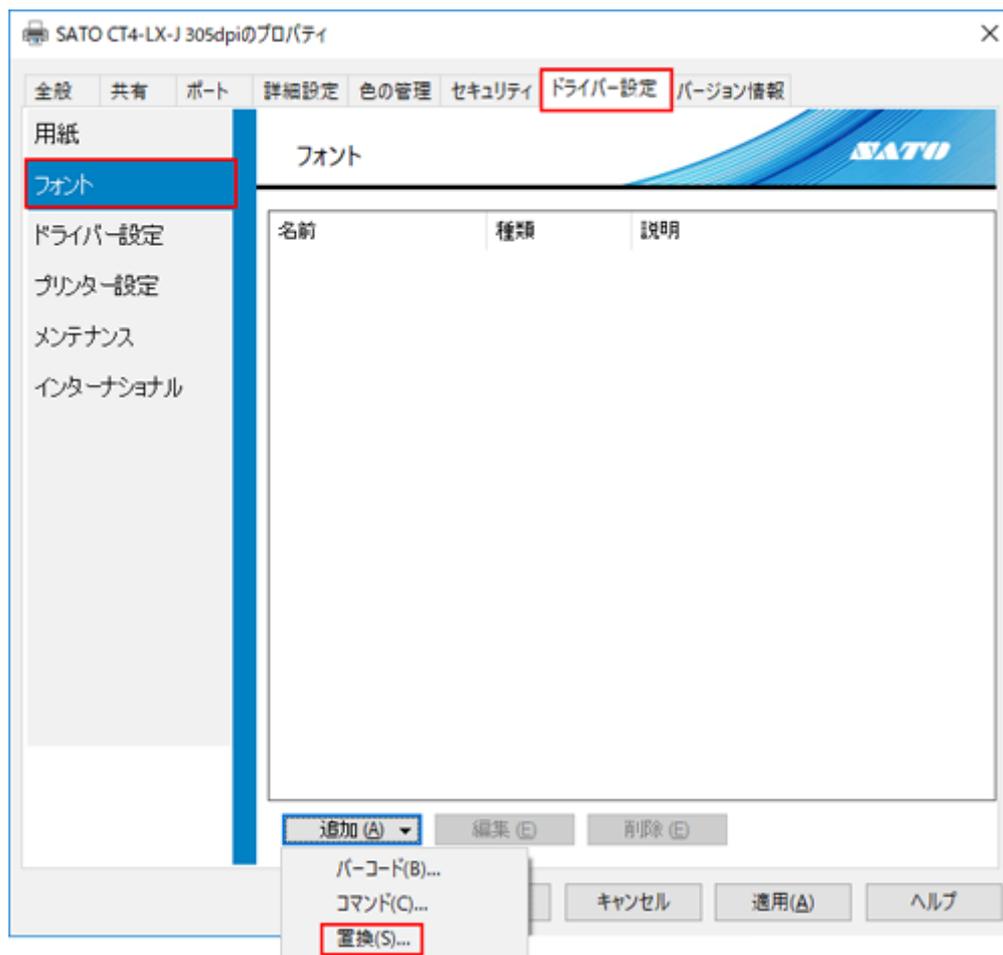
アプリケーションソフトのフォント一覧からデバイスフォントを選べない（表示されない）場合などにご使用ください。

追加したバーコードフォントやコマンドフォントに置換することもできます。

置換フォントの使用例

置換フォントの使用例を示します。

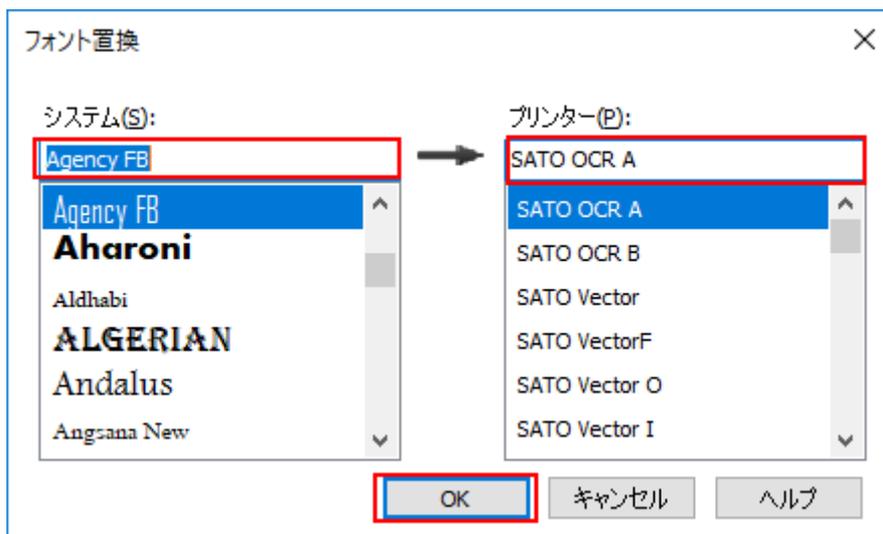
1. [デバイスとプリンター] を開き、本製品を右クリックして [プリンターのプロパティ] を選びます。
2. [ドライバー設定] タブで [フォント] を選んだあと、[追加] > [置換] を選びます。



3. 以下のように設定し、[OK] をクリックします。

[システム] 欄にはWindowsのシステムフォントが表示され、[プリンター] 欄には本製品のデバイスフォントが表示されます。

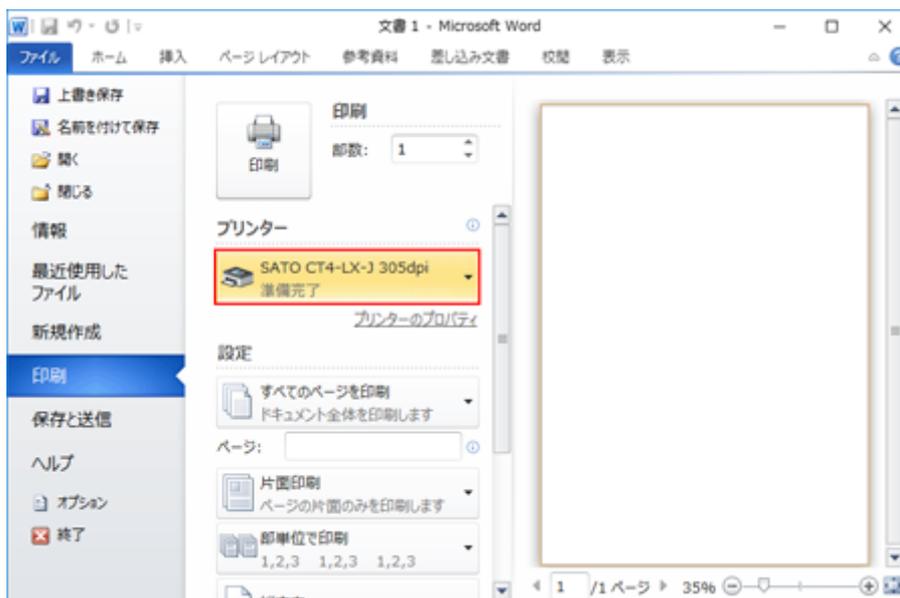
- [システム] : 「Agency FB」 を選ぶ
- [プリンター] : 「SATO OCR A」 を選ぶ



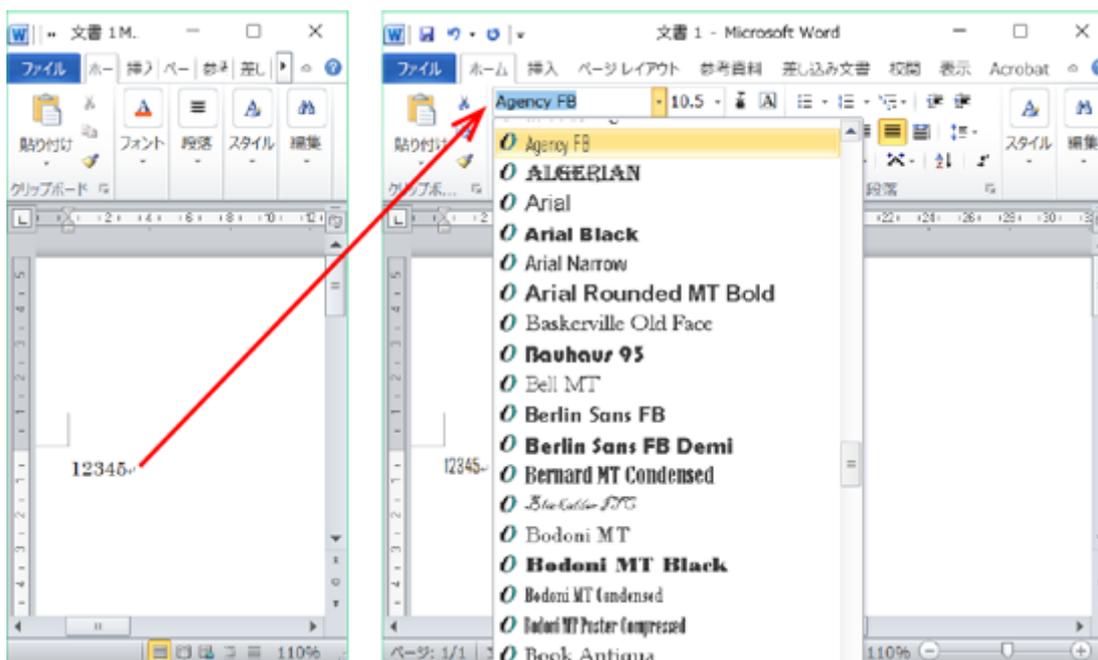
4. 置換フォントが登録されたことを確認し、[OK] をクリックします。



5. アプリケーションソフトを起動し、印刷に使用するプリンタを、置換フォントを設定したプリンタを指定します。

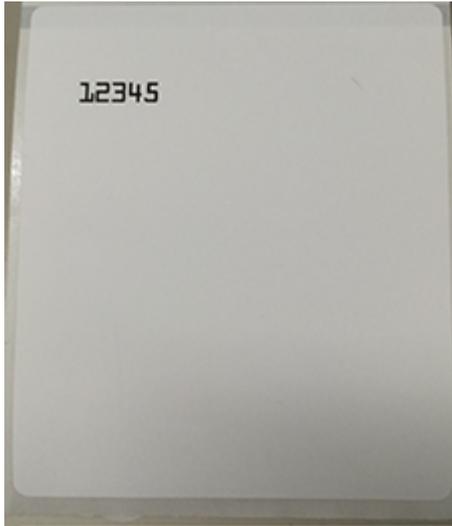


6. アプリケーションソフト上で文字列を入力し、文字列のフォントに置換フォントに設定したWindowsシステムフォント「Agency FB」に変更します。



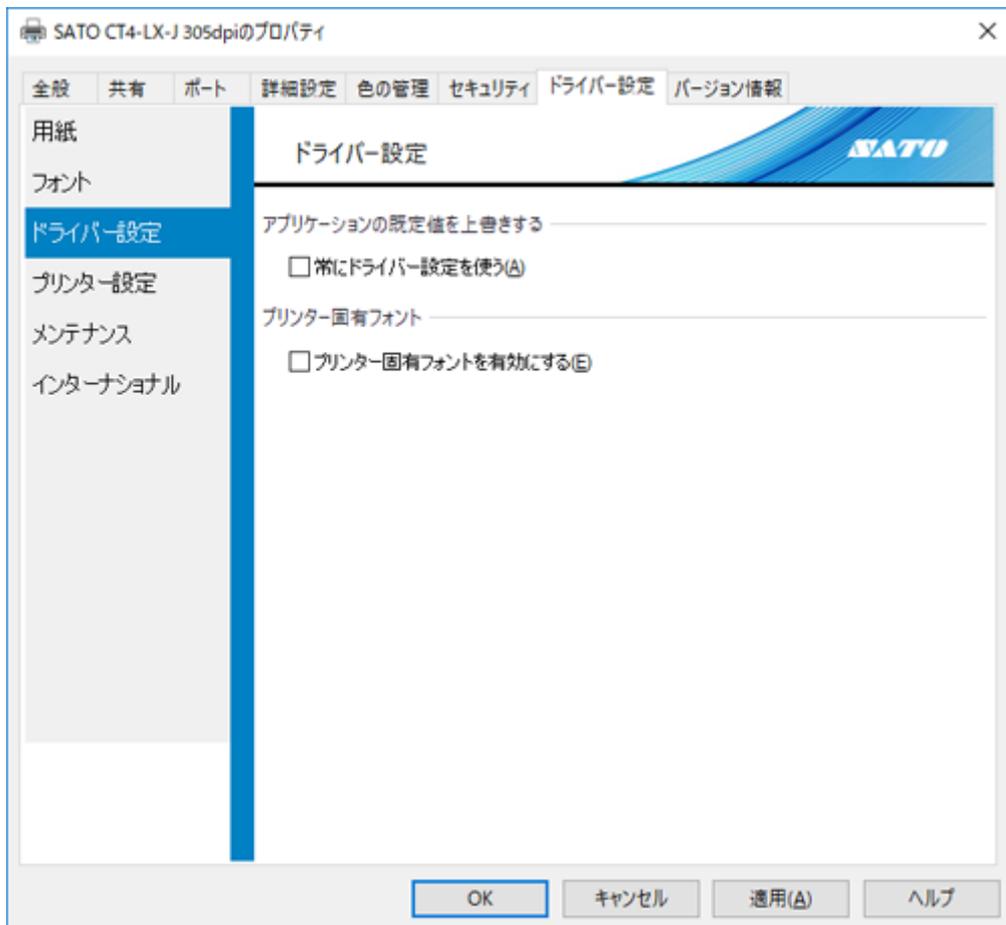
7. 印刷します。

「12345」のフォントが置換フォントのデバイスフォント側に指定した「SATO OCR A」に置換されて印刷されます。



- アプリケーションソフトの編集画面やプレビューでは置換先のデバイスフォントとして表示はされません。
-

[ドライバー設定]



[常にドライバー設定を使う]

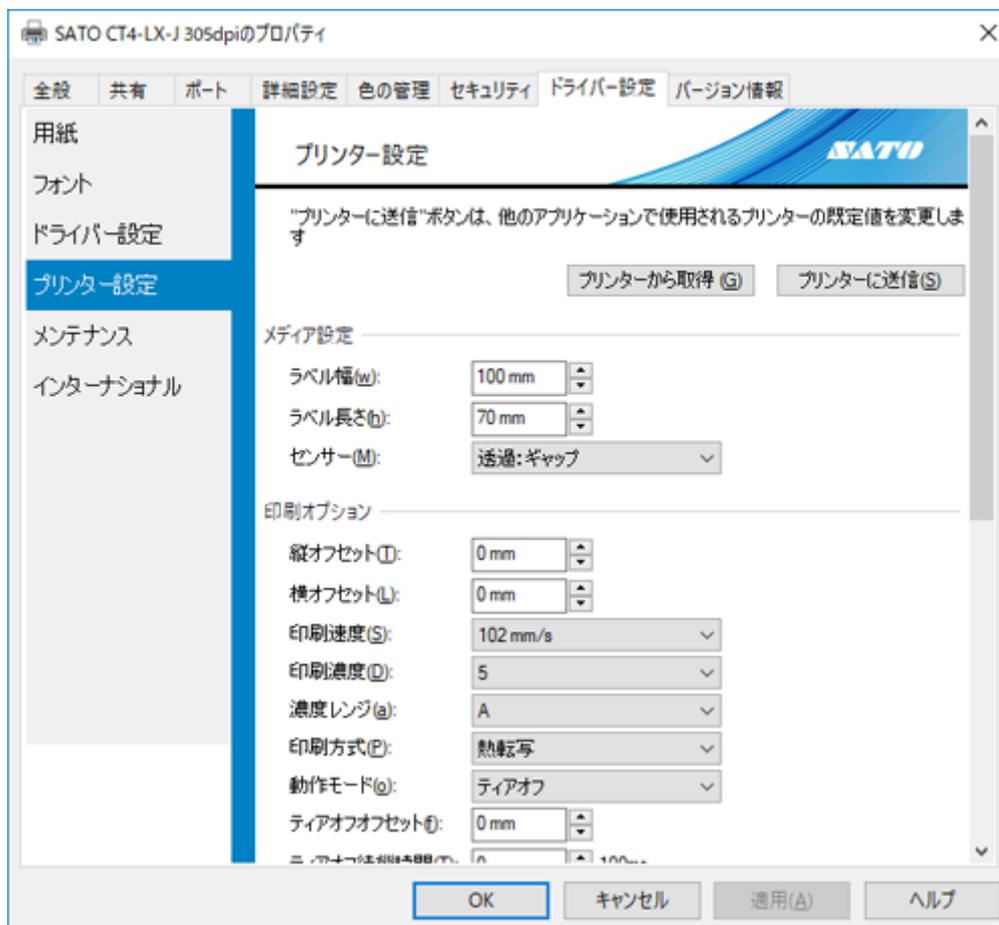
この設定を有効にすると、アプリケーションソフト側で指定したすべてのプリンタの設定を破棄し、常にプリンタドライバ側の設定を使用します。

[プリンター固有フォントを有効にする]

この設定を有効にすると、アプリケーションソフトから利用可能なデバイスフォントが「SATO アウトライン」のみになります。

[プリンター設定]

コンピュータに接続されている本製品の設定を取得したり変更したりできます。この機能を使用するには、プリンタドライバを使用してコンピュータから本製品に印刷できる状態であることが必要です。



[プリンターから取得]

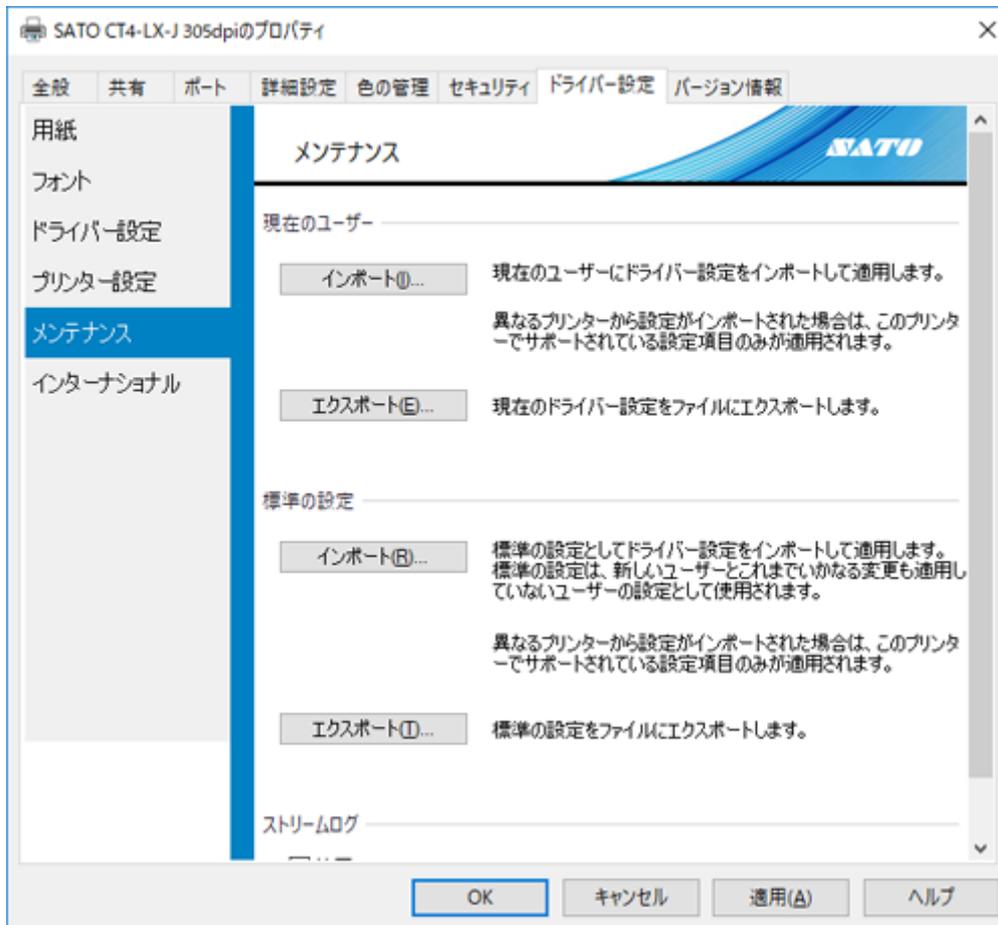
コンピュータに接続されている本製品の設定を取得できます。

[プリンターに送信]

この画面で設定した内容が本製品に送信されます。

[メンテナンス]

プリンタドライバの設定内容を、ファイルにエクスポートまたはファイルからインポートできます。



[現在のユーザー]

個別ユーザー用にプリンタドライバの設定内容をエクスポート／インポートします。

[インポート]

エクスポートされた設定ファイルを読み込みます。

- 管理者権限であるアカウントの場合は、読み込んだファイルの内容は [基本設定] と [ドライバー設定] タブに反映されます。
- 管理者権限でないアカウントの場合は、読み込んだファイルの内容は [基本設定] に反映されます。

[エクスポート]

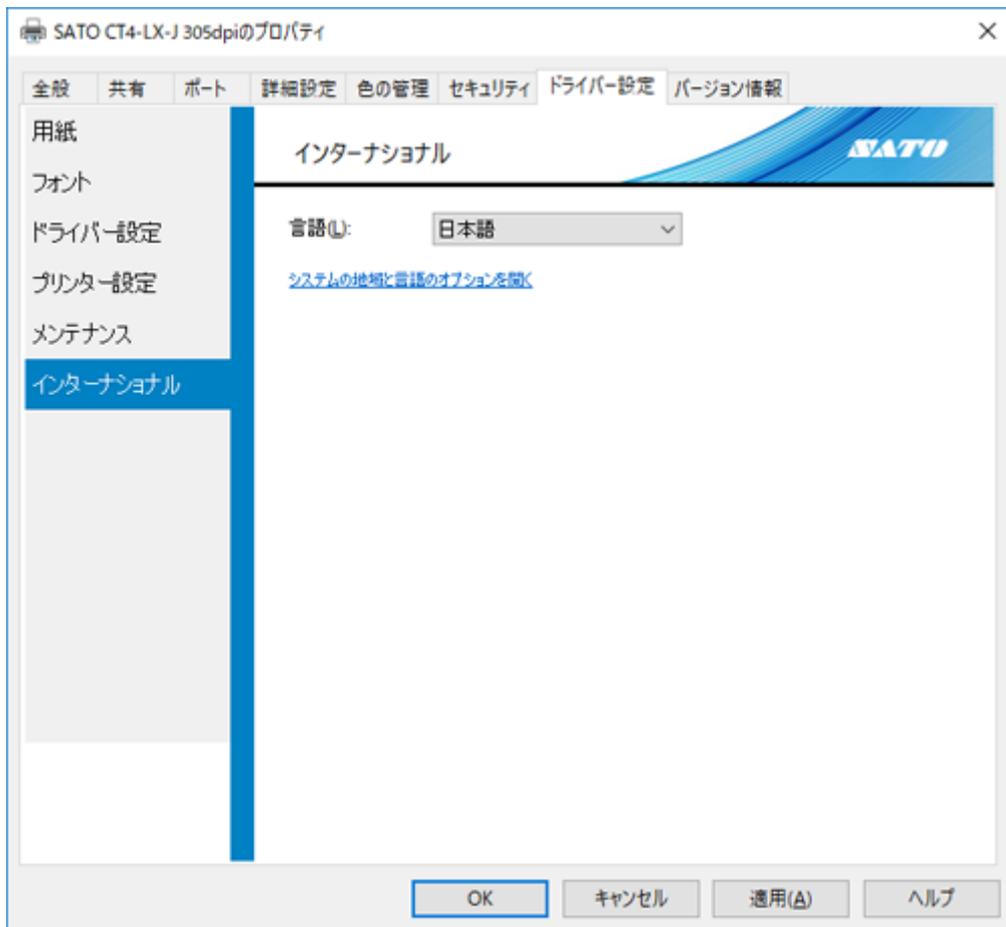
[基本設定] と [ドライバー設定] タブの設定内容がファイルに保存されます。

ファイルの拡張子は「drx」です。

[標準の設定]

全ユーザー用にプリンタドライバの設定内容をエクスポート／インポートします。

[インターナショナル]



[言語]

[標準の設定]、[基本設定]、[ドライバー設定] タブ、および [バージョン情報] タブの表示言語を指定します。

[プリンター設定] タブで設定する項目

プリンタドライバの設定は [標準の設定] と [基本設定] でおこなえます。設定できる項目はどちらも同じため、ここでは基本設定（印刷設定）を使用して内容を説明します。

各画面には [ヘルプ] が用意されています。クリックすると、各画面の説明が表示されます。

チェックボックスの動作

設定項目の右端に緑または青のチェックボックスがあるときは、それぞれ次のように動作します。

印刷設定

印刷速度(S):	152 mm/s	▼	<input checked="" type="checkbox"/>
印刷濃度(D):	5	▼	<input checked="" type="checkbox"/>
濃度レンジ(a):	N/A	▼	<input checked="" type="checkbox"/>
印刷方式 (m):	N/A	▼	<input checked="" type="checkbox"/>

緑色のチェックボックス

- チェックあり：「現在のプリンター設定値を使う」

設定項目の内容は「N/A」と表示されます。この設定項目の内容は本製品に送信されず、本製品の設定値が使用されます。この設定項目と組み合わせて使用する必要がある他の設定項目の内容も「N/A」となります。

- チェックなし：「設定をプリンターに送信する」

設定項目の内容は本製品に送信されます。

青色のチェックボックス

[ドライバー設定] タブの [用紙] で、用紙を登録すると保存される以下の項目の右端に表示されます。

メディア設定

[幅]

[高さ]

印刷設定

[印刷速度]

[印刷濃度]

[ページ設定] の [用紙] で、使用する用紙を選ぶと、上記の設定項目の内容が一括して変更されます。

詳細は、「[ページ設定](#)」をご覧ください。

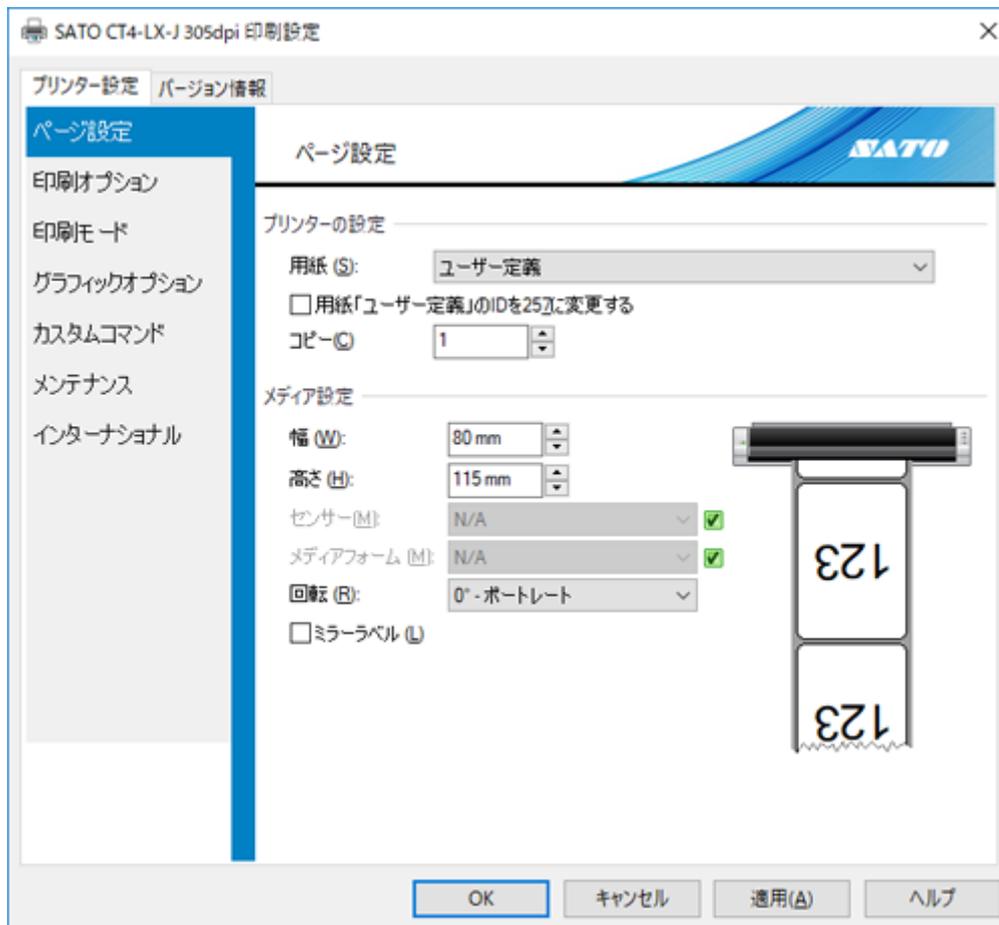
青色のチェックボックスは常にONでありOFFにはできません。ただし、本製品側の設定値を使用できる設定項目は、[現在のプリンター設定値を使う] を選ぶと、緑色のチェックボックスのチェックされた状態に変更されます。

印刷設定

印刷速度(S):	152 mm/s	▼	<input checked="" type="checkbox"/>
印刷濃度(D):	5	▼	<input checked="" type="checkbox"/>
濃度レンジ(a):	N/A	▼	<input checked="" type="checkbox"/>
印刷方式 (m):	N/A	▼	<input checked="" type="checkbox"/>

設定をプリンターに送信する
現在のプリンター設定値を使う

[ページ設定]



[用紙]

登録されている用紙から既定の用紙を選びます。[ユーザー定義] を選ぶと、この画面で [幅] [高さ] および [センサー] を設定できます。

[用紙「ユーザー定義」のIDを257に変更する]

ユーザー定義用紙のIDに256以上を要求する 弊社旧ドライバとの互換性を維持します。

[コピー]

ラベルの発行枚数を指定します。

[幅]

選んだ用紙に設定されている幅が表示されます。[用紙] で [ユーザー定義] を選ぶと、この画面で設定を変更できます。

[高さ]

選んだ用紙に設定されている高さが表示されます。[用紙] で [ユーザー定義] を選ぶと、この画面で設定を変更できます。

[センサー]

選んだ用紙に設定されているセンサ種が表示されます。[用紙] で [ユーザー定義] を選ぶと、この画面で設定を変更できます。[無効] [透過：ギャップ] [反射：アイマーク] から選びます。

[メディアフォーム]

用紙の種類を [ロール] または [ファンフォールド] から選びます。

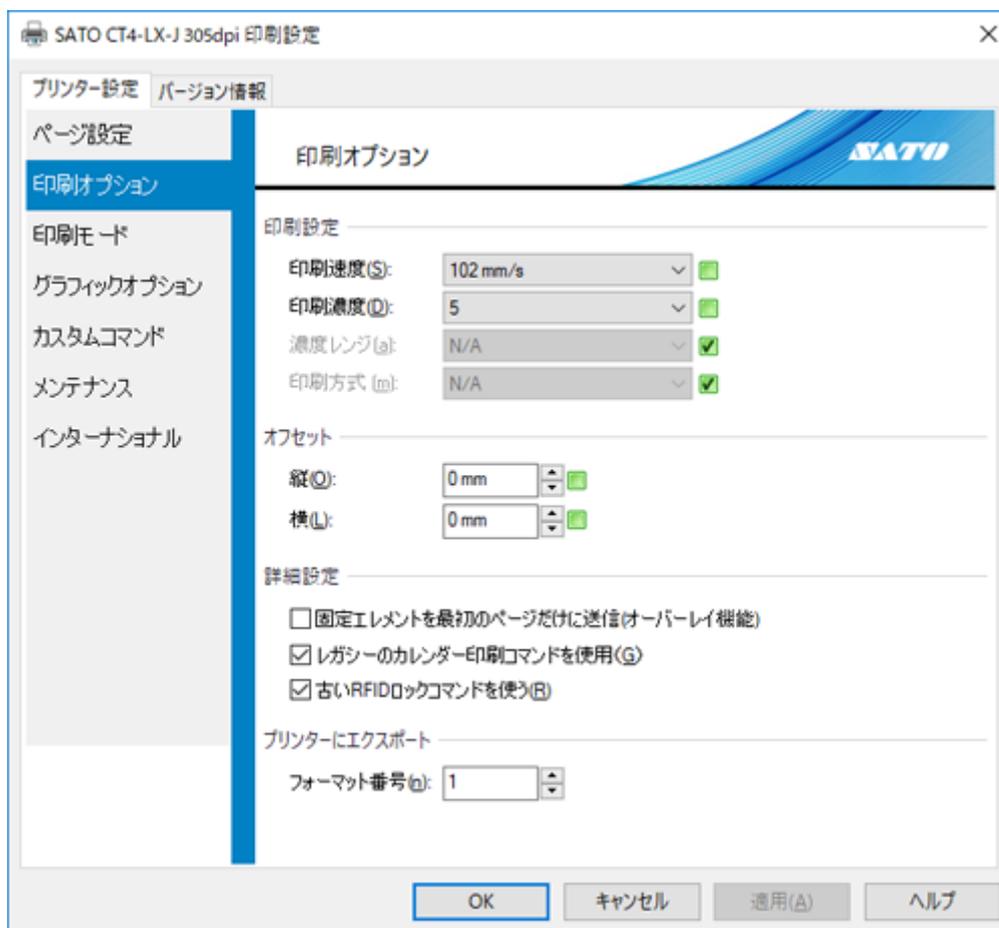
【回転】

印刷の回転角度を [0° -ポートレート] [90° -ランドスケープ] [180° -ポートレート]
[270° -ランドスケープ] から指定できます。

【ミラーラベル】

印刷を鏡反転指定できます。

[印刷オプション]



[印刷速度]

[ページ設定] で選んだ用紙に設定されている印刷速度が表示されます。[ページ設定] の [用紙] で [ユーザー定義] を選ぶと、この画面で設定を変更できます。

[印刷濃度]

[ページ設定] で選んだ用紙に設定されている印刷濃度が表示されます。[ページ設定] の [用紙] で [ユーザー定義] を選ぶと、この画面で設定を変更できます。

[1] ~ [10] の10段階から選びます。数字が大きいほど濃くなります。

[濃度レンジ]

[ページ設定] で選んだ用紙に設定されている濃度レンジが表示されます。詳細は、「CT4-LX 取扱説明書」をご覧ください。

[印刷方式]

[ページ設定] で選んだ用紙に設定されている印刷方式が表示されます。[熱転写] または [感熱] から選びます。

[縦]

印字の基点位置を縦方向（用紙の高さ方向）に調整できます。

[横]

印字の基点位置を横方向（用紙の幅方向）に調整できます。

[固定エレメントを最初のページだけに送信(オーバーレイ機能)]

すべての固定エレメントは印刷ジョブの最初のページのみに送られます。次ページ以降は可変エレメントのみが送信されます。固定エレメントはプリンタメモリから呼び出されます。

[レガシーのカレンダー印刷コマンドを使用]

アプリケーションソフトの「Nice Label」と連携動作させた場合に機能します。チェックを入れると、カレンダー印刷コマンドとして [ESC+WA] が使用され、チェックを外すと [ESC+WU] が使用されます。

[古いRFIDロックコマンドを使う]

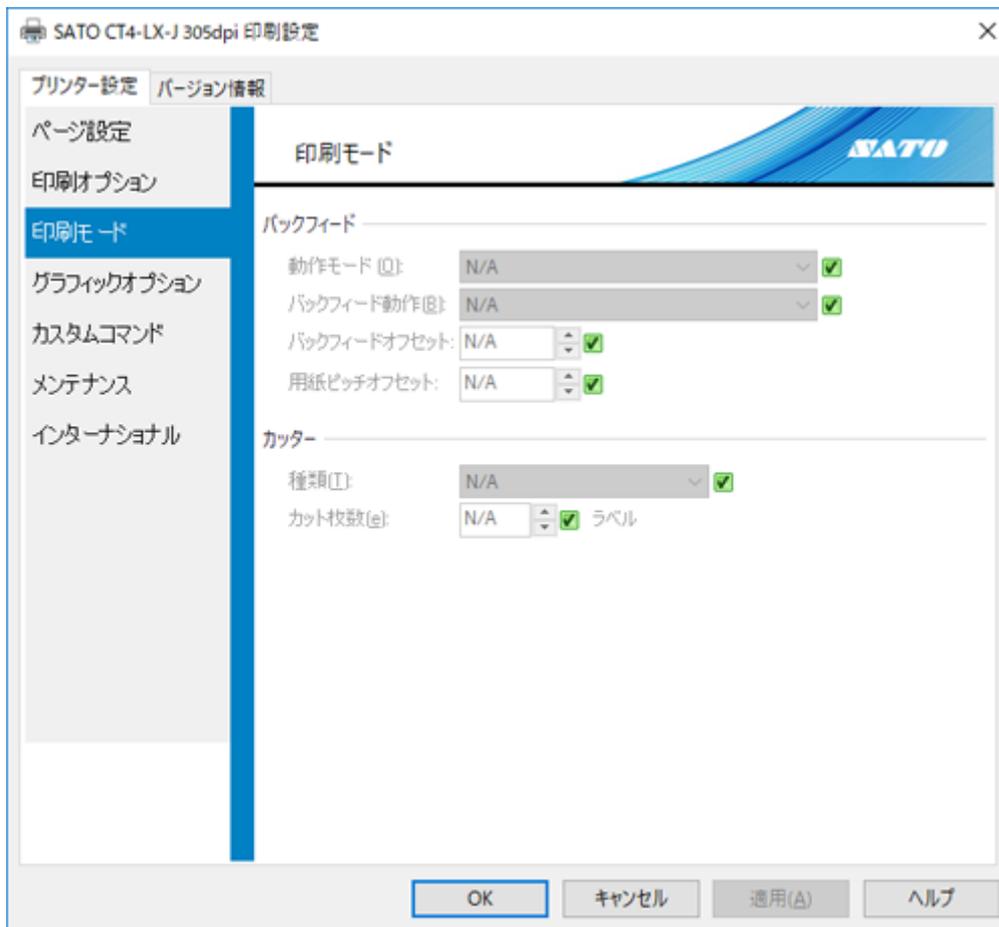
RFIDロックコマンドの形式を選択します。チェックを入れると、古い“lck”形式のRFIDロックコマンドが使用され、チェックを外すと、“lc”形式のRFIDロックコマンドが使用されます。

[フォーマット番号]

本設定はXML-Enabled機能利用時に使用します。

詳細は、「XML-Enabledリファレンス」をご覧ください。

[印刷モード]



[動作モード]

動作モードを指定します。本製品の機種や装備されているオプションにより、使用できる項目は変わります。

[バックフィード動作]

〔動作モード〕の設定内容に対するバックフィード動作を指定します。〔動作モード〕が〔カッター〕のときに設定できます。〔印刷の前〕〔印刷の後〕〔バックフィード無し〕から選びます。

[バックフィードオフセット]

バックフィード動作時の用紙停止位置を微調整できます。

[用紙ピッチオフセット]

フォワードフィード動作時の用紙停止位置を微調整できます。

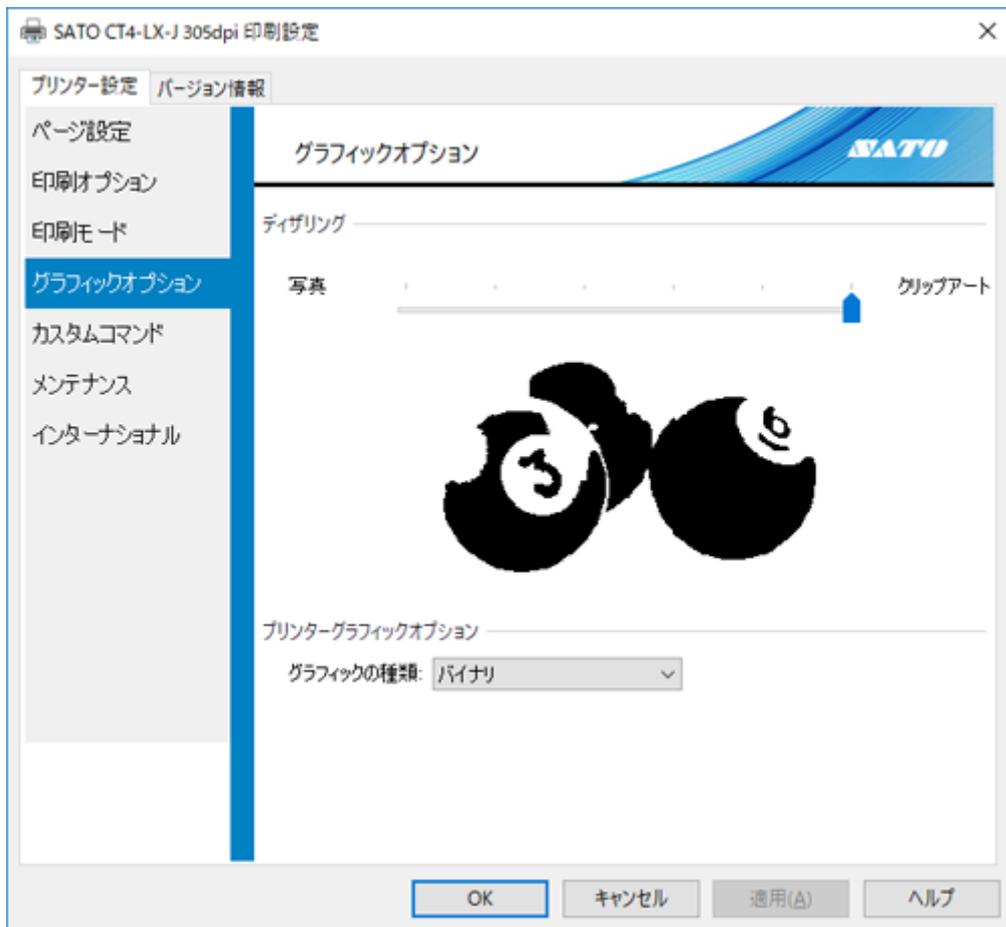
[種類]

〔動作モード〕が〔カッター〕のとき、カッターの動作方法を指定します。〔オフ〕〔バッチ〕〔指定枚数〕から選びます。〔バッチ〕を選ぶと、印刷ジョブの最後でカットされます。

[カット枚数]

〔種類〕が〔指定枚数〕のときに、何枚ごとにカットするかを指定します。

[グラフィックオプション]



[デザイン]

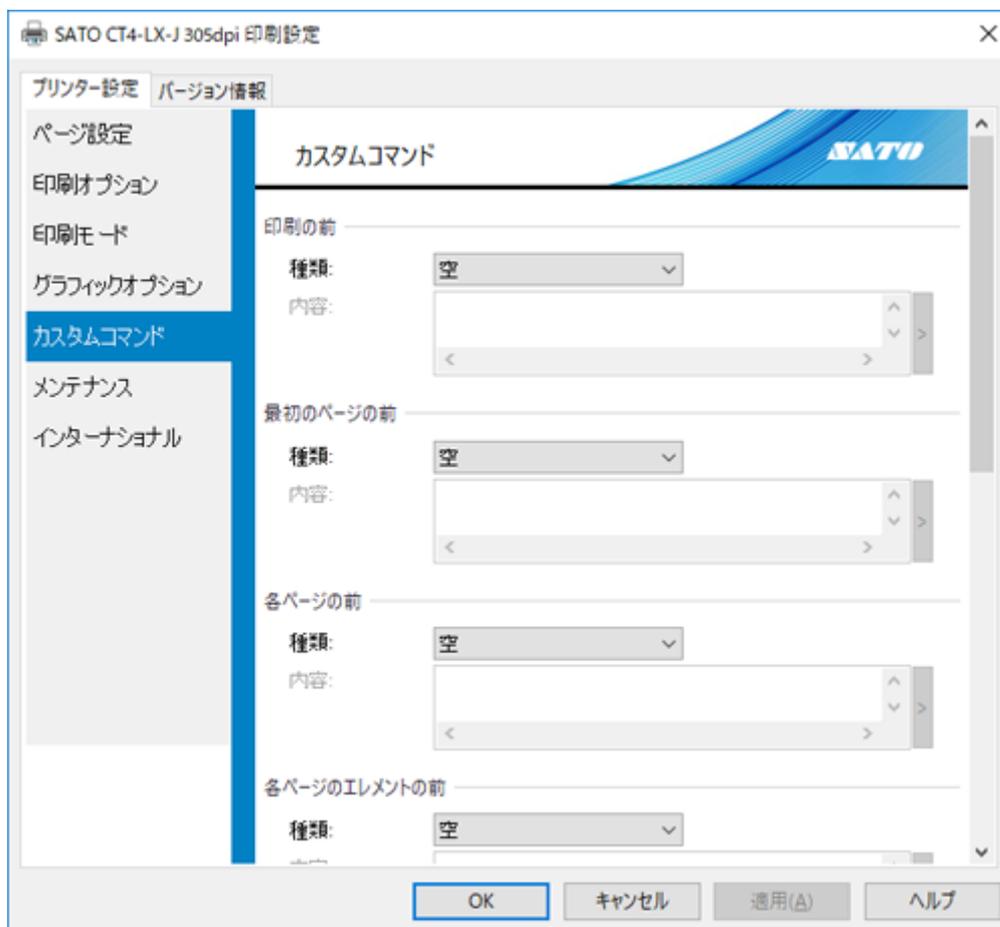
デザインとは、現画像における階調画像（カラー画像、グレースケール画像）を、白か黒の2色しか表現できないサーマルプリンタにおいて、特定のアルゴリズムに従って印字のドットパターンを変化させることで、人が見た場合にはあたかも階調表現されているかのように表現する手法です。本設定項目では、デザインのアルゴリズムを選びます。プレビューイメージでは、アルゴリズムの適用結果を見ることができます。なお設定内容に応じて、送信データサイズも変化します。運用上スループットを考慮する場合は、各設定内容に対するデータサイズの変化もご確認ください。

[プリンターグラフィックオプション]

本製品にグラフィックデータを送信するときのデータ形式を指定します。通常は [バイナリ] を指定してください。

[カスタムコマンド]

カスタムコマンドを使うと、印刷したい場所や内容を直接制御できます。プリンタドライバでは直接サポートしていない機能を使用できます。カスタムコマンドを使用するには、SBPL（SATO Barcode Printer Language）に関する理解が必要です。SBPLの詳細は、「CT4-LXプログラミングリファレンス」をご覧ください。



カスタムコマンドの挿入位置

【印刷の前】

1ファイルのデータに対してファイルの冒頭に出力

【最初のページの前】

1ファイルのデータに対して最初のページの冒頭に出力

【各ページの前】

1ファイルのデータに対してページの最初に出力

【各ページの要素の前】

1ファイルのデータに対して要素の最初に出力

【各ページの要素の後】

1ファイルのデータに対して要素の後ろに出力

【各ページの後】

1ファイルのデータに対して各ページの後ろに出力

[最後のページの後]

1ファイルのデータに対して最後のページの後ろに出力

[印刷の後]

ファイルのデータに対して印刷最後に出力

種類

[空]

カスタムコマンドを使用しません。

[ファイル]

指定したファイルからカスタムコマンドを読み込みます。

[文字]

[内容] 欄にカスタムコマンドを直接記述します。

[文字分析]

[内容] 欄にカスタムコマンドを直接記述します。制御文字を代替表記で記述できます。

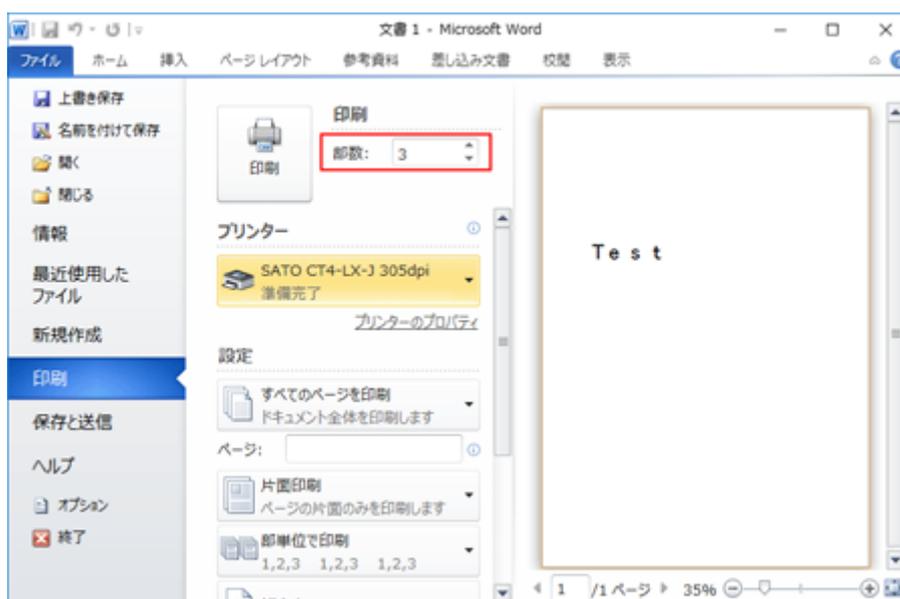
[ファイル分析]

指定したファイルからカスタムコマンドを読み込みます。ファイル中には制御文字を代替表記で記述できます。

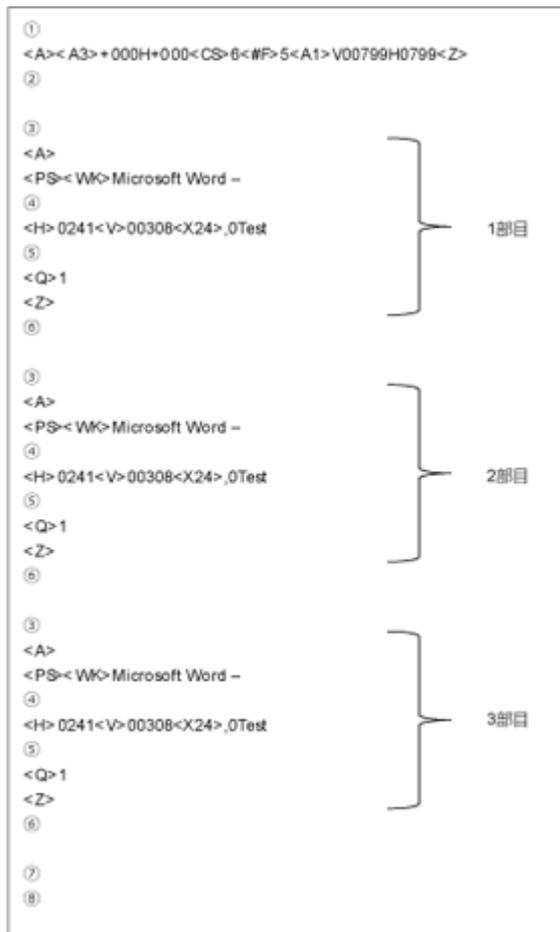
アプリケーションソフトを使ったカスタムコマンドの出力例

アプリケーションソフトで作成した印字レイアウトを印字する際に（SBPLコマンドとして出力する際に）、プリンタドライバでのカスタムコマンド挿入位置の設定に応じた各位置にカスタムコマンドが挿入されます。

アプリケーションソフトで以下に示す印字レイアウトと印刷設定を使用した場合における、カスタムコマンドの挿入位置のイメージを示します。



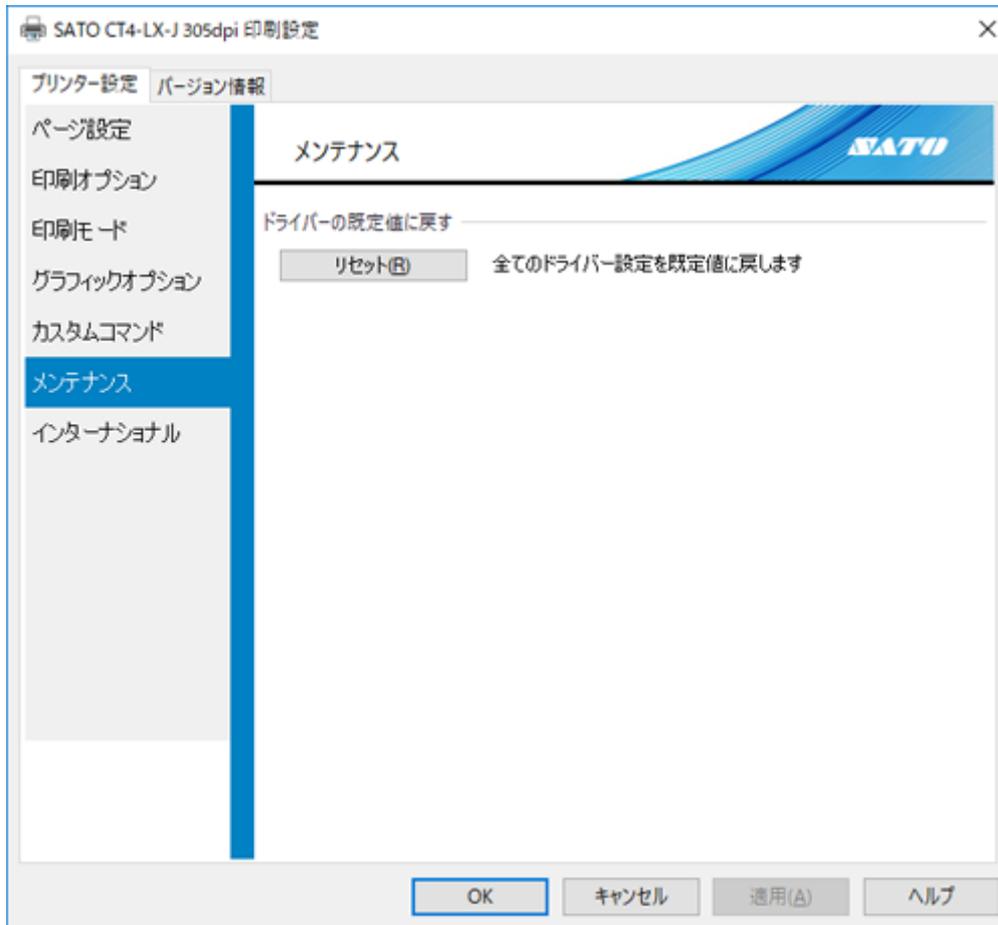
- 印字レイアウト中の「Test」は、デバイスフォントの「SATO X24」に設定しています（SBPLコマンドは<X24>）。
- 印刷部数は3部に設定しています。



図の①～⑧は、次のカスタムコマンド挿入位置に対応します。

- ①印刷の前
- ②最初のページの前
- ③各ページの前
- ④各ページの元素の前
- ⑤各ページの元素の後
- ⑥各ページの後
- ⑦最後のページの後
- ⑧印刷の後

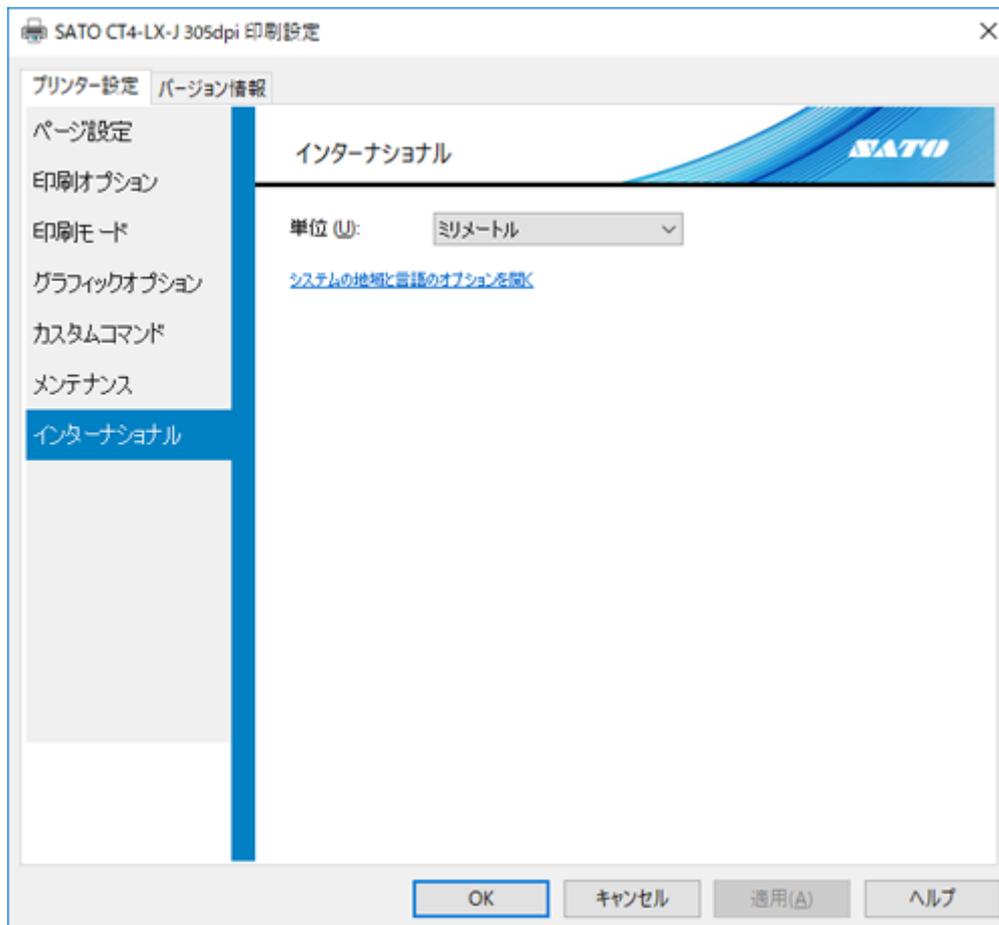
[メンテナンス]



[リセット]

プリンタドライバの設定を規定値に戻します。

[インターナショナル]



[単位]

プリンタドライバの各種設定項目で使用する単位を選びます。

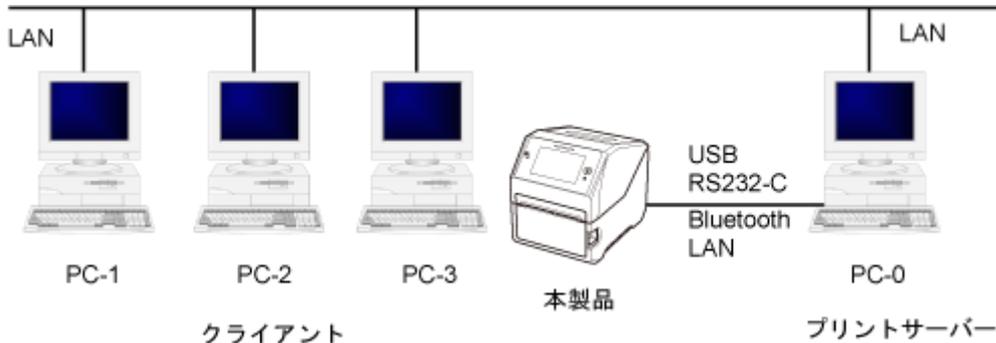
プリンタを共有する

ネットワーク上のコンピュータに直接接続した本製品をほかのコンピュータと共有できます。

プリンタドライバを共有設定する流れと確認事項

接続方法

プリンタドライバを共有設定で使用する場合の接続方法は下図のとおりです。



1台のコンピュータ（PC-0）をプリントサーバーにし、ほかのコンピュータ（PC-1、PC-2、PC-3、…）はクライアントとします。また、すべてのコンピュータはLAN接続されており、プリントサーバーと本製品はUSB、RS-232C、BluetoothまたはLANで接続します。

共有設定する流れ

プリンタドライバを共有設定で使用する場合、以下の順に設定します。

1. プリンタドライバをインストールする
プリントサーバーとクライアントのコンピュータにプリンタドライバをインストールします。
詳細は、「[プリントサーバーにプリンタドライバをインストールする](#)」、「[クライアントのコンピュータにプリンタドライバをインストールする](#)」をご覧ください。
2. プrintサーバーのプリンタドライバから正常にラベルが発行できることを確認する
3. プrintサーバーのプリンタドライバを「共有」に設定する
詳細は、「[プリントサーバーのプリンタを共有設定する](#)」をご覧ください。
4. クライアントのプリンタドライバの出力先ポートとして「共有」に設定した本製品を指定し、クライアントのプリンタドライバの双方向通信をOFFにします。
詳細は、「[クライアントのプリンタを共有設定する](#)」をご覧ください。

制限事項

プリンタドライバを共有設定で使用する場合、クライアントでは双方向通信を無効にしているため、以下の制限事項が生じます。

- 本製品で発生した「ペーパーエンド」などの各種エラーを認識できません。
- プリンタドライバの [ドライバーのプロパティ] > [ドライバー設定] タブ > [プリンター設定] の [プリンターから取得] と [プリンターに送信] は使用できません。
- プリンタドライバの [基本設定] > [プリンター設定] タブで変更した設定を本製品に送信できません（緑色のチェックボックスにチェックなしのとき）。

プリントサーバーにプリンタドライバをインストールする

あらかじめプリンタドライバをSATOダウンロードサイトからダウンロードしておきます。詳細は[プリンタドライバを準備する](#)をご覧ください。

1. 次のいずれかの方法で本製品とプリントサーバーを接続し、プリンタドライバをインストールします。

- USB接続の場合

以下をご覧ください。

- [USBケーブルで接続する](#)
- [USB接続の場合のインストール方法](#)

- LAN接続の場合

以下をご覧ください。

- [LANケーブルで接続する](#)
- [LANまたは無線LAN接続の場合のインストール方法](#)

- Bluetooth接続の場合

以下をご覧ください。

- [無線LANまたはBluetoothで接続する（オプションの無線LAN/Bluetoothキット装着時）](#)

- RS-232C接続の場合

以下をご覧ください。

- [RS-232Cケーブルで接続する（オプションのRS-232Cキット装着時）](#)
- [RS-232C接続の場合のインストール方法](#)

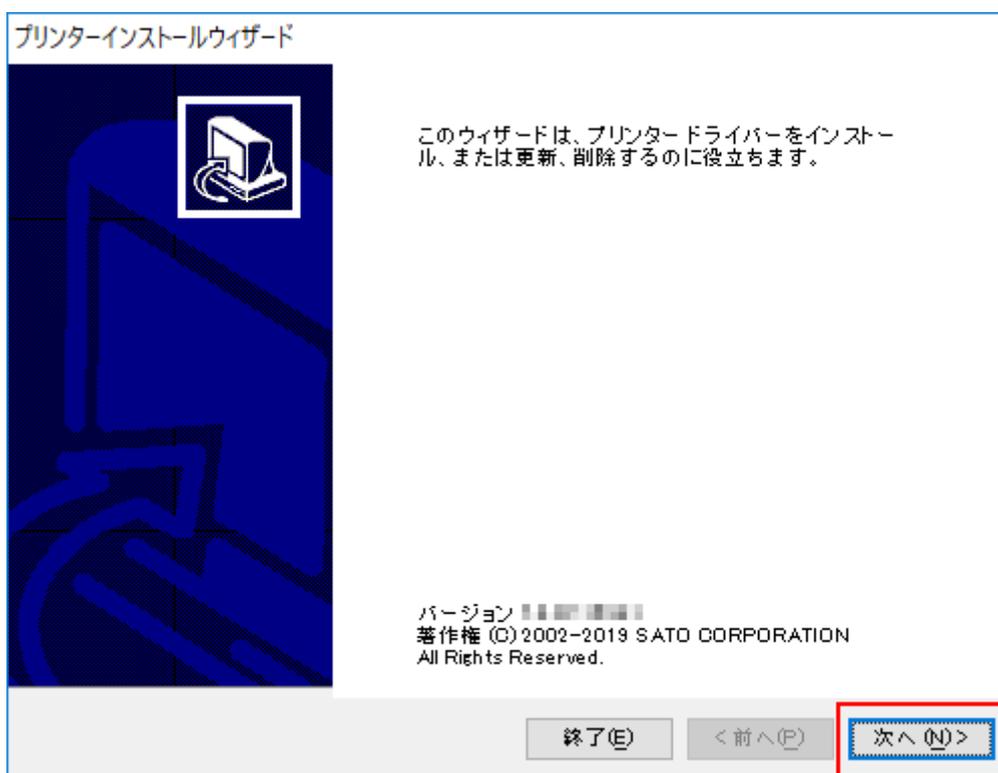
クライアントのコンピュータにプリンタドライバをインストールする

あらかじめプリンタドライバをSATOダウンロードサイトからダウンロードしておきます。詳細は「[プリンタドライバを準備する](#)」をご覧ください。

1. PrnInst.exeをダブルクリックします。

プリンターインストールウィザードが起動されます。

2. [次へ] をクリックします。



3. [プリンタードライバーのインストール] をクリックします。

プリンターインストールウィザード

インストール オプション
ドライバーのインストールまたは削除のオプションを選択してください。



- **プリンタードライバーのインストール (I)**
プリンタードライバーをインストールします。
- **プリンタードライバーを更新 (D)**
適切なプリンタードライバーがインストールされていません。
- **プリンタードライバーをアンインストール (U)**
インストールされているプリンタが見つかりませんでした。
- **あらかじめ読み込まれたドライバーをシステムから削除 (R)**
以前にあらかじめ読み込まれていたドライバーが見つかりませんでした。

終了(E) < 前へ(P) 次へ(N)>

4. [ローカルポート] をクリックします。

プリンターインストールウィザード

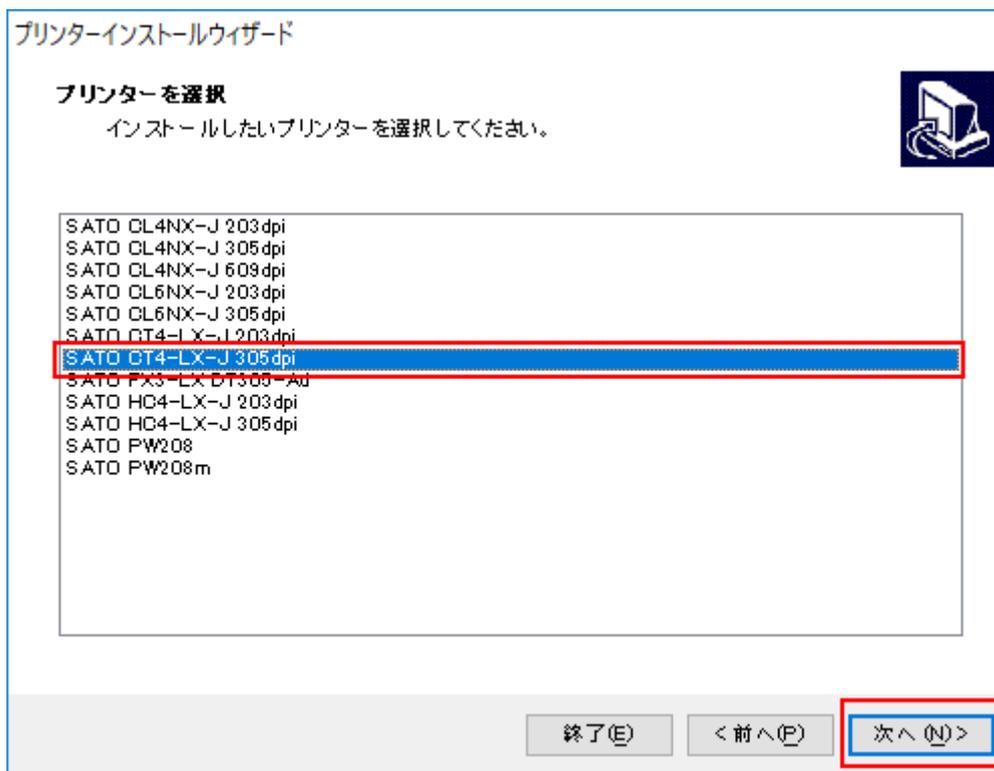
ポートを選択
プリンターが接続されるポートを選択します。



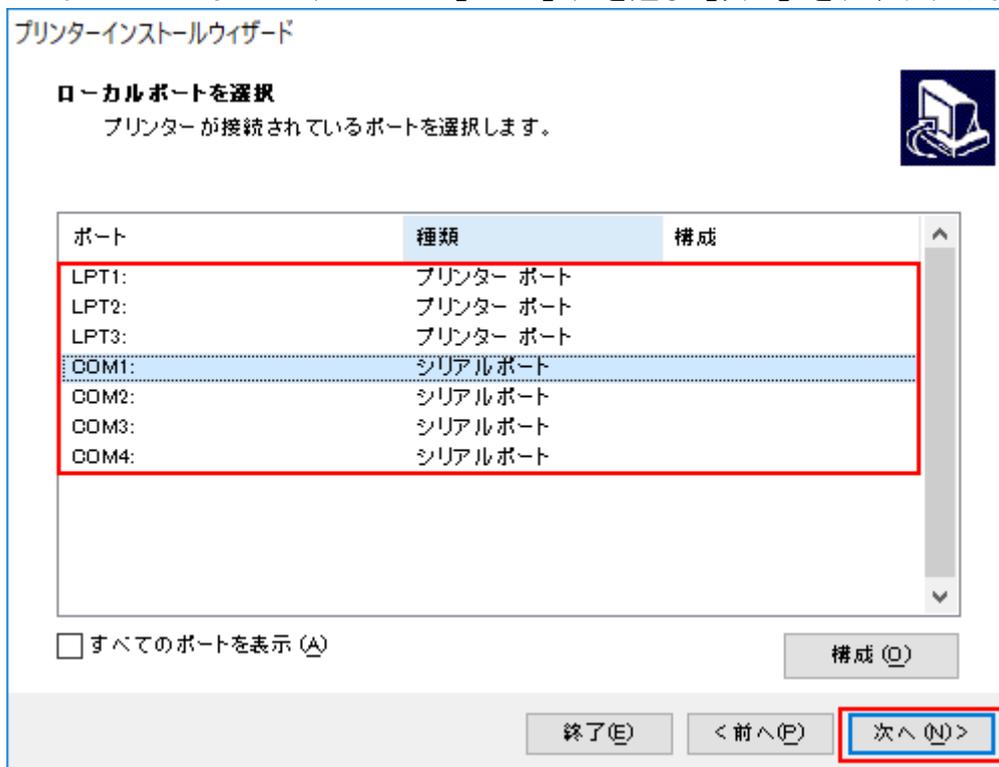
- **ローカルポート (L)**
シリアル (COM) またはパラレル (LPT) ポートにインストール。
- **ネットワークポート (I)**
イーサネット (LAN) またはワイヤレス (WiFi) のインストール。
- **USBポート (U)**
USB プラグアンドプレイ デバイスのインストール。
- **その他(O)**
別のポート、またはいずれかのポートに手動でインストール。

終了(E) < 前へ(P) 次へ(N)>

5. インストールするプリンタを選び、[次へ] をクリックします。



6. LPTまたはCOMポート（ここでは [COM1] ）を選び [次へ] をクリックします。



7. [インストール] をクリックします。

プリンターインストールウィザード

プリンター オプション
インストールする前にプリンターのオプションを選択してください。

プリンター名(n): SATO CT4-LX-J 305dpi

ドライバー バージョン: 1.0.0.0

ポート名: COM1:

このプリンターを通常使うプリンターに設定します(d)

終了(E) < 前へ(P) **インストール(I)**

[Windowsセキュリティ] が表示された場合は [インストール] をクリックしてください。

Windows セキュリティ

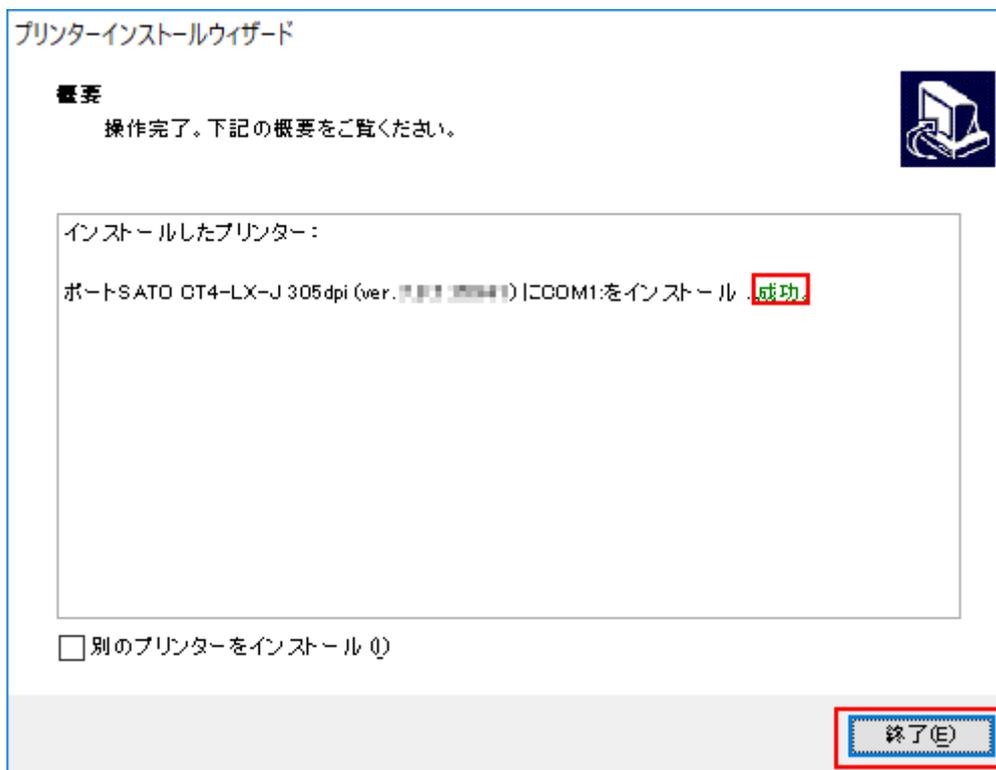
このデバイス ソフトウェアをインストールしますか?

名前: SATO printer driver
発行元: SATO CORPORATION

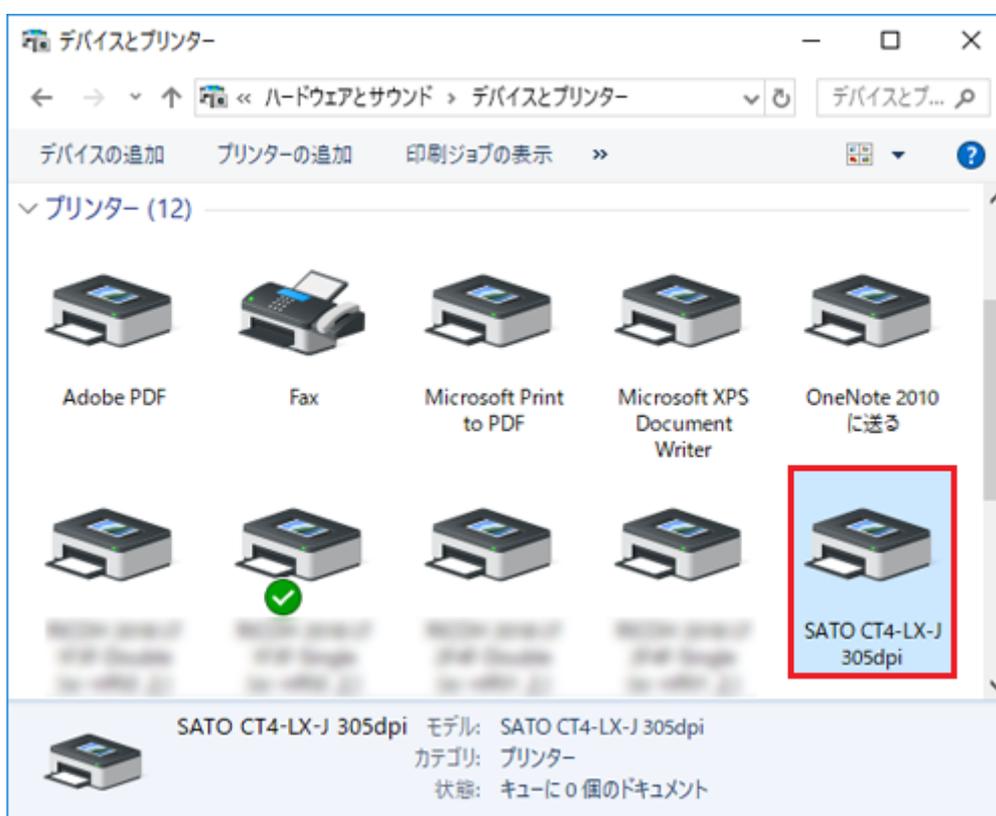
"SATO CORPORATION" からのソフトウェアを常に信頼する(A) **インストール(I)** インストールしない(N)

! 信頼する発行元からのドライバー ソフトウェアのみをインストールしてください。 [安全にインストールできるデバイスソフトウェアを判断する方法](#)

8. 処理結果に [成功] と表示されていることを確認し、[終了] をクリックしてください。



9. [デバイスとプリンター] を開き、プリンタが追加されていることを確認します。



クライアントのコンピュータすべてに上記手順でプリンタドライバをインストールしてください。

プリントサーバーのプリンタを共有設定する

プリントサーバーにインストールしたプリンタを、他のコンピュータと共有できるように設定します。

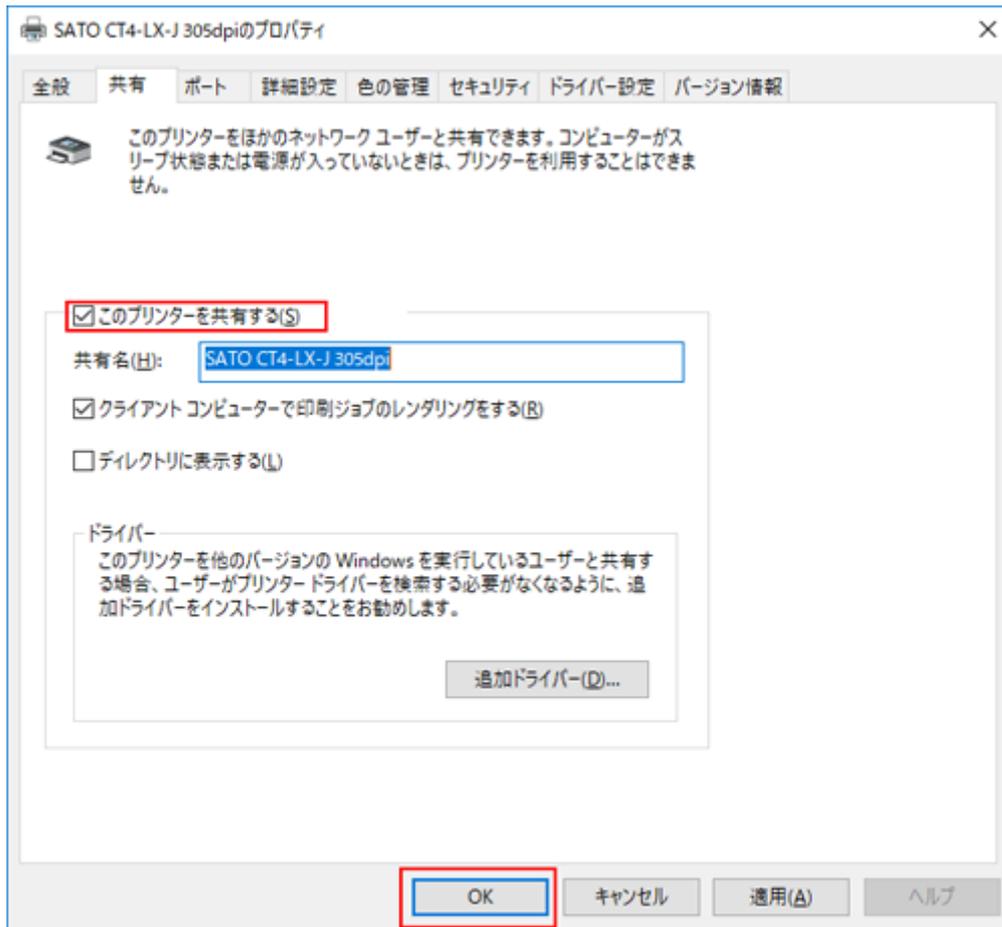
1. [デバイスとプリンター] を開き、インストールしたプリンタを右クリックして [プリンターのプロパティ] を選びます。



2. [共有] タブを選びます。



3. [このプリンターを共有する] を有効にして [OK] をクリックします。
必要に応じて [共有名] を変更してください。



4. 「デバイスとプリンター」を開き、プリンタが共有設定されたことを確認します。



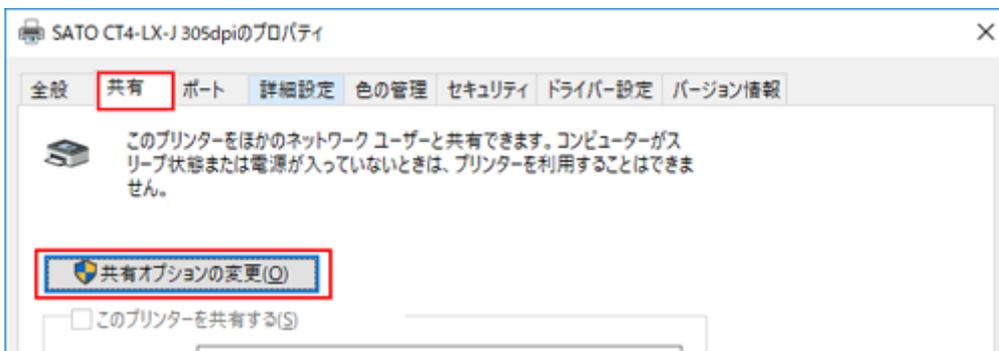
クライアントのプリンタを共有設定する

クライアントにインストールしたプリンタを共有設定します。

1. 「デバイスとプリンター」を開き、インストールしたプリンタを右クリックして「プリンターのプロパティ」を選びます。

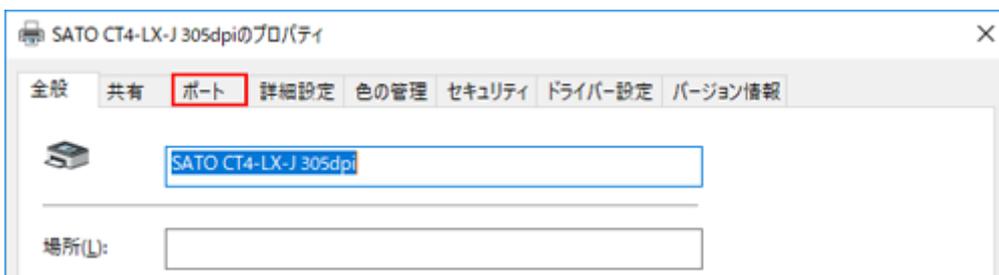


2. 管理者権限のアカウントでないときは「共有」タブをクリックし、「共有オプションの変更」をクリックします。

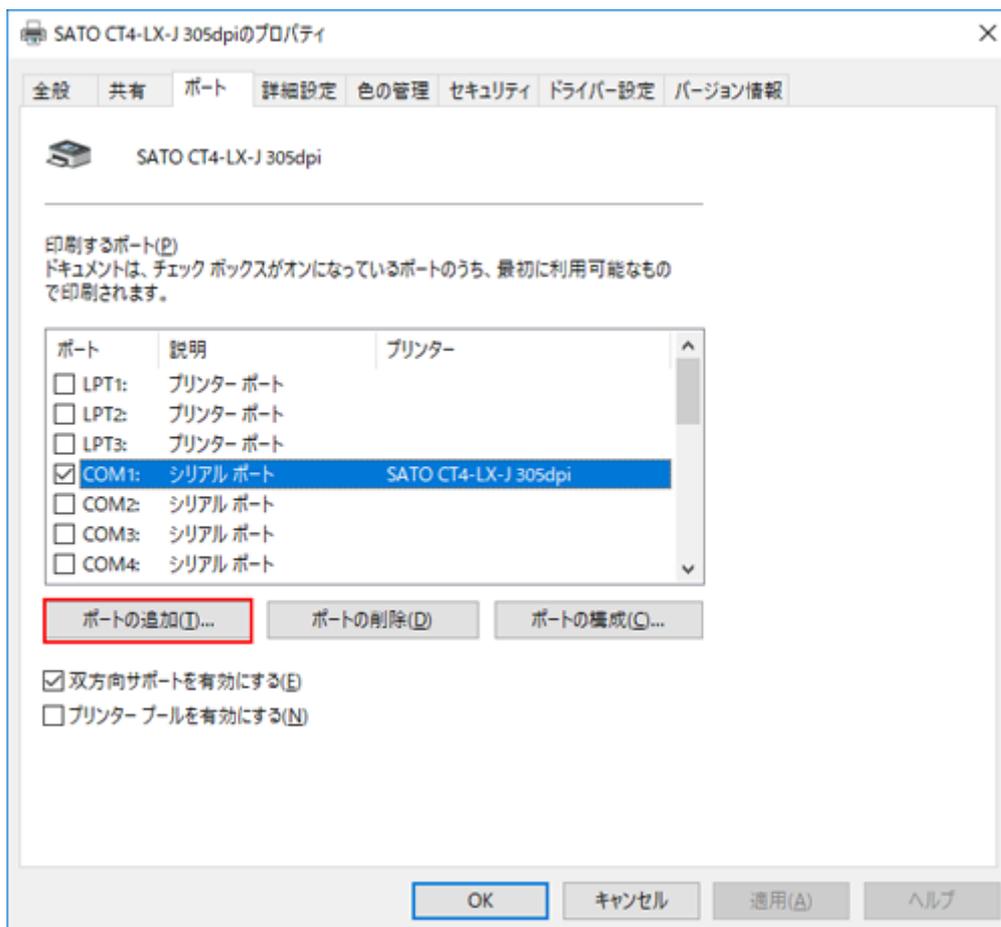


画面の指示に従って操作してください。

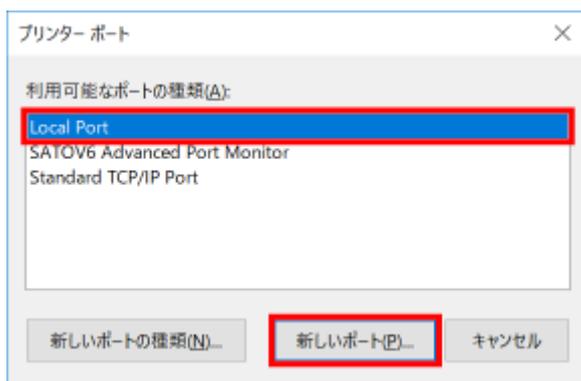
3. 「ポート」タブをクリックします。



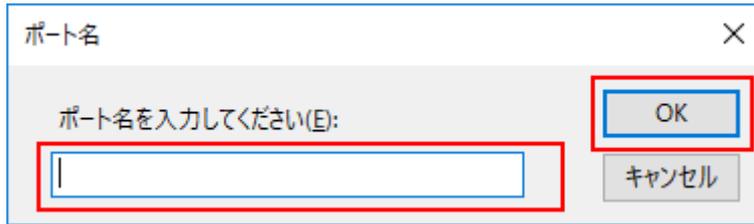
4. [ポートの追加] をクリックします。



5. [Local Port] を選び [新しいポート] をクリックします。



6. ポート名に「¥¥<プリントサーバーのコンピュータ名>¥¥<プリンタの共有名>」を入力し [OK] をクリックします。



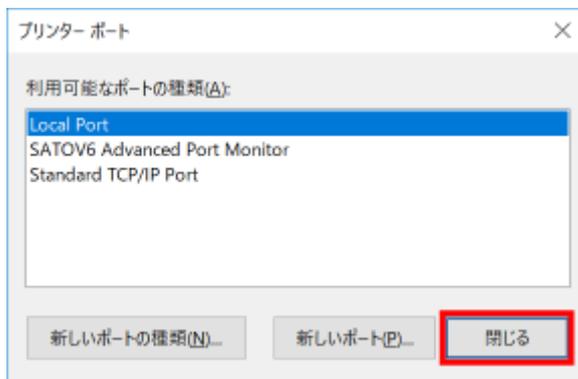
例えば、プリントサーバーのコンピュータ名が「PC-0」、プリンタの共有名が「SATO CT4-LX」のとき、入力は次のようになります。

¥¥PC-0¥SATO CT4-LX

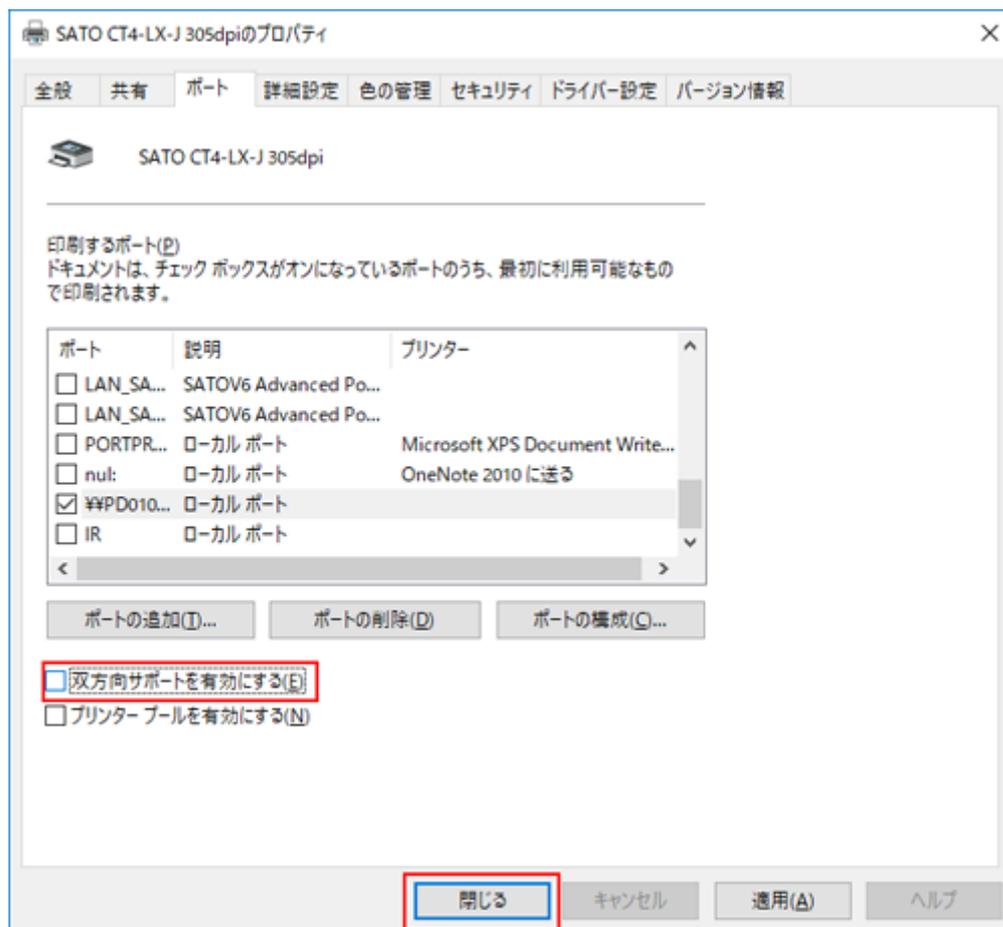


- Windows 10の場合、コンピュータ名は [コントロールパネル] > [すべてのコントロールパネル項目] または [システムとセキュリティ] > [システム] の [コンピュータ名] で確認できます。

7. [閉じる] をクリックします。



8. [双方向サポートを有効にする] のチェックを外し [閉じる] をクリックします。



プリンタドライバを更新する流れ

インストールされているプリンタドライバを次の流れで新しいバージョンに更新します。

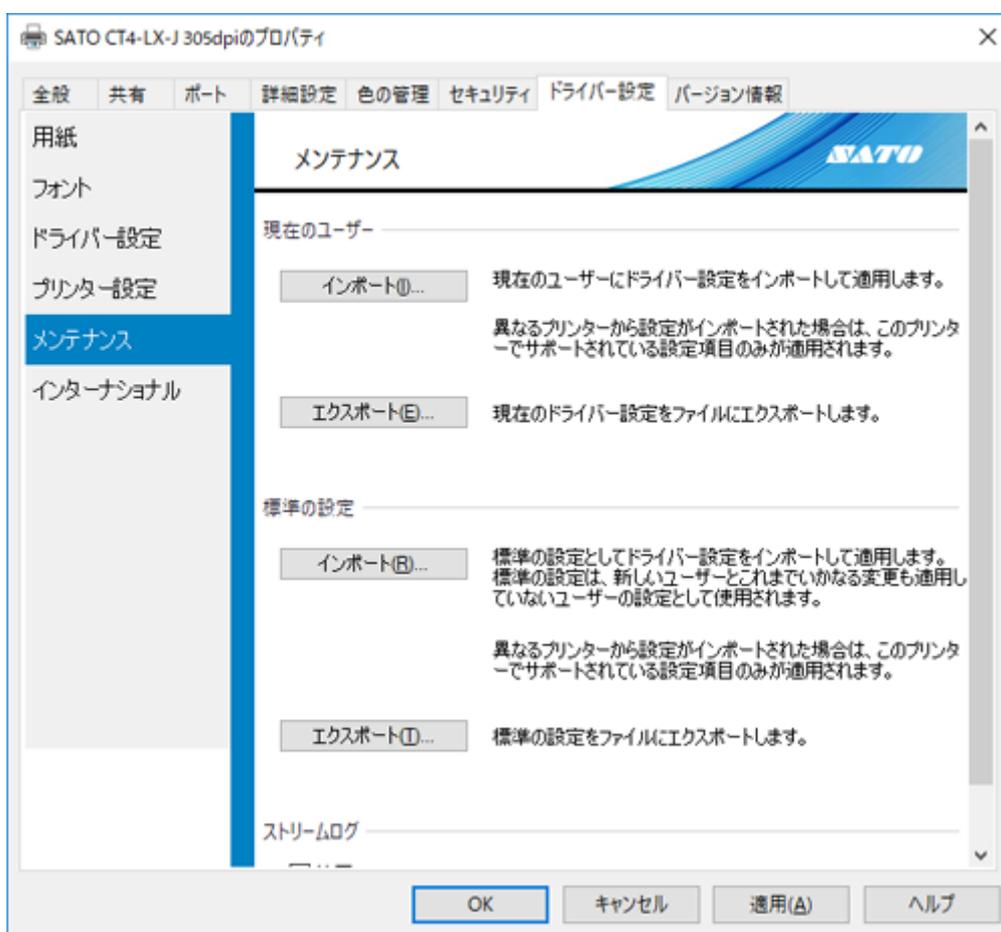
1. 更新前のプリンタドライバの設定内容を保存する
2. プリンタドライバを更新する
3. 保存しておいたプリンタドライバの設定内容を取り込む

現在のプリンタドライバの設定内容を保存する

プリンタドライバを更新すると、保存していた設定内容はすべて書替えられます。現在の設定内容を引き続き使用したい場合は、プリンタドライバを更新する前に保存してください。

1. [デバイスとプリンター] を開き、ドライバを更新するプリンタを右クリックして [プリンターのプロパティ] を選びます。
2. [ドライバー設定] タブをクリックします。
3. [メンテナンス] で、プリンタドライバの設定内容をエクスポートします。

エクスポートの詳細は、「[メンテナンス](#)」をご覧ください。



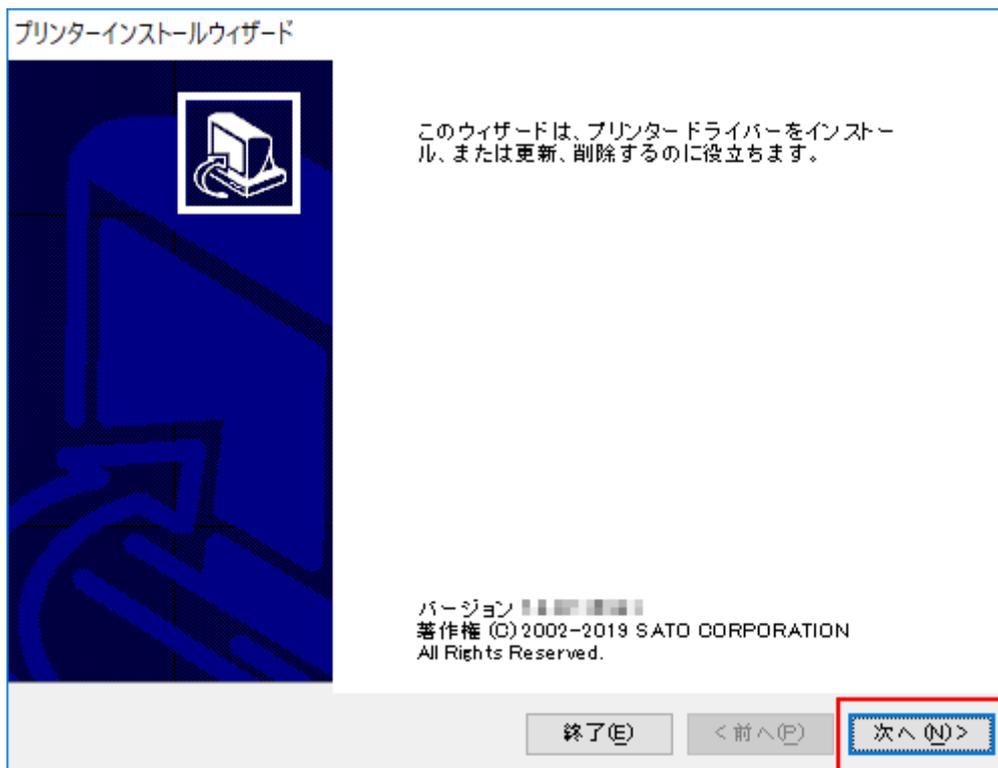
プリンタドライバを更新する

あらかじめプリンタドライバをSATOダウンロードサイトからダウンロードしておきます。詳細は「[プリンタドライバを準備する](#)」をご覧ください。

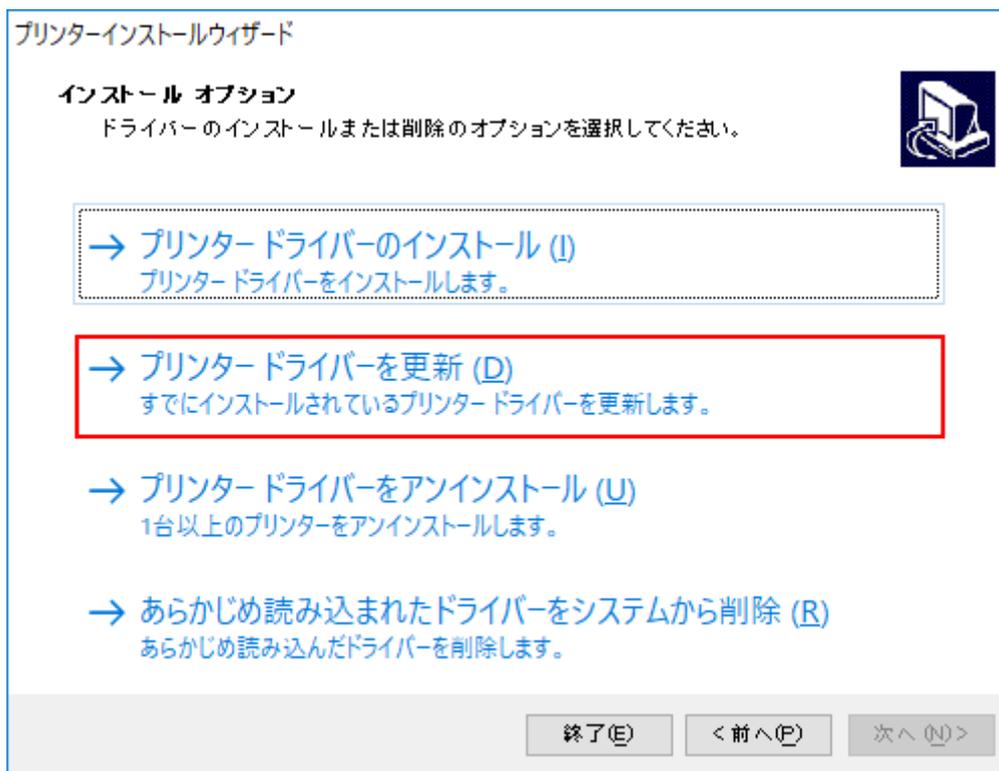
1. PrnInst.exeをダブルクリックします。

プリンターインストールウィザードが起動されます。

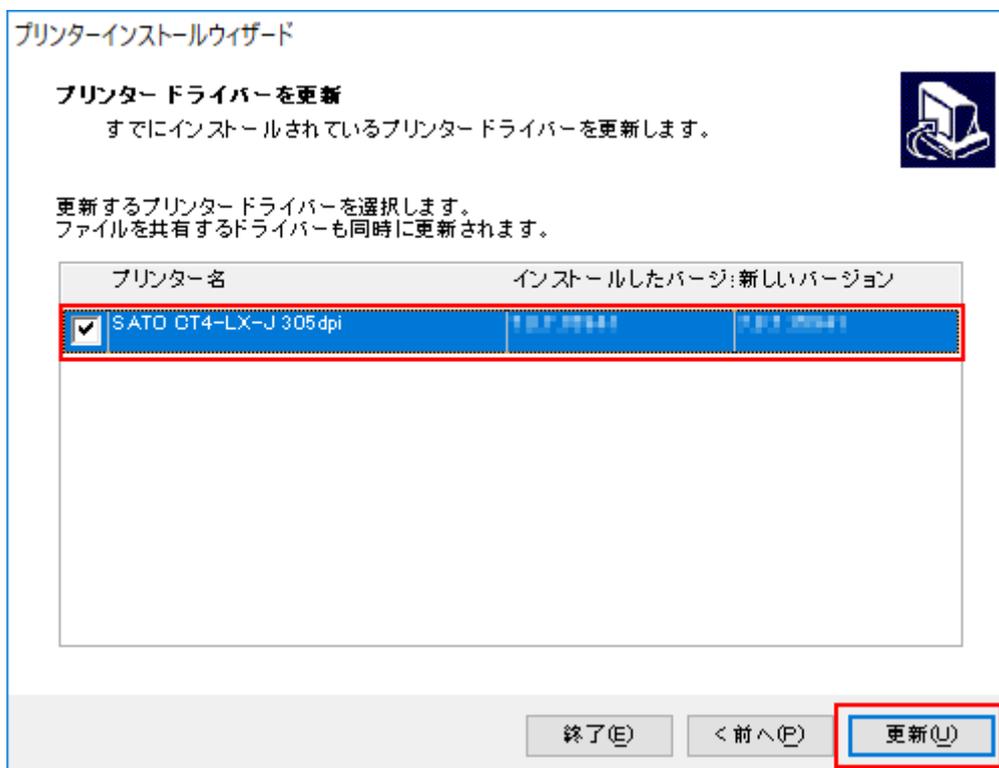
2. [次へ] をクリックします。



3. [プリンタードライバーを更新] をクリックします。

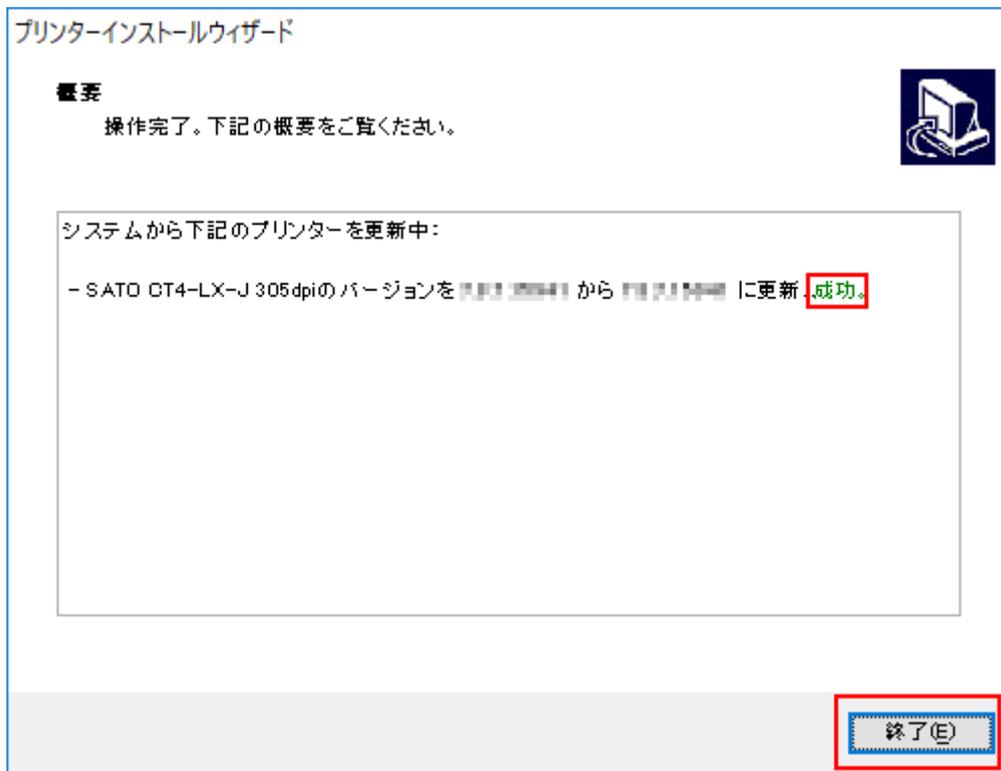


4. 更新するプリンタドライバを選び、[更新] をクリックします。



プリンタドライバの更新処理が開始されます。

5. 処理結果に [成功] と表示されていることを確認し、[終了] をクリックします。



保存しておいたプリンタドライバの設定内容をインポートする

プリンタドライバを更新する前に保存した設定内容を取り込みます。

1. [デバイスとプリンター] を開き、プリンタドライバを更新したプリンタを右クリックして [プリンターのプロパティ] を選びます。
2. [ドライバー設定] タブを選びます。
3. [メンテナンス] で、保存しておいたプリンタドライバの設定内容をインポートします。

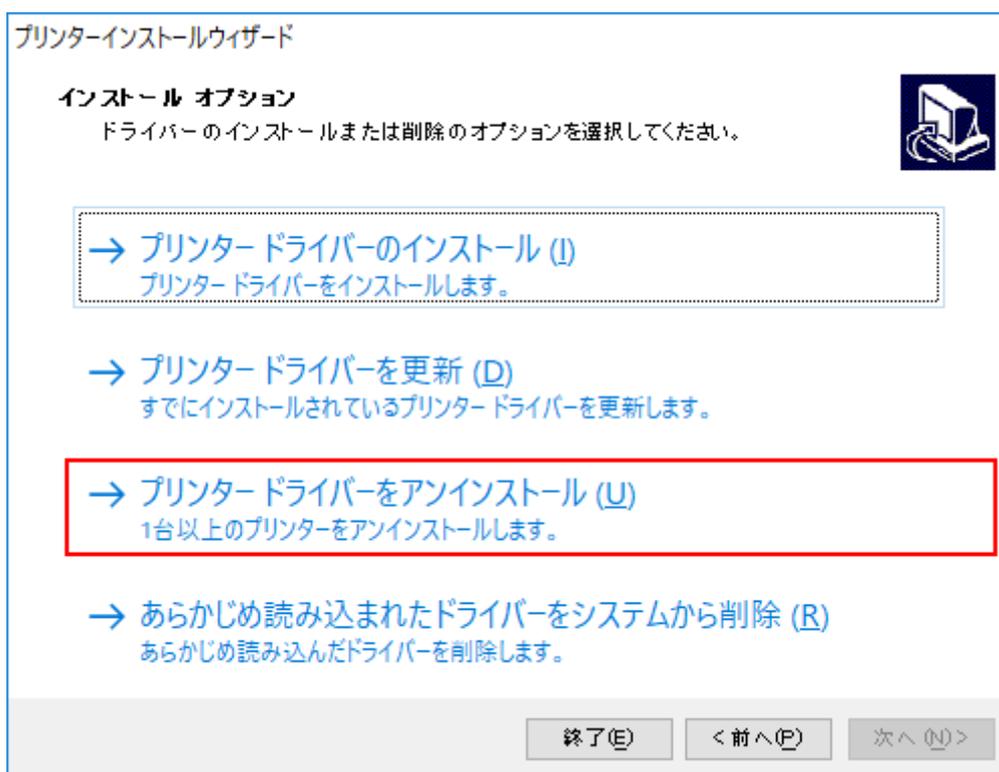
インポートの詳細は、「[メンテナンス](#)」をご覧ください。

プリンタドライバをアンインストールする

アンインストールする前に次を確認します。

- 「PrnInst.exe」を使ってアンインストールします。コンピュータに「PrnInst.exe」がない場合は、SATOダウンロード・サイト（<http://www.sato.co.jp/download/manual/>）から入手します。入手方法の詳細は、「[プリンタドライバを準備する](#)」をご覧ください。
- コンピュータとUSB接続している本製品のプリンタドライバをアンインストールする場合は、本製品の電源を切り、本製品と接続しているUSBケーブルをコンピュータから外してください。
- [デバイスとプリンター] の [デバイスの削除] は使わないでください。適切にアンインストールされない原因になります。

1. 「PrnInst.exe」をダブルクリックします。
2. [次へ] をクリックします。
3. [プリンタードライバーをアンインストール] をクリックします。



4. アンインストールするプリンタドライバをチェックし、[次へ] をクリックします。

プリンターインストールウィザード

プリンタードライバの削除
削除するプリンターを選択してください

削除するプリンターを一覧から選択:

<input checked="" type="checkbox"/>	プリンター名
<input checked="" type="checkbox"/>	SATO CT4-LX-J 305dpi

選択したプリンタ数: 1

終了(E) < 前(P) 次へ(N) >

アンインストール処理が開始されます。

5. 処理結果に[成功]と表示されていることを確認し、[終了] をクリックします。

プリンターインストールウィザード

概要
操作完了。下記の概要をご覧ください。

下記のプリンタをシステムからアンインストール中:

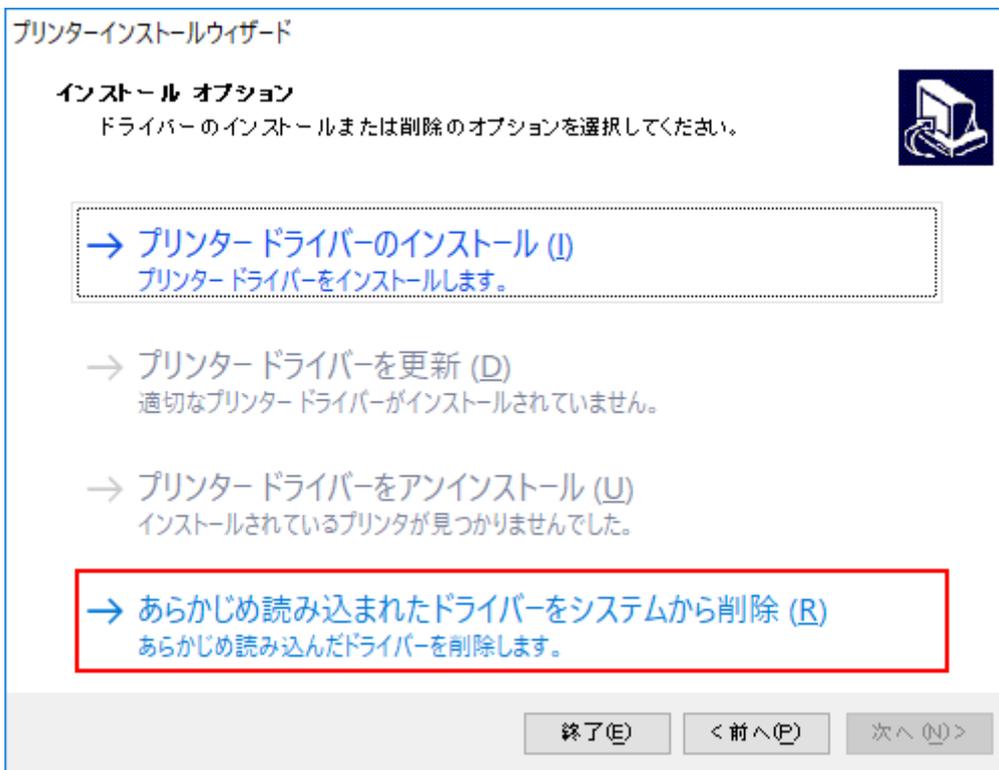
- SATO CT4-LX-J 305dpi **成功**

終了(E)

プリンタドライバ情報ファイルを削除する

プリンタドライバ情報ファイルは、プリンタドライバとともにコンピュータにインストールされます。このファイルはプリンタドライバをPlug & Playでインストールする際に必要です。今後プリンタドライバをPlug & Playでインストールしない場合は、プリンタドライバをアンインストール後にプリンタドライバ情報ファイルを削除してください。

1. PrnInst.exeをダブルクリックします。
2. [次へ] をクリックします。
3. [あらかじめ読み込まれたドライバーをシステムから削除] をクリックします。



4. 削除するプリンタドライバ情報をチェックし、[次へ] をクリックします。

プリンターインストールウィザード

ドライバー パッケージを削除
システムから削除したいドライバー パッケージを選択してください

システムから削除したいドライバーをリストから選択してください:

<input checked="" type="checkbox"/>	メーカー	バージョン
<input checked="" type="checkbox"/>	SATO	10010

Infファイル: C:\Windows\inf\#oem30.inf

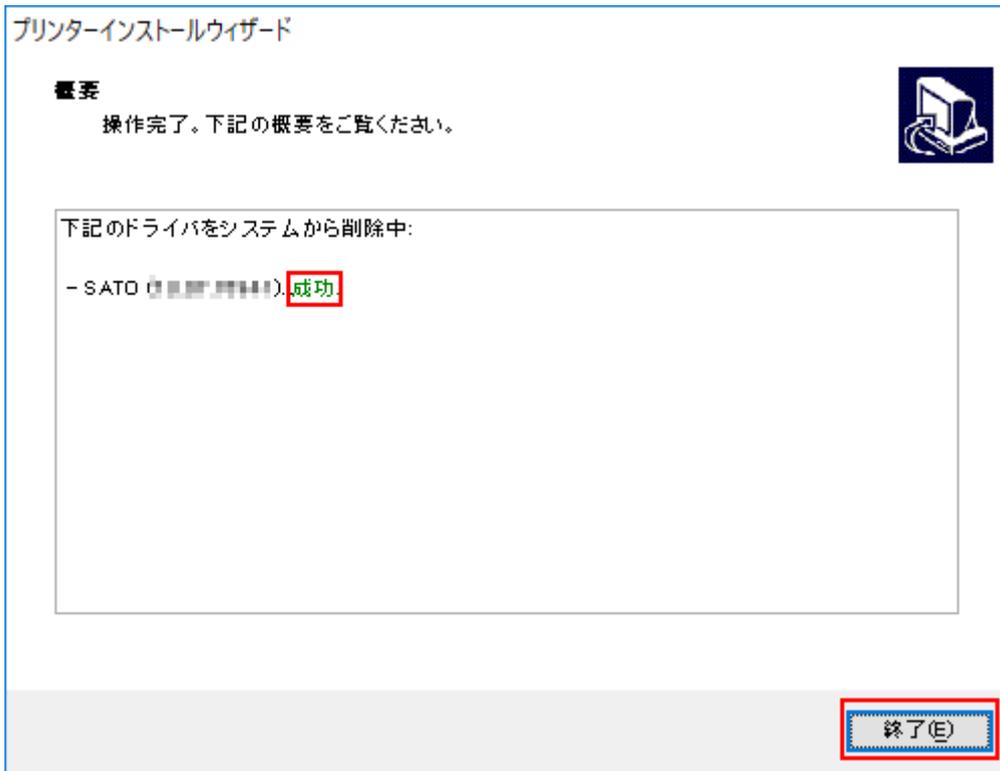
終了(E) < 前^ (P) **次^ (N) >**



- 別のプロセスがブロックしているという内容の警告画面が表示された場合は、表示に従って対応してください。

削除処理が開始されます。

5. 処理結果に [成功] と表示されていることを確認し、[終了] をクリックします。



プリンタドライバのバージョンを確認する

プリンタドライバは最新バージョンを使用するようにしてください。インストールされているプリンタドライバのバージョンはいつでも確認することができます。

ここではその方法を次の2つのケースで説明します。

- 通常時（すでにインストールされているプリンタドライバのバージョンをユーザーが確認する）
- プリンタドライバー設定時（管理者やユーザーがプリンタドライバを設定しているときにバージョンを確認する）

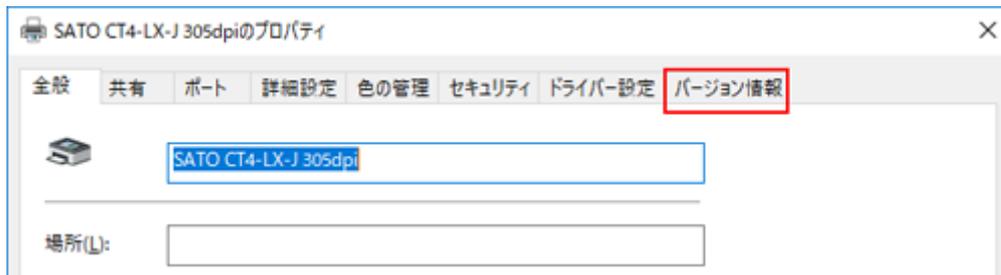
プリンタドライバのバージョンを確認する（通常時）

既にインストールされたプリンタドライバのバージョンを確認する方法です。

1. 「デバイスとプリンター」を開き、目的のプリンタを右クリックして「プリンターのプロパティ」を選びます。



2. 「バージョン情報」タブを選びます。



バージョン情報が表示されます。



[バージョン]

現在インストールされているプリンタドライバのバージョンです。

[Webの詳しい情報]

弊社の各種プリンタドライバやマニュアルがダウンロードできるWebサイトのURLです。インターネットに接続できる環境であれば、URLをクリックしてWebサイトを表示できます。

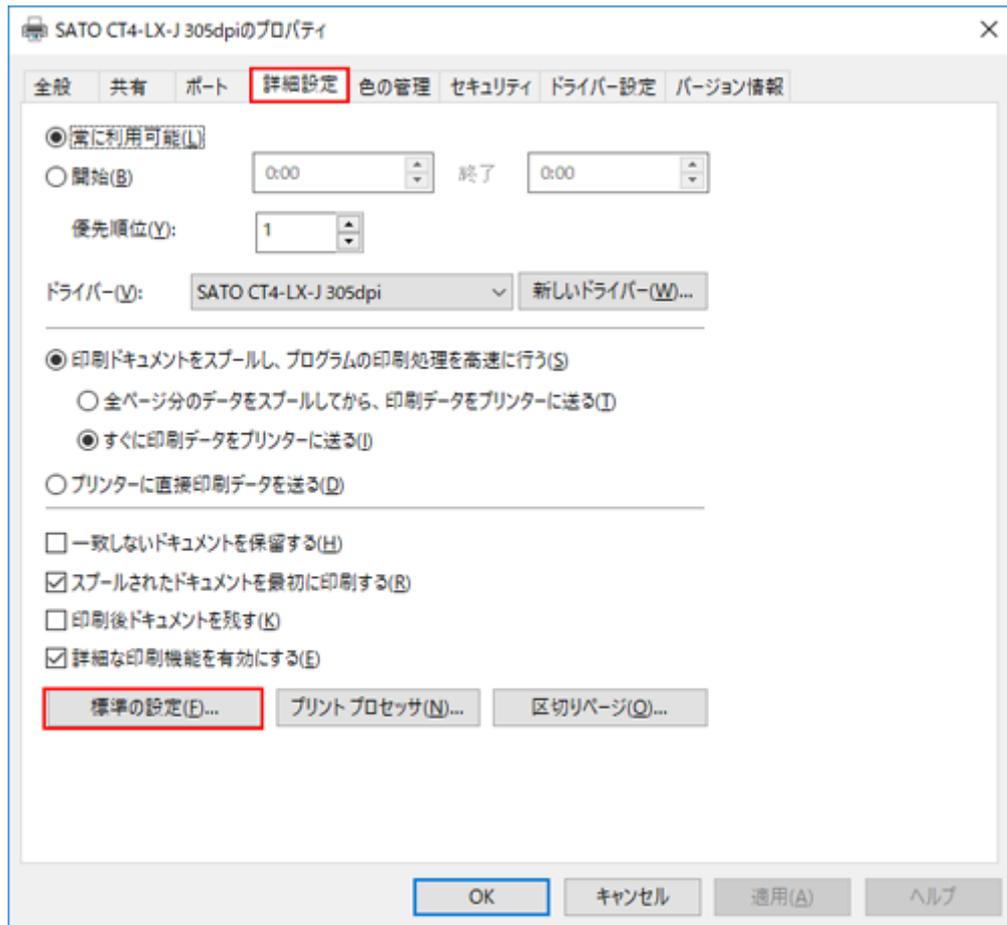
プリンタドライバのバージョンを確認する（プリンタドライバ設定時）

プリンタドライバをインストールし、標準設定や基本設定をしているときにドライバーのバージョン情報を確認する方法です。

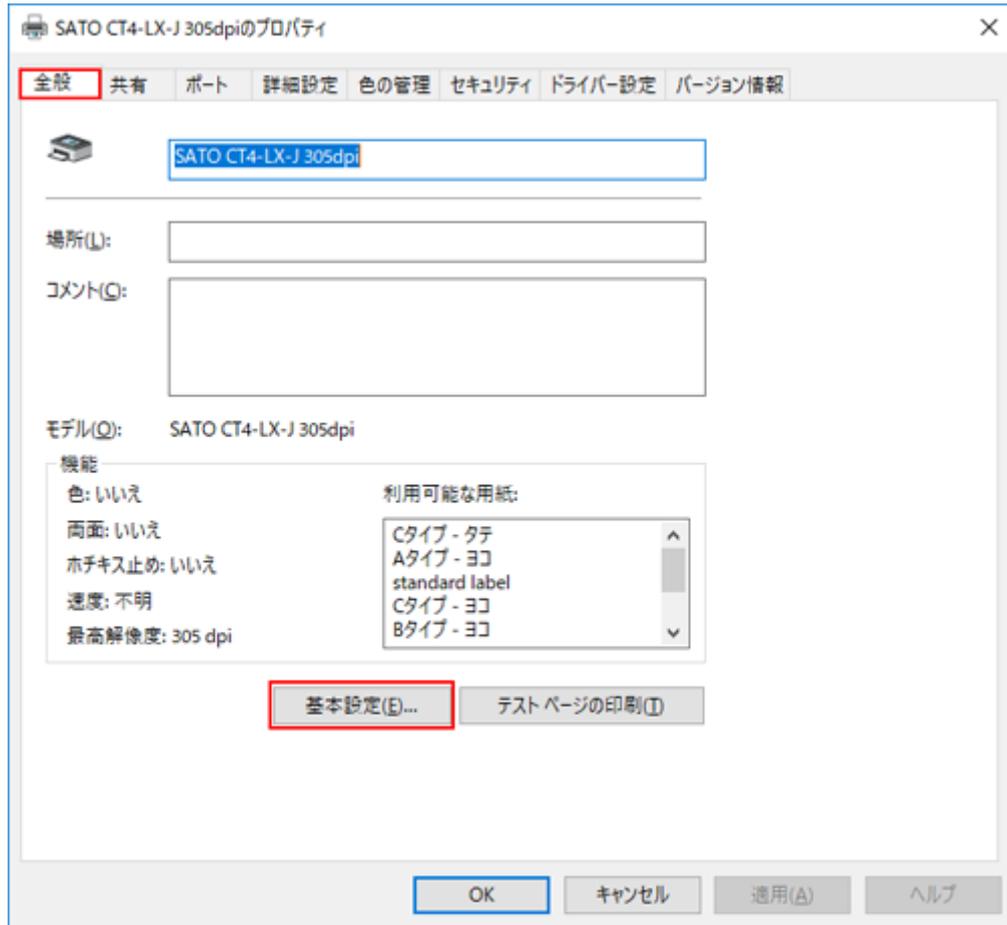
1. [デバイスとプリンター] を開き、目的のプリンタを右クリックして [プリンターのプロパティ] を選びます。



2. ドライバ設定画面を表示させます。
 - 標準設定時(管理者が全ユーザー共通の初期設定をおこなうとき)
[詳細設定]タブを選び、[標準の設定]をクリックする



- **基本設定時**(ユーザーが標準設定を個別に変更するとき)
[全般]タブを選び、[基本設定]をクリックする



3. [バージョン情報] タブを選びます。



バージョン情報が表示されます。



[バージョン]

現在インストールされているプリンタドライバのバージョンです。

[Webの詳しい情報]

弊社の各種プリンタドライバやマニュアルがダウンロードできるWebサイトのURLです。インターネットに接続できる環境であれば、URLをクリックしてWebサイトを表示できます。

